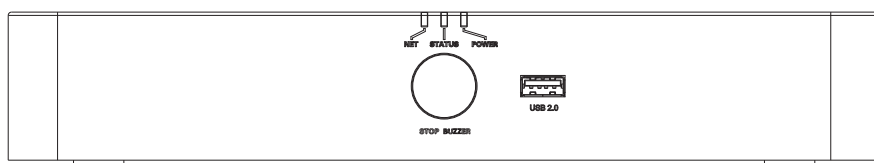


ネットワークレコーダー

CNB4R421・CNB4R441・CNB4R461

CNB4R841・CNB4R881



設定ガイド

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- ・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

もくじ

使用上のお願い	4	設定メニューについて	33
録画について	4	概要	34
使用上のご注意	4	カメラ	35
設置のご注意	4	管理	35
商標について	4	録画	41
用語	5	メディア	45
このマニュアルで使われている用語 ..	5	画像	51
このマニュアルで使われている記号 ..	5	スマート VCA 検知について	58
画面上に表示される記号	5	スマート VCA 利用時の注意	59
本製品の概要	6	スマート VCA 検知	60
管理画面について	7	動体検知	70
接続方法	8	PTZ 設定	72
マウスの使い方	11	ポート転送	72
キーボード入力の方法	12	ファームウェアの更新	76
初期設定	13	アラーム	77
ホーム画面	15	アラーム	77
コンテキストメニュー	16	アラームの設定方法	78
メインメニュー / ツールバー	17	電子メール	84
録画映像を再生する	19	システム	89
再生画面の表示方法	19	情報	89
時間検索	20	メンテナンス	90
アラーム検索	22	表示	92
スマート検索 II	23	PoE 管理	93
ディープ検索	25	UPS	93
スマート VCA イベント検索	25	ログ	94
ストーリーボード	27	クラウドサービス	95
録画のエクスポート	28	カスタマーサポート	95
録画画質を設定する	29	ユーザー	96
録画スケジュールを設定する	30	ユーザー	96
アラームの設定をする	31	ログイン / ログアウト	98
映像を拡大して見る (デジタルズーム) ..	32	ストレージ	99
ライブ映像画面でズーム表示する ..	32	ストレージ	99
		定期バックアップ	100
		ネットワーク	101
		IP	101
		サービス	102
		HTTPS 認証	103

情報.....	104
情報.....	104
Web 管理画面について	105
ホーム画面	106
再生画面	107
検索画面	108
設定画面	109
故障と判断する前に.....	111
ログインパスワードを変更する ...	111
ライブビューに映像が表示されない	112
ライブビューは表示されているが	
録画が見つからない	112
動体検知がうまく働かない.....	112
ネットワークカメラの映像に横縞	
（フリッカー）が出る	113
マウスが動かない.....	113
キーボードから文字入力ができない	113
カメラの Web 管理画面で設定した	
設定値とは異なる設定値がレコ	
ーダーの設定画面に表示されている	114
バックアップした録画データを	
Windows 付属のプレイヤー	
で再生できない.....	114
USB デバイスで、ファイル	
フォルダが認識できない.....	114
モニターに画面が映らない.....	114
画面がはみ出して切れた状態で表示される	114
本製品の PoE 端子にネット	
ワークカメラを接続すると、	
ネットワークカメラの IP アド	
レスが変更される	114
本製品の PoE 端子につながれた	
ネットワークカメラにネット	
ワーク端子側のパソコンから	
アクセスできない.....	115
使用上のご注意	116
設置上のご注意	117
このマニュアルについて	118
動作環境.....	119

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、本製品の内蔵 HDD に正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- ・ 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- ・ 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- ・ 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

設置のご注意

- ・ 本製品に登録するカメラを設置するときは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

商標について

- ・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

用語

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	ネットワークレコーダー「CNB4R シリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
4ch モデル	最大 4 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CNB4R421 / CNB4R441 / CNB4R461
8ch モデル	最大 8 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CNB4R841 / CNB4R881

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
4ch	4ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNB4R421 / CNB4R441 / CNB4R461
8ch	8ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNB4R841 / CNB4R881

画面上に表示される記号

本製品の画面に ⓘ が表示されている個所をクリックするとヒントが表示されます。本書と合わせてご確認ください。

本製品の概要

本製品は、ハードディスク搭載ネットワークレコーダーです。本製品と当社監視カメラ（CNB4C シリーズ）を接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●PoE 対応

カメラ接続用ポートはすべて PoE（Power over Ethernet）に対応。PoE 対応カメラにカテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルを接続することで給電することができます。

●USB ポート

USB ポートを搭載し、USB 記録デバイスを挿すことで映像の書き出しができます。

※使用できるフォーマット形式は FAT32 です。

また、FAT32 以外の形式の場合は本製品で使用する前に FAT32 形式でフォーマットをしてください。

●カメラ設定

接続しているカメラの設定を、本製品の管理画面から簡単に変更することができます。

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

管理画面について

- カメラの設定は、管理画面で設定してください。

本製品の管理画面を表示する方法は以下の2通りあります。

- 本製品に直接モニターを接続する方法（モニター管理画面）



本製品の初期設定をするときは、必ず本製品を直接モニターに接続して行ってください。

- パソコン上のウェブブラウザから本製品を操作する方法（Web 管理画面）

カメラ本体の設定方法については、下記の URL よりカメラ本体用 Web マニュアルの設定ガイドをご確認ください。

<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/CNB4C>

- 接続方法については、9ページの接続方法をご確認ください。

接続方法

■ CNB4R シリーズの接続例

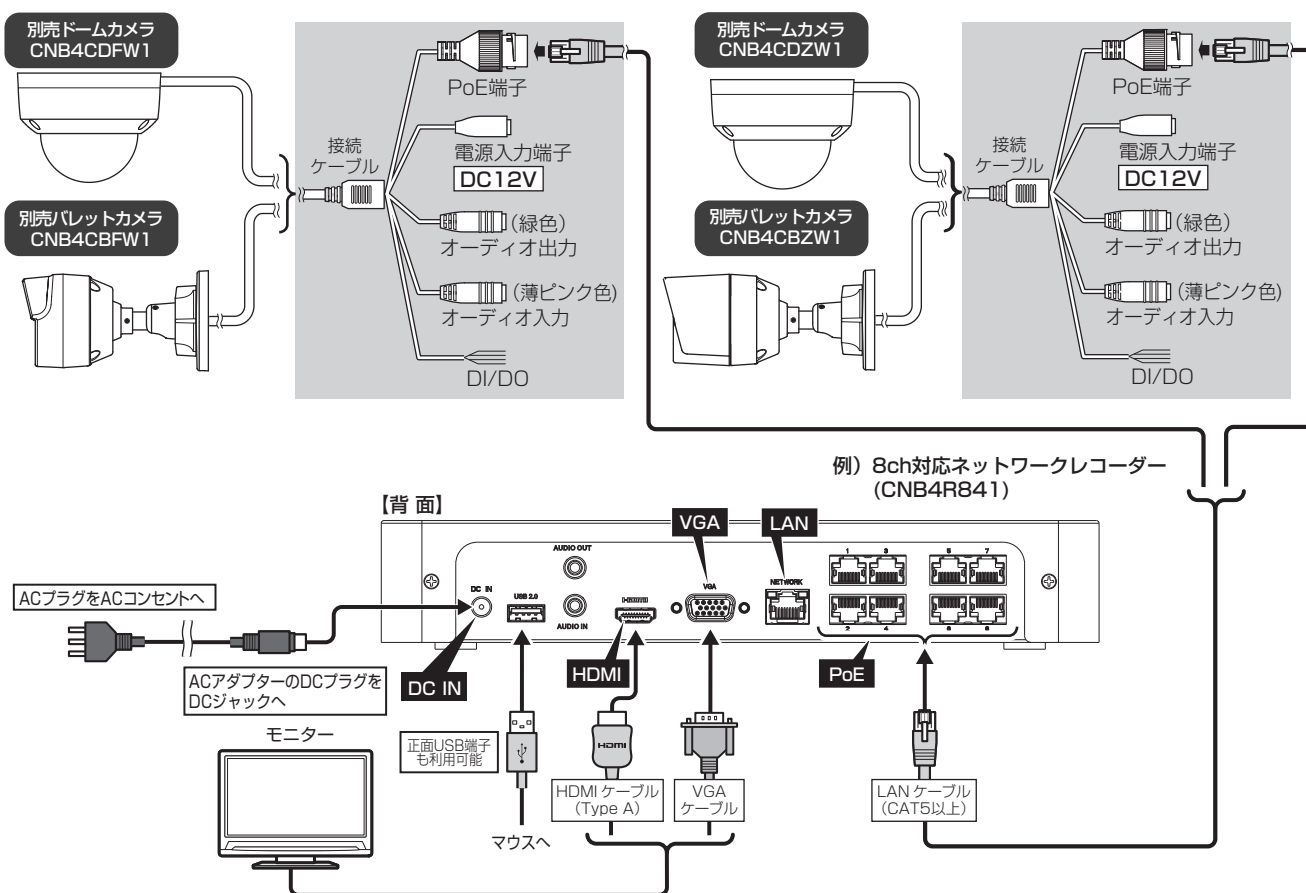
各カメラの設置・接続方法は、カメラに付属している取扱説明書を参照してください。

重要 <モニター接続時の注意>

- 電源を入れる前に、必ず HDMI 端子または VGA 端子にモニターを接続してください。
- ネットワークレコーダーの出力解像度の初期設定は、「1920 x 1080/60Hz」です。

「1920 x 1080/60Hz」の出力解像度に対応したモニターに接続してください。

ネットワークレコーダーにカメラをローカル接続する場合

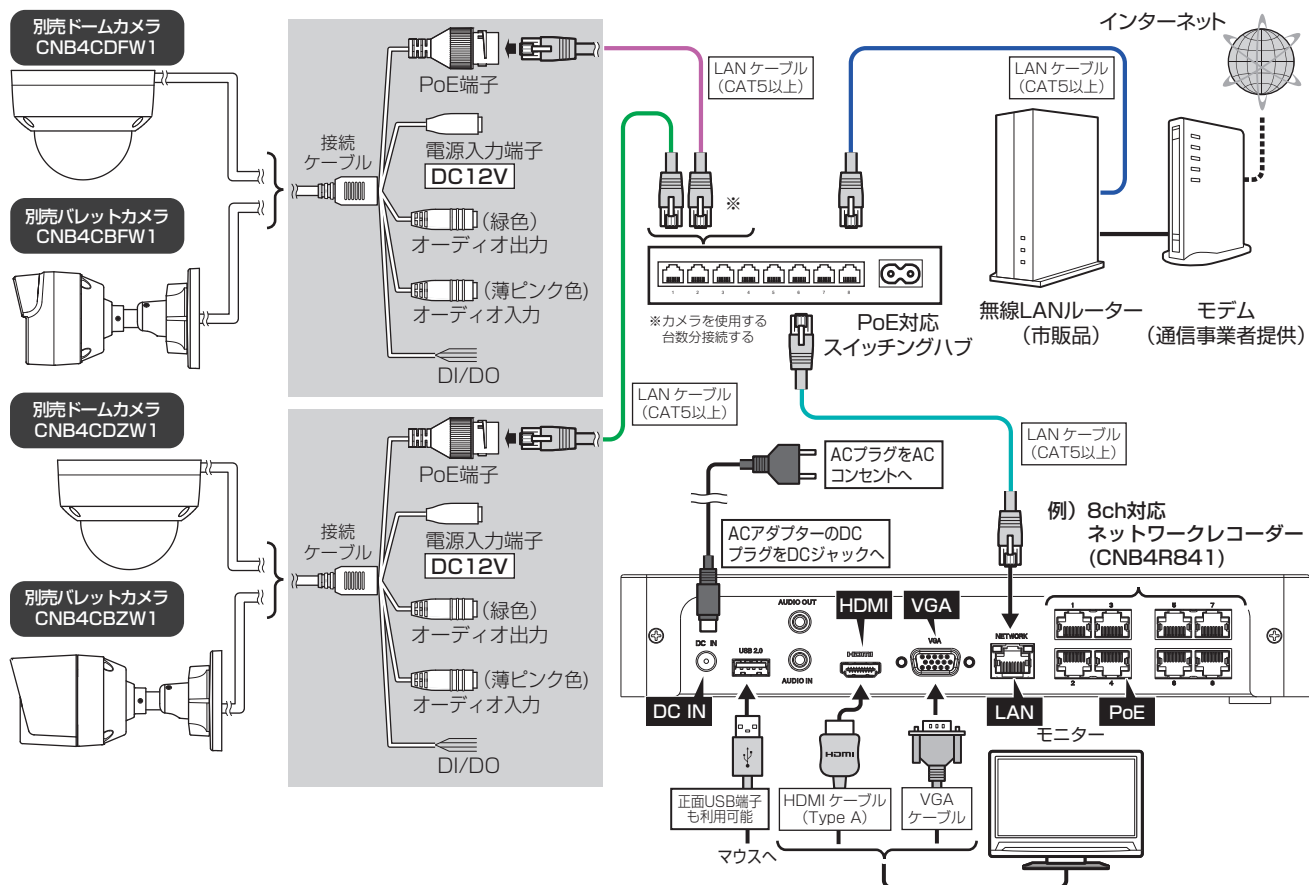


重要 <VGA 接続時の注意>

接続するモニターによっては、対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。モニター側の表示調整機能にて、調整をお試ください。(モニターや解像度によっては、調整を行っても正しい表示にはならない場合もあります。)

2つのモニターをそれぞれ HDMI 端子と VGA 端子に接続した場合、同じ映像が映ります。

ネットワークレコーダーにカメラをインターネット回線で接続する場合



重要

< VGA 接続時の注意 >

接続するモニターによっては、対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。モニター側の表示調整機能にて、調整をお試しください。(モニターや解像度によっては、調整を行っても正しい表示にはならない場合もあります。)



2つのモニターをそれぞれ HDMI 端子と VGA 端子に接続した場合、同じ映像が映ります。

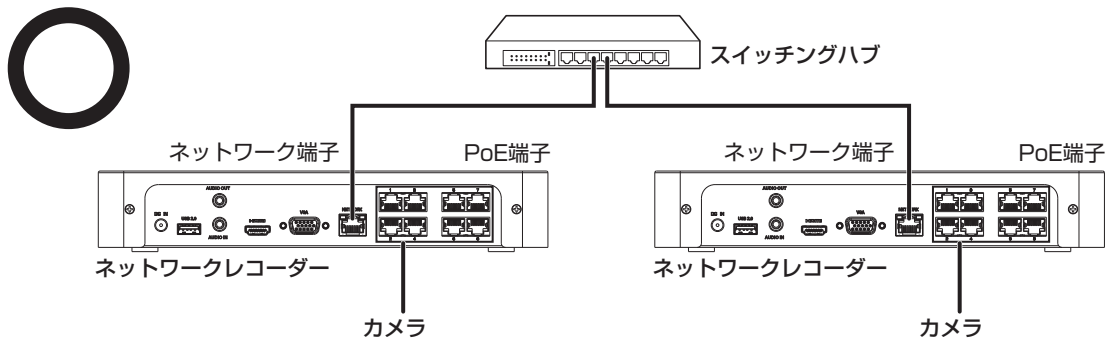
■ ネットワークカメラの接続可能台数について

バレットカメラ／ドームカメラ

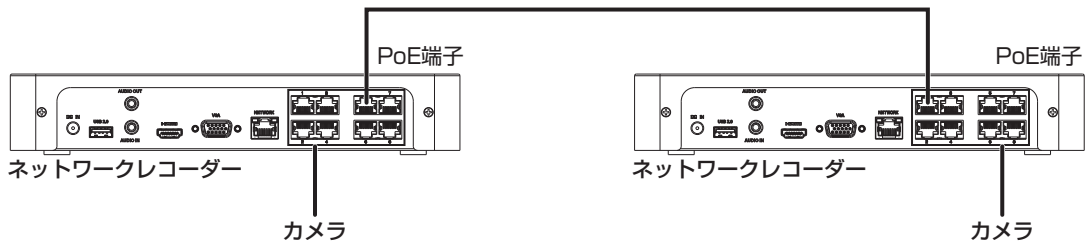
ネットワークレコーダー	バレットカメラ／ドームカメラ
4ch モデル	4 台まで
8ch モデル	8 台まで

同一ネットワーク上に複数のネットワークレコーダーを接続する場合

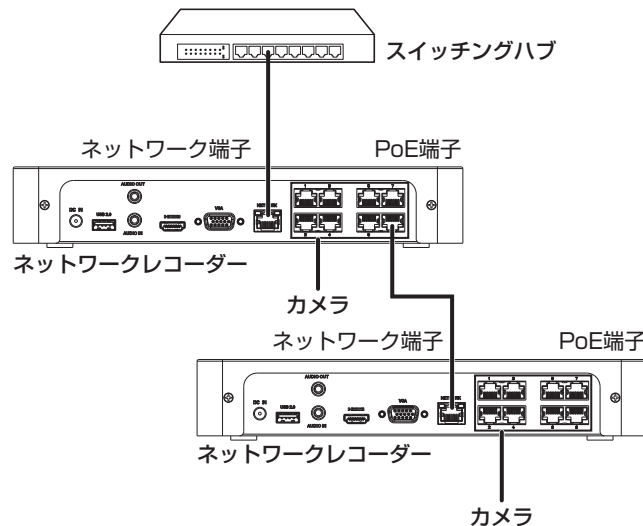
ネットワークレコーダーはスイッチングハブ経由ネットワーク端子で接続してください。ネットワークレコーダー同士を PoE 端子を利用して接続すると、誤動作の原因となります。



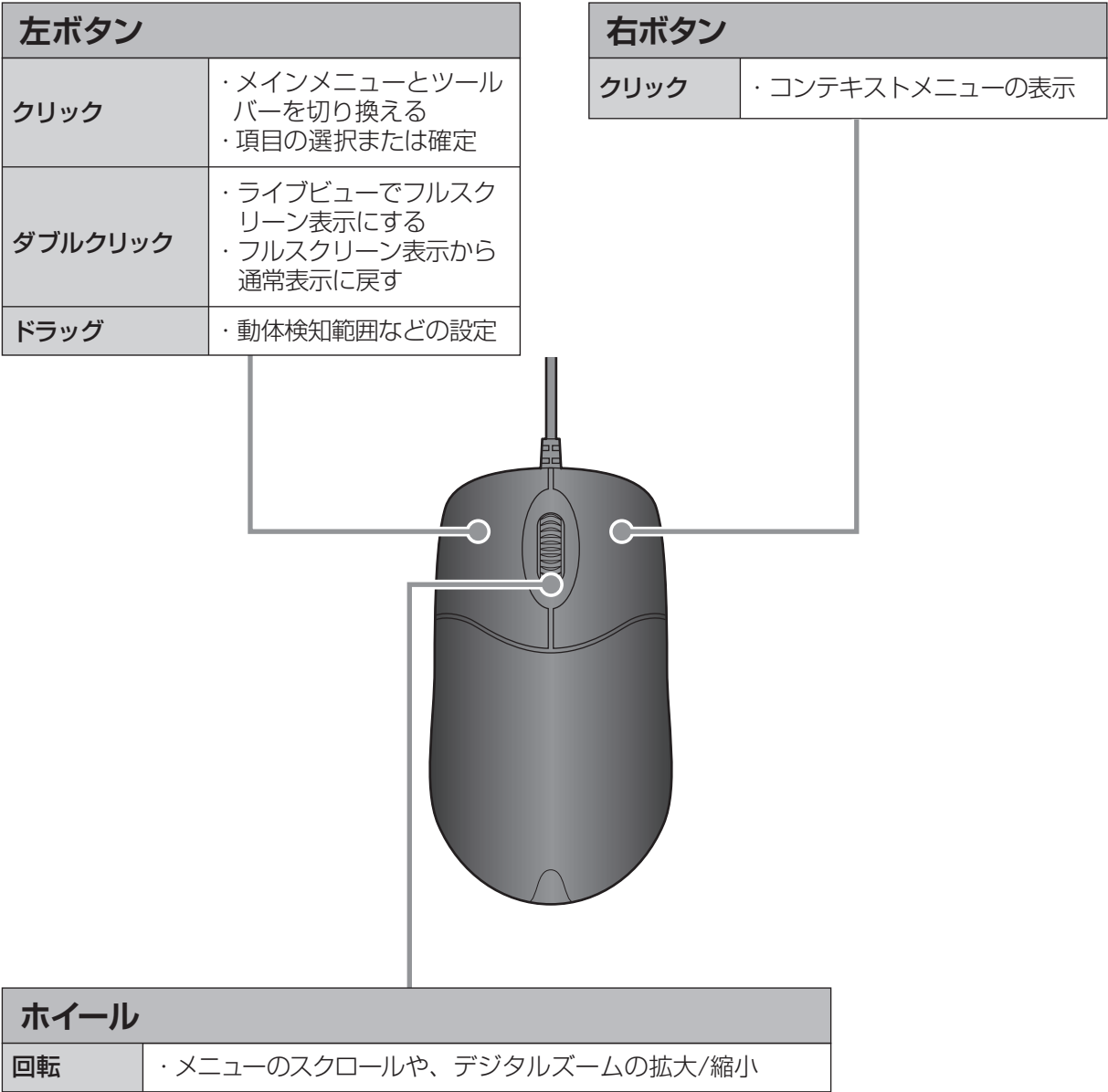
ネットワークレコーダー同士をPoE端子で接続しない。



ネットワークレコーダー同士をPoE 端子とネットワーク端子で接続しない。

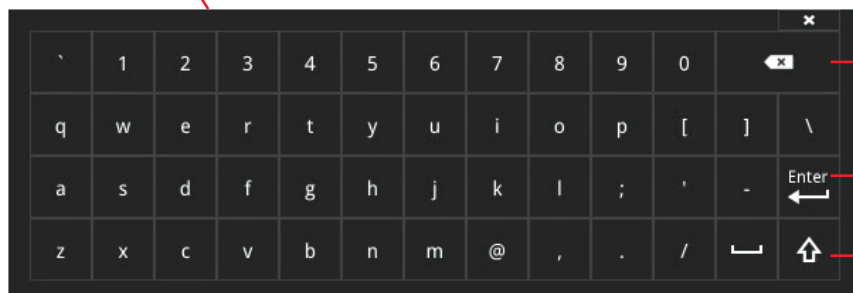


マウスの使い方



キーボード入力の方法

キーボードアイコンをクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。マウスのカーソルを入力したい文字に合わせてクリックして文字を入力します。



カーソルの前の文字を削除します。

入力した文字を確定し、キーボードを閉じます。

大文字／小文字／記号を切り換えます。

 本製品での USB キーボードの接続用は弊社ではサポートしていません。

初期設定

本製品の電源を入れると、モニターに初期設定ウィザードが表示されますので、画面に従って設定します。初期設定の内容は、後からでも設定できます。

電源を入れる前に、必ず HDMI 端子または VGA 端子にモニターを接続してください。

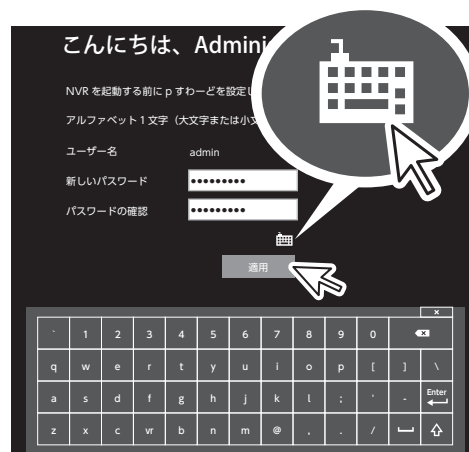
1 起動画面「DELCA TEC」が表示される

2 をクリックして表示される画面キーボードで、パスワードを設定する

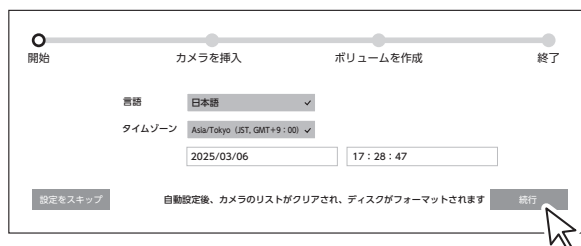
入力後、[適用] をクリックします。

重要 設定したパスワードは忘れないようにしてください。

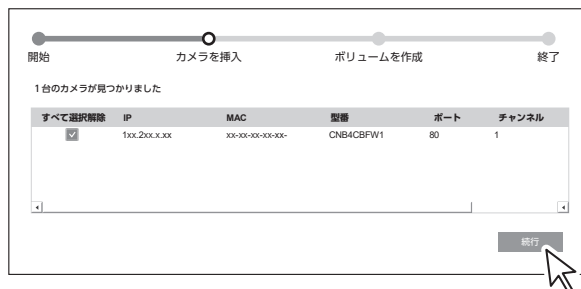
 パスワードはアルファベット (A-Z、a-z) 1 文字、数字 (0-9) 1 文字を含む 8 ~ 64 文字で設定してください。使用できる記号は !%-.@^_ です。スペースは入力できません。



3 「言語」、「タイムゾーン」、日付を入力する [続行] をクリックします。

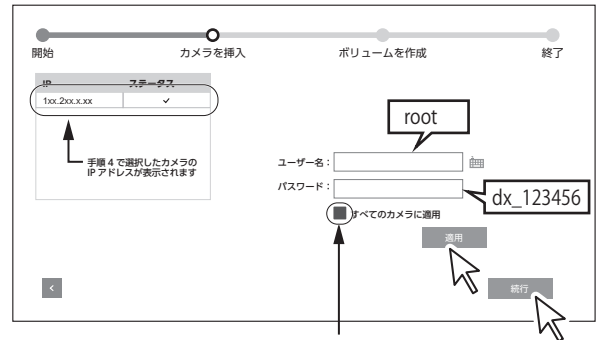


4 接続したカメラを選択後 登録するカメラにチェックマークを入れる [続行] をクリックします。



5 「ユーザー名」に“root”、「パスワード」に“dx_123456”を入力する

入力後、[適用]をクリックした後、[続行]をクリックします。



チェックマークを入れると、すべての選択したカメラに「ユーザー名」と「パスワード」が適用されます。

6 「終了」をクリックする



ホーム画面

ホーム画面には接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。（下図は画面表示が4分割表示に設定されている場合です。）

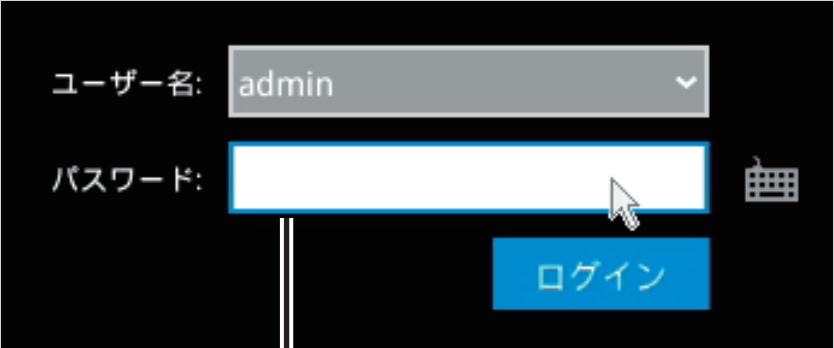


番号	項目	内容
①	ライブビュー	カメラの現在の映像が表示されます。
②	アクティブカメラ	映像を左クリックすると、アクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。
③	状態アイコン	カメラの状態をアイコンで示します。
		 スケジュール録画中
		 手動録画中
④	メインメニュー / ツールバー	選択しているカメラに対するメニューです。分割画面のときに、左クリックして、メニューバーと操作バーを切り換えます。（➡18ページ「メインメニュー/ツールバー」）
⑤	ステータスバー	本製品の初期設定で設定した時刻が表示されます。
⑥	現在の時刻	カメラ側で設定した現在の時刻を表示します。
⑦	アラーム	検知したときにオレンジ色で点灯します。クリックすると、アラーム検索画面が表示されます。

コンテキストメニュー

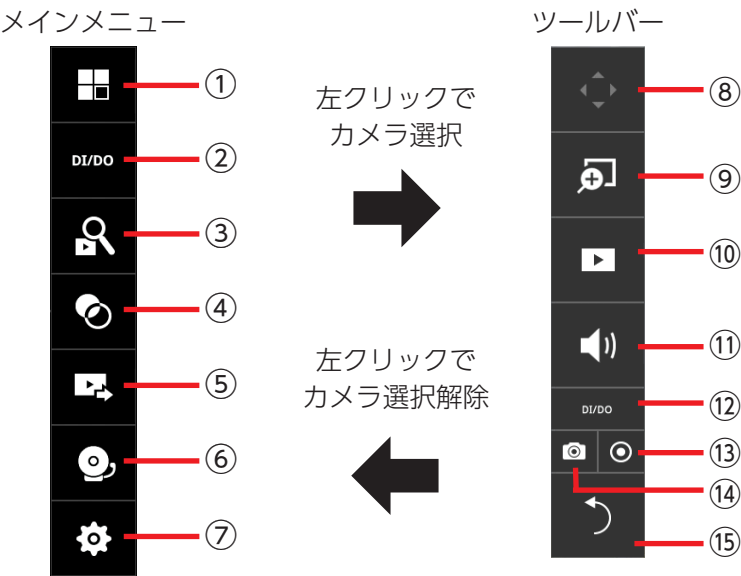
ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。



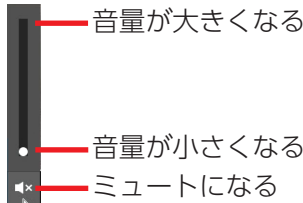
番号	項目	内容
①	カメラ情報	ライブビュー画面に表示する項目を選択します。
②	ストリーム	自動 / メインストリーム / サブストリームを選択します。
③	ライブストリーミングを無効にする	ライブビューを非表示にします。
④	アスペクト比を維持する	現状のアスペクト比を維持します。
⑤	VCA ルールを表示	VCA 検知の条件をライブビューに表示します。
⑥	ツールバーを表示	ツールバーを表示します。
⑦	ステータスバーを固定	ステータスバーを常に表示させます。
⑧	ログイン / ログアウト	ログイン：ログイン時のパスワード入力画面を表示します。 ログアウト：ログアウトします。  ログインパスワードの入力を間違えたときは、パスワードの入力枠をアクティブ（青色）にしてから、再度パスワードを入力してください。  青色枠にしてからパスワードを入力します

メインメニュー / ツールバー

ホーム画面でマウスカーソルを動かすと、メインメニューが表示されます。
カメラを選択すると、クリックしたカメラ映像がアクティブ状態になりツールバーが表示されます。



番号	項目	内容	
①	レイアウトとシーケンス		1 画面のみ表示します。
			4 分割表示します。
			1 画面 + 3 画面表示します。
			1 画面表示のときに、カメラを 2 台以上接続していると縦画面で映像を表示します。
			1 画面表示しているときに、シーケンス表示のオン/オフを切り換えます。シーケンスを開始すると、設定した間隔で自動的に画面表示が切り換えられます。(切換間隔は、「表示 (→ 80 ページ)」を確認してください)
		以下の分割画面は 8ch モデルのみです	
			9 分割表示します。
			2 画面 + 3 画面表示します。
			1 画面 + 6 画面表示します。
②	アラーム入力／出力		1 画面 + 5 画面表示します。
		本製品では使用できません。	

番号	項目	内容
③	検索	時間検索画面に移行します。(➡ 20 ページ「録画映像を再生する」) 録画した日から時間を設定して録画データを再生することができます。
④	ディープ検索	本製品では使用できません。
⑤	録画のエクスポート	録画した映像をエクスポートします。(➡ 29 ページ「録画のエクスポート」)
⑥	ブザー停止	ブザーを停止します。
⑦	設定	設定画面に移行します。(➡ 34 ページ「設定メニューについて」)
⑧	PTZ：パン・チルト・ズーム	本製品に接続するカメラでは使用できません。
⑨	デジタルズーム	右下に表示されている映像の%表示を右にスライドすると映像が拡大表示されます。(➡ 33 ページ「デジタルズーム」)
⑩	録画クリップを再生	録画データを 30 秒前、1 分前、3 分前、10 分前、60 分前から選択して再生することができます。(➡ 20 ページ「録画映像を再生する」)
⑪	オーディオ	音量を調整します。 
		 ミュートになります（音声が出力されません）
		 ミュートが解除されます（音声が出力されます）
⑫	DI/DO	本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。
⑬	手動録画	手動録画を行います。
⑭	スナップショット	スナップショットを保存します。
⑮	カメラの選択解除に戻る	メインメニューに戻ります。

 選択されているカメラ（アクティブ状態）のみ音声の有効になります。

録画映像を再生する

再生画面の表示方法

- 1 ツールバーから「録画クリップを再生」をクリックする



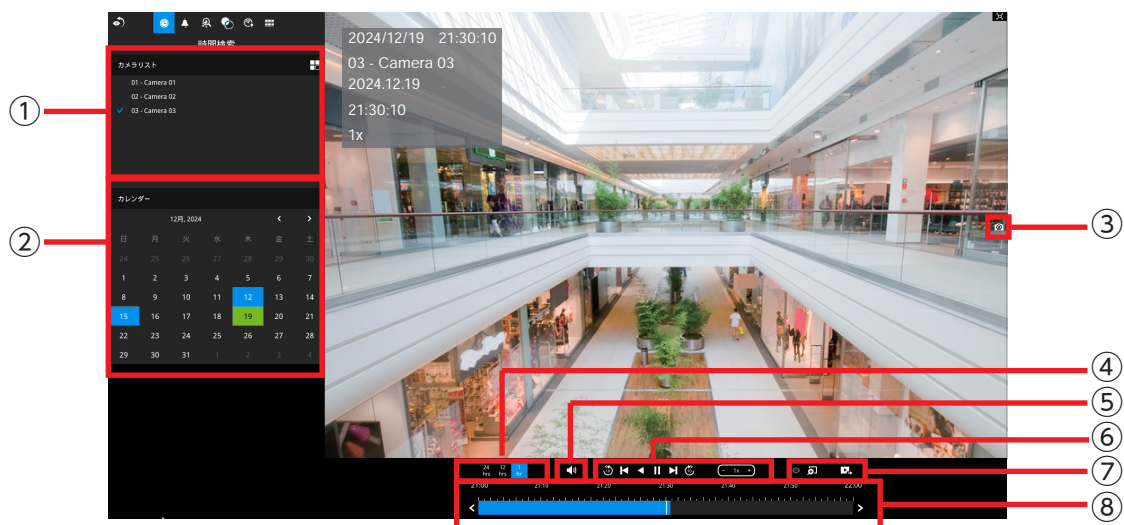
- 2 再生を開始する時点を選択する
再生画面が表示されます。

 カメラが本製品に登録されているときは、検索をすることができます。カメラの登録を削除したときは、検索ができないため、再度カメラの登録を実施してください。

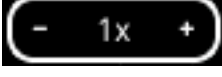
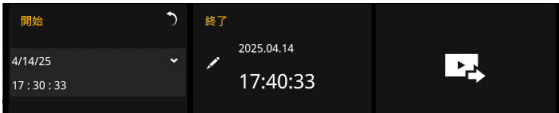


時間検索

時間を指定して映像を検索し、再生することができます。



番号	項目	内容
①	カメラリスト	再生するカメラを選択します。
②	カレンダー	再生する日付を選択します。録画データがある日付は、 で表示されます。
		タップすると年・月の変更ができます
		月を変更できます
		日を選びます
③	スナップショット	スナップショットを保存します。
④	時間幅表示	タイムラインの表示幅を選択します。
⑤	音量調整	音量を調整します。(調整方法は、「メインメニュー / ツールバー(➡ 18 ページ)の「オーディオ」をご確認ください。)

番号	項目	内容	
⑥	コントロールパネル		10 秒戻る
			前のフレームへ移動
			逆再生
			一時停止
			再生
			次のフレームへ移動
			10 秒進む
			再生速度設定
⑦	ツールボタン		本製品では使用できません。
			(デジタルズーム) 映像を拡大することができます。(➡ 33 ページ)
		 	USB メモリーに録画した映像をエクスポートします。 開始または終了の  をクリックして時間を設定します。  をクリックするとエクスポートを開始します。
⑧	タイムライン	映像の再生位置などが表示されます。	

右クリックすると、次のメニューが表示されます。

- ・ ストリーム：メインストリームまたはサブストリームを選択することができます。
- ・ アスペクト比を維持する：カメラのアスペクト比で表示します。
- ・ カメラの削除：選択中のカメラを選択解除することができます。
- ・ VCA ルールを表示：設定している VCA ルールを表示することができます。



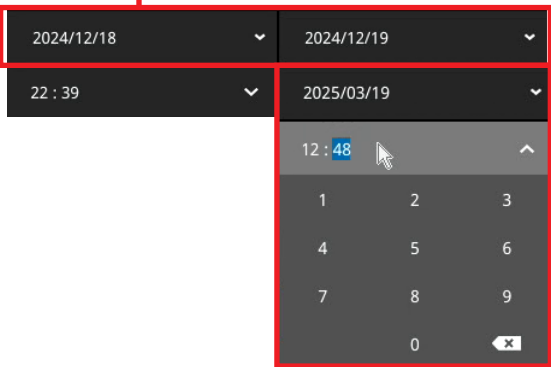
逆再生や再生速度を変更すると映像がコマ送りになることがあります (➡ 46 ページ)。

※カメラのビデオ設定でフレーム内周期を短くしたり動的フレーム内周期を無効にすることで改善します。

アラーム検索

イベントとして録画された映像を検索して再生することができます。

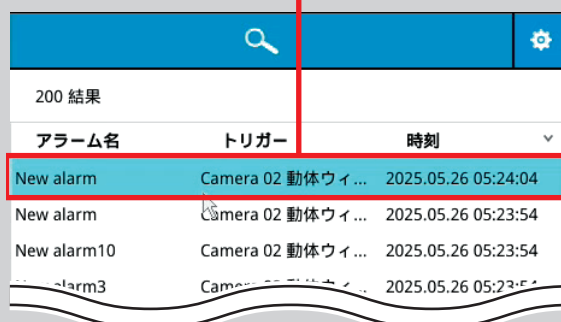


番号	項目	内容
①	カメラリスト	検索するカメラを選択します。
②	開始／終了時間	検索する範囲を指定します。 検索する日付を選択します。 (選択方法は「時間検索」(⇒21 ページ)をご確認ください)  設定する時間または分をクリックし、設定します。
③	アラーム／トリガー	検索するトリガー（検知方法）を選択します。 アラームは「すべてのアラーム」のみ選択できます。
④	検索ボタン	クリックして検索を開始します。
⑤	検索設定	「すべて検索」または「録画のみ検索」を設定できます。

右クリックすると、「ストリーム」 / 「アスペクト比を維持する」 / 「カメラの削除」 / 「VCA ルールを表示」が表示されます (⇒ 21 ページ)。

 1 つのアラームに複数カメラの検知方法を「ビデオ録画」(アクション)で登録すると、検索結果には 1 つのアラームにカメラが 1 台のみ表示され、他のカメラの検索結果はスライド再生されます。
(⇒ 78 ページ)

複数のカメラが 1 つのアラームに登録された場合、検索結果は 1 つのアラームで表示される



アラーム名	トリガー	時刻
New alarm	Camera 02 動体ウイ...	2025.05.26 05:24:04
New alarm	Camera 02 動体ウイ...	2025.05.26 05:23:54
New alarm10	Camera 02 動体ウイ...	2025.05.26 05:23:54
alarm3	Camera 02 動体ウイ...	2025.05.26 05:23:54

スマート検索Ⅱ

動体検知の情報から検知映像を検索できます。



番号	項目	内容
①	カメラリスト	検索するカメラを選択します。
②	開始／終了時間	検索する範囲を指定します。 設定方法は、「時間検索」(➡ 21 ページ) と同じです。
③	人物検知	☒ ON にすると、人物のみの検索をすることができます。
④	感度	検知感度を選択します。
⑤	時刻フィルタ	☒ ON にすると、検索するアクティビティの持続期間、結合間隔を指定します。  動体検知する最小の活動持続時間を設定します。 動体検知を行ったあとに次の動体検知をするまでの時間を設定します。
⑥	検索ボタン	クリックして検索を開始します。

■ 検索結果



番号	項目	内容
①	表示形式	 検知映像をプレビュー表示します。  検知映像を検知日時でリスト表示します。
②	すべて再生	検索結果の映像をすべて再生します。
③	エクスポートするクリップを選択	USB メモリーに選択した検知映像をエクスポートします。 「すべて選択」をクリックすると、検索したすべての検知映像を選択します。
④	再生画面	選択中の映像（青枠で表示されている映像）を再生します。  全画面表示します。  一時停止をします。  再生をします。 <> 前の画像または次の画像を表示します。  スライダーを移動すると、再生位置を移動することができます。
⑤	検知時間	検知時間を表示します。
⑥	詳細表示	検知名／検知日時／カメラ名を表示します。
⑦	ページ表示	ページ表示をします（最大表示アイテム数：200 アイテム）。 ◀▶をクリックすると、ページを移動します。  詳細を確認する場合は、開始 / 終了時間を短く設定してください。

ディープ検索

本製品では使用できません。

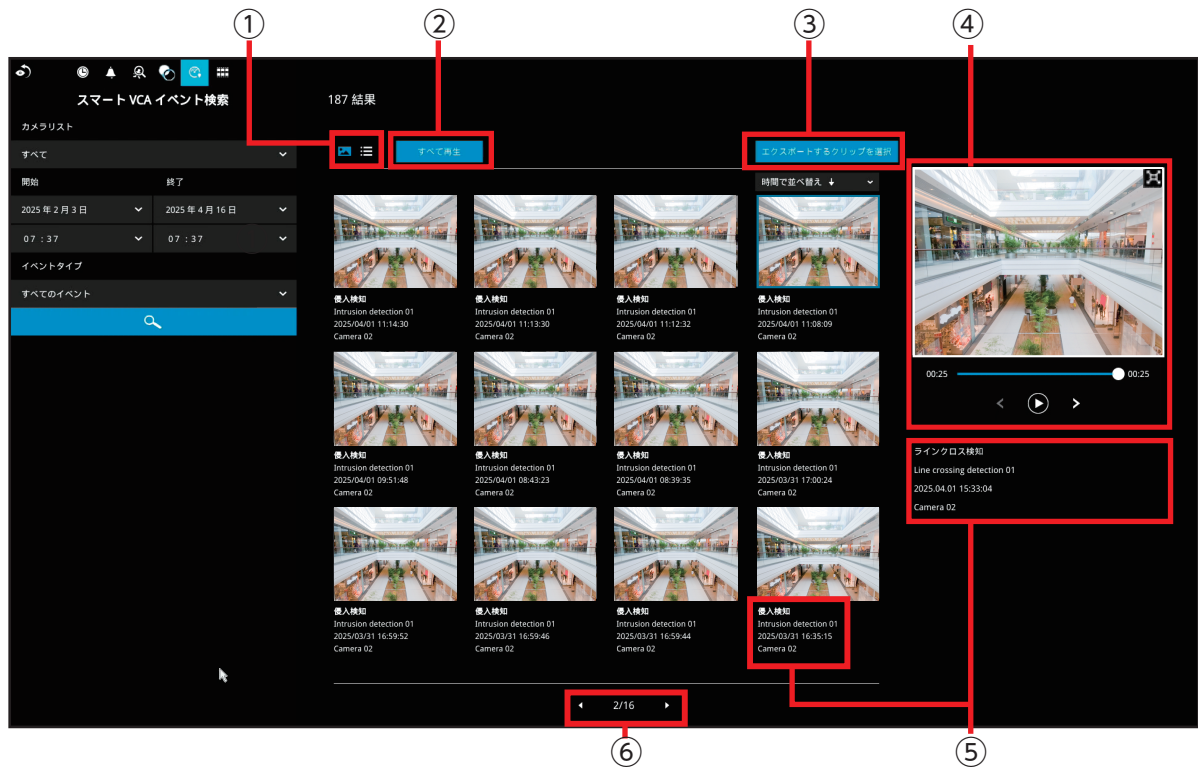
スマート VCA イベント検索

スマート VCA 検知 (➡ 55 ページ) を設定しているカメラで、VCA イベントを検知した録画映像を検索することができます。



番号	項目	内容
①	カメラリスト	検索するカメラを選択します。
②	開始／終了時間	検索する範囲を指定します。 設定方法は、「時間検索」(➡ 21 ページ) と同じです。
③	イベントタイプ	検索するイベントの種類を選択します。
④	検索ボタン	クリックして検索を開始します。

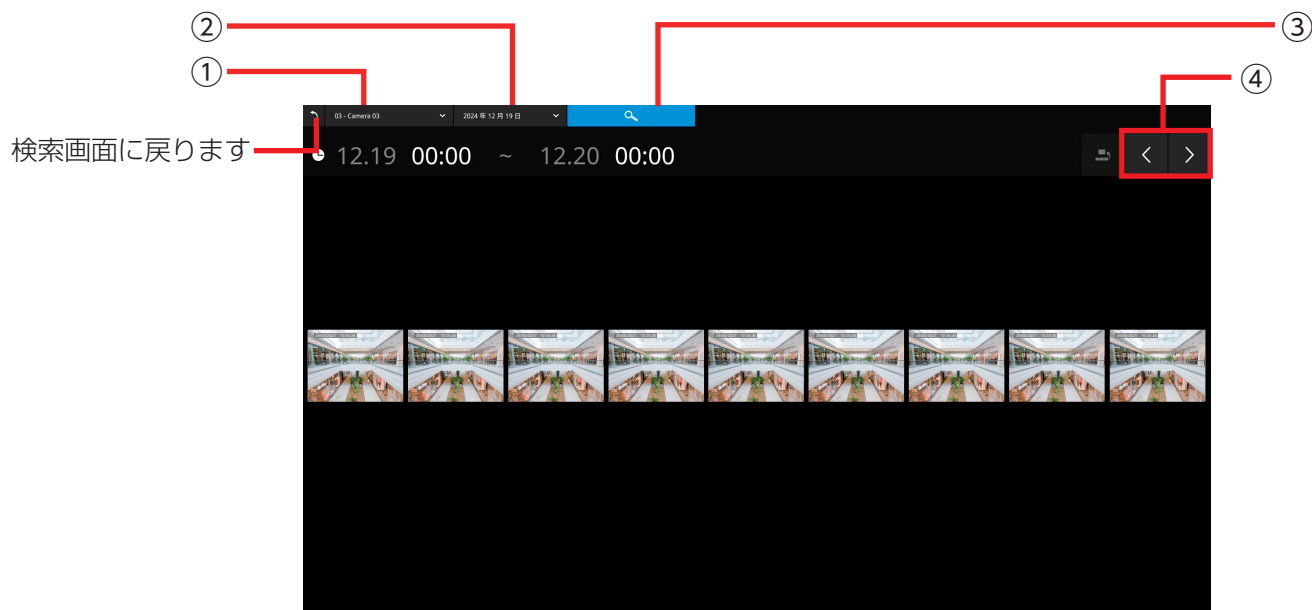
■ 検索結果



番号	項目	内容
①	表示形式	 検知映像をプレビュー表示します。  検知映像を検知日時でリスト表示します。
②	すべて再生	検索結果の映像をすべて再生します。
③	エクスポートするクリップを選択	USB メモリーに選択した検知映像をエクスポートします。 「すべて選択」をクリックすると、検索したすべての検知映像を選択します。
④	再生画面	選択中の映像（青枠で表示されている映像）を再生します。  全画面表示します。  一時停止をします。  再生をします。 <> 前の画像または次の画像を表示します。  スライダーを移動すると、再生位置を移動することができます。
⑤	詳細表示	検知名／検知日時／カメラ名を表示します。
⑥	ページ表示	ページ表示をします（最大表示アイテム数：200 アイテム）。 ◀▶をクリックすると、ページを移動します。  詳細を確認する場合は、開始 / 終了時間を短く設定してください。

ストーリーボード

指定した期間の映像をストーリーボードに表示します。



番号	項目	内容
①	カメラリスト	検索するカメラを選択します。
②	日付選択	検索する日付を指定します。 設定方法は、「時間検索」(➡ 21 ページ) と同じです。
③	検索ボタン	クリックして検索を開始します。 映像が時系列で表示されます。
④	日付移動	<>をクリックすると、日付を移動します。

録画のエクスポート

録画データを USB メモリーに保存することができます。

1 メインメニューから【録画のエクスポート】をクリックする

USB メモリーを本製品の USB 端子に接続します。
USB メモリーを認識すると、ピピッと音が鳴ります。



2 カメラのアイコンをクリックし、エクスポート対象のカメラを選択する

「すべて選択」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

3 日付、時刻を選択する

4 【エクスポート】をクリックする



クリックするとライブビューに戻ります。

録画画質を設定する

録画映像の解像度やフレームレート、画質を適切なものに設定します。

1 メインメニューから【設定】をクリックする

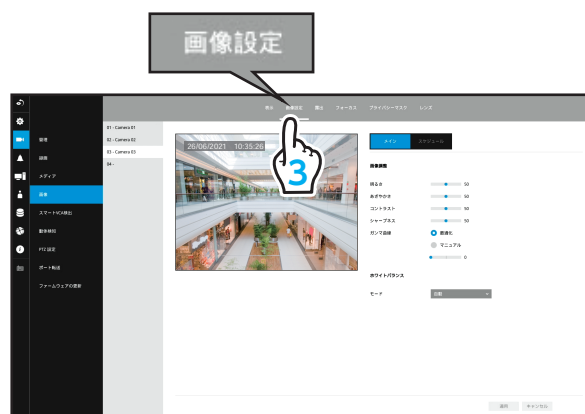


2 【】 - 【画像】をクリックする



3 「画像設定」をクリックする

必要に応じて各メニューに入り、設定を行います。
(➡詳しい設定内容は 48 ページ「画像」)



録画スケジュールを設定する

初期設定では録画は 24 時間 毎日行われます。夜間や休日に録画をしないときなどは、スケジュール設定をします。

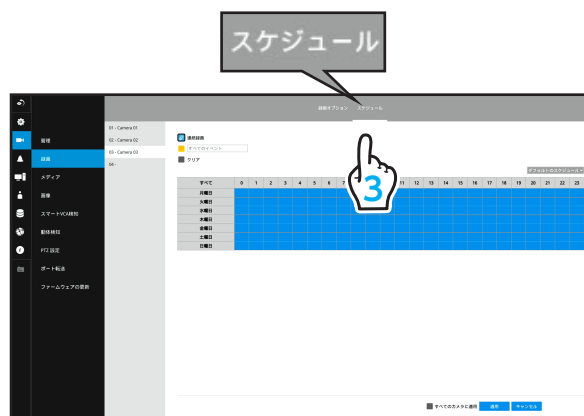
1 メインメニューから「設定」をクリックする



2 「[録画]」 - 「録画」をクリックする



3 「スケジュール」をクリックする 必要に応じてスケジュール設定を行います。 (➡詳しい設定内容は 41 ページ「録画」)



アラームの設定をする

映像に動きや妨害行為を検知したときや、映像が中断したときにブザーや E メールで通知することができます (➡ 68 ページ)。

アラームを設定するときは、事前に動体検知 (➡ 65 ページ) またはスマート VCA 検知 (➡ 55 ページ) を設定をしてください。

映像を拡大して見る（デジタルズーム）

ライブ映像画面や再生画面では映像の一部をデジタルズームで拡大して見ることができます。

ライブ映像画面でズーム表示する

- 1 ツールバーから「デジタルズーム」をクリックする、または「時間検索」の「デジタルズーム」をクリックする



- 2 ズーム窓に表示されているスライダーを右に移動させると映像が拡大表示されます。拡大表示したい箇所に白枠をドラッグします

ズーム窓



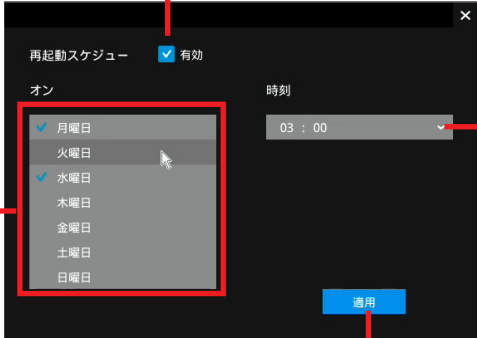
設定メニューについて

メニュー項目	内容	ページ
	映像の設定、別売カメラの追加などカメラの設定を行います。	36 ページ
	アラームの設定やシステムの警告などを設定します。	68 ページ
	本製品のシステム設定を行います。	77 ページ
	ユーザーの追加、パスワードの変更などのユーザー管理を行います。	84 ページ
	ハードディスクの設定や、バックアップの設定などを行います。	87 ページ
	IP アドレスなど、ネットワークの設定を行います。	89 ページ
	本製品の情報が表示されます。	92 ページ

概要 ()

カメラの登録状況やストレージの使用状況の確認ができます。



番号	項目	内容
①	カメラの接続	 カメラが登録済みです（未録画）。  カメラが登録済みです（録画中）。  登録したカメラが切断されている、接続されていない。 (カメラアイコンが表示されていないときは、カメラが未登録です)
②	ストレージ	ストレージの合計使用量と残り使用可能領域を表示します。
③	再起動	 をクリックすると、本製品を再起動します。  をクリックすると、設定したスケジュールで再起動することができます。 ＜スケジュールの設定方法＞ チェックマーク（有効）を入れると、スケジュール再起動が有効になります。  時刻を設定します。 曜日を設定します。 設定後、クリックします。
④	シャットダウン	 をクリックして、本製品の電源を切ります。

カメラ ()

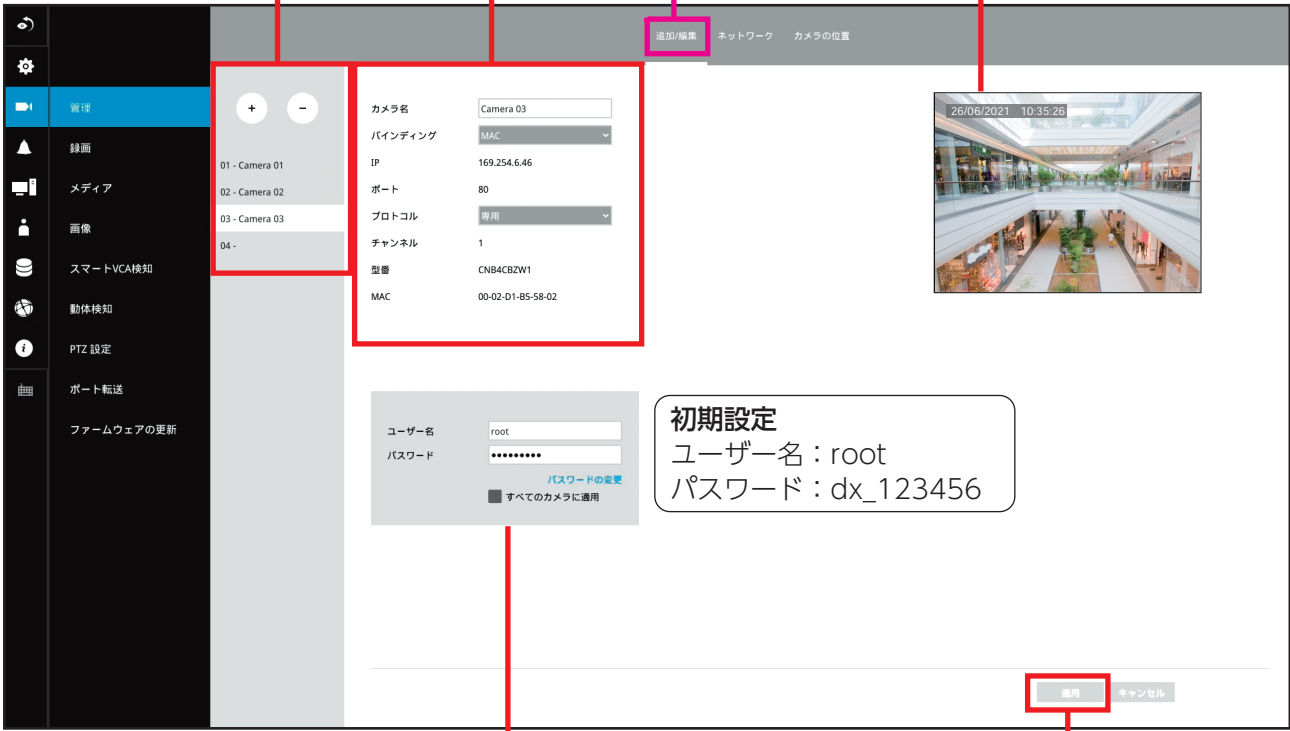
管理

■ 追加／編集

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。



カメラ側の管理画面での設定内容と本製品で設定できるカメラの設定内容は、異なります。詳細な設定については、カメラ側の管理画面で設定してください。



The screenshot shows the camera management interface with the following elements and annotations:

- ①** Points to the list of cameras on the left sidebar.
- ②** Points to the configuration form for Camera 03.
- 選択する** (Select) points to the "追加/編集" (Add/Edit) button.
- カメラの映像が表示されます** (Camera video is displayed) points to the live video feed of Camera 03.
- 初期設定** (Initial Settings) box contains:
 - ユーザー名: root
 - パスワード: dx_123456
- ③** Points to the "適用" (Apply) button at the bottom.
- 設定後、クリックする** (Click after setting) points to the "適用" (Apply) button.

The configuration form for Camera 03 includes the following fields:

項目	値
カメラ名	Camera 03
バインディング	MAC
IP	169.254.6.46
ポート	80
プロトコル	専用
チャンネル	1
型番	CN84CBZW1
MAC	00-02-D1-85-58-02

The live video feed shows a timestamp of 26/06/2021 10:35:26.

番号	項目	内容	
①	カメラリスト	カメラの追加／削除を行います。	
②	カメラ名	カメラ名を変更できます。	
	バインディング	カメラの認識方法を指定します。	
		MAC	IP アドレスの変更に関係なく、MAC アドレスでカメラを認識します。
		IP	固定 IP 設定で認識します。カメラの IP アドレスが変更されると、アクセスできなくなる可能性があります。
	IP	バインディングで IP を選択しているとき、IP アドレスを入力します。	
ポート	バインディングで IP を選択しているとき、ポート番号を入力します。		
③	プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。	
		専用	この設定でを使用することを推奨しています。
		ONVIF	すべての製品が正しく動作することは保証いたしかねます。使用する製品を実際に使用できることをご確認ください。
		RTSP	URL を入力します。
③	ユーザー情報	カメラにログインするユーザー情報を入力します。 設定したユーザー情報は忘れないようにしてください。	

カメラの追加

1 追加するカメラ番号をクリックする

2 [+] ボタンをクリックする

カメラの検索が開始されます。

3 [専用] ボタンをクリックする

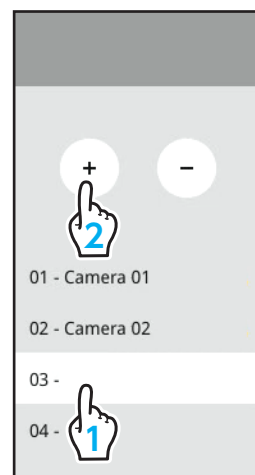
「ONVIF」 ボタンをクリックしてカメラを追加したときは、すべての製品が正しく動作することは保証いたしかねます。使用する製品を実際に使用できることをご確認ください。

4 検索結果から追加するカメラの [追加] ボタンをクリックする

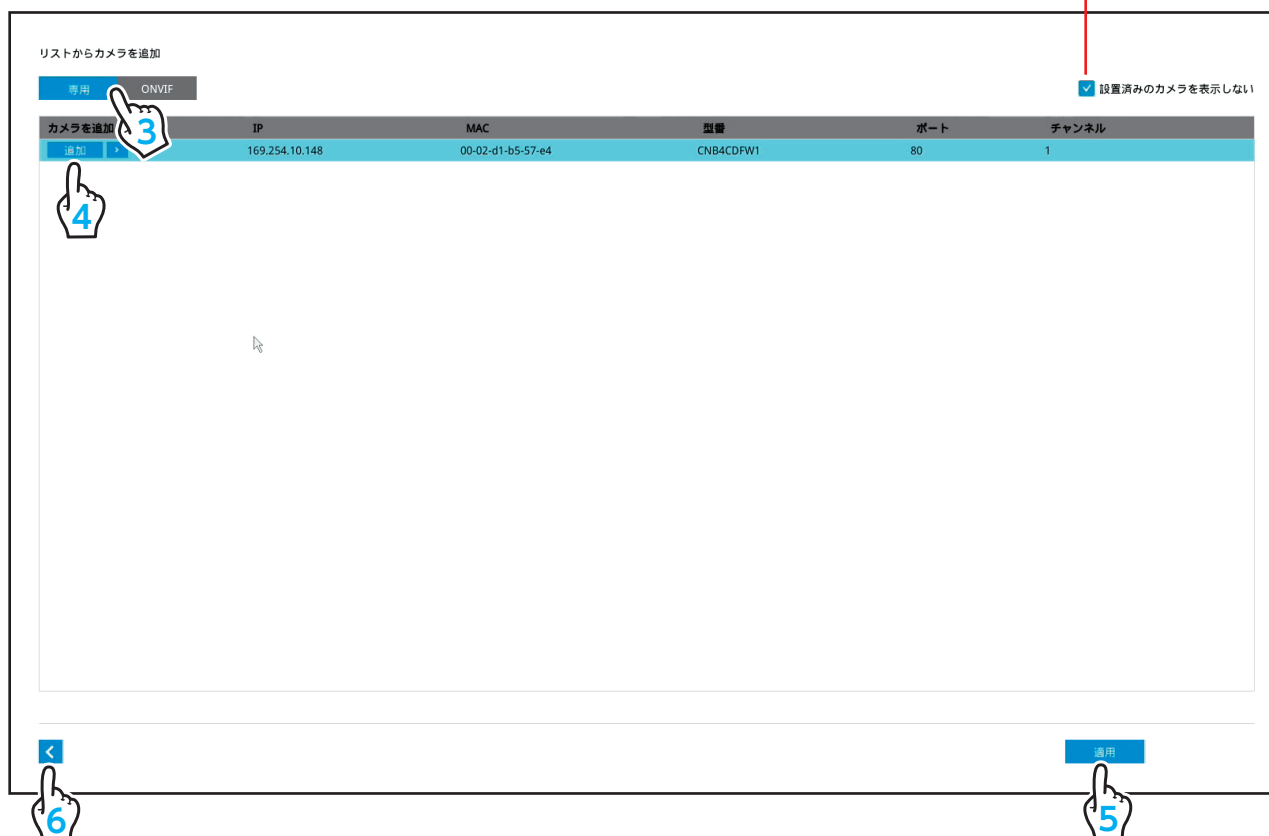
5 [適用] ボタンをクリックする

6 < ボタンをクリックする

ひとつ前の画面に戻ります。



チェックマークを外すとすべての登録済のカメラが表示されます。



7 ユーザー名とパスワードを入力する

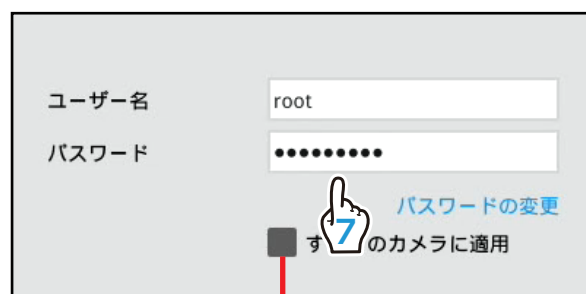
初期設定の場合

ユーザー名：root

パスワード：dx_123456

8 [適用] ボタンをクリックする

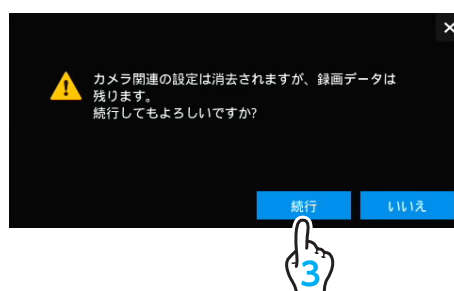
カメラの映像が表示されます (→ 36 ページ)



別のカメラにも適用する場合は、チェックを入れる

カメラの削除

- 1 **[-] ボタンをクリックする**
[-] ボタンの色が変わります。
- 2 **カメラリストから削除したいカメラにポインタを合わせてクリックする**
「削除」が表示されてから、クリックします。
- 3 **【続行】 ボタンをクリックする**
カメラリストからカメラが削除されます。
- 4 **削除後、再度 [-] ボタンをクリックする**
[-] ボタンの色が元に戻り、元の画面に戻ります。



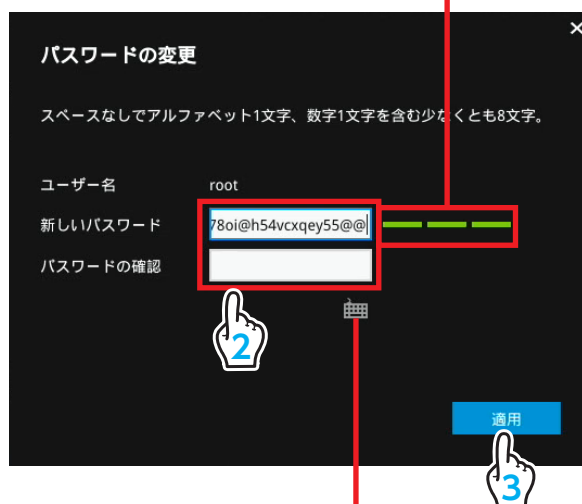
パスワードの変更

- 1 **「パスワードの変更」をクリックする**
 パスワードはアルファベット (A-Z、a-z) 1 文字、数字 (0-9) 1 文字を含む 8 ~ 64 文字で設定してください。使用できる記号は !%-.@^_ です。スペースは入力できません。
- 2 **「新しいパスワード」を入力し、「パスワードの確認」に再度同じパスワードを入力する**
重要 設定したパスワードは忘れないようにしてください。
- 3 **「適用」ボタンをクリックする**



別のカメラにも適用する場合は、
チェックを入れる

パスワードの強度を表示します
■■■■■が表示されたときが、
強度が一番強いです



クリックすると、キーボードが表示される

■ ネットワーク

カメラのネットワーク設定を行います。

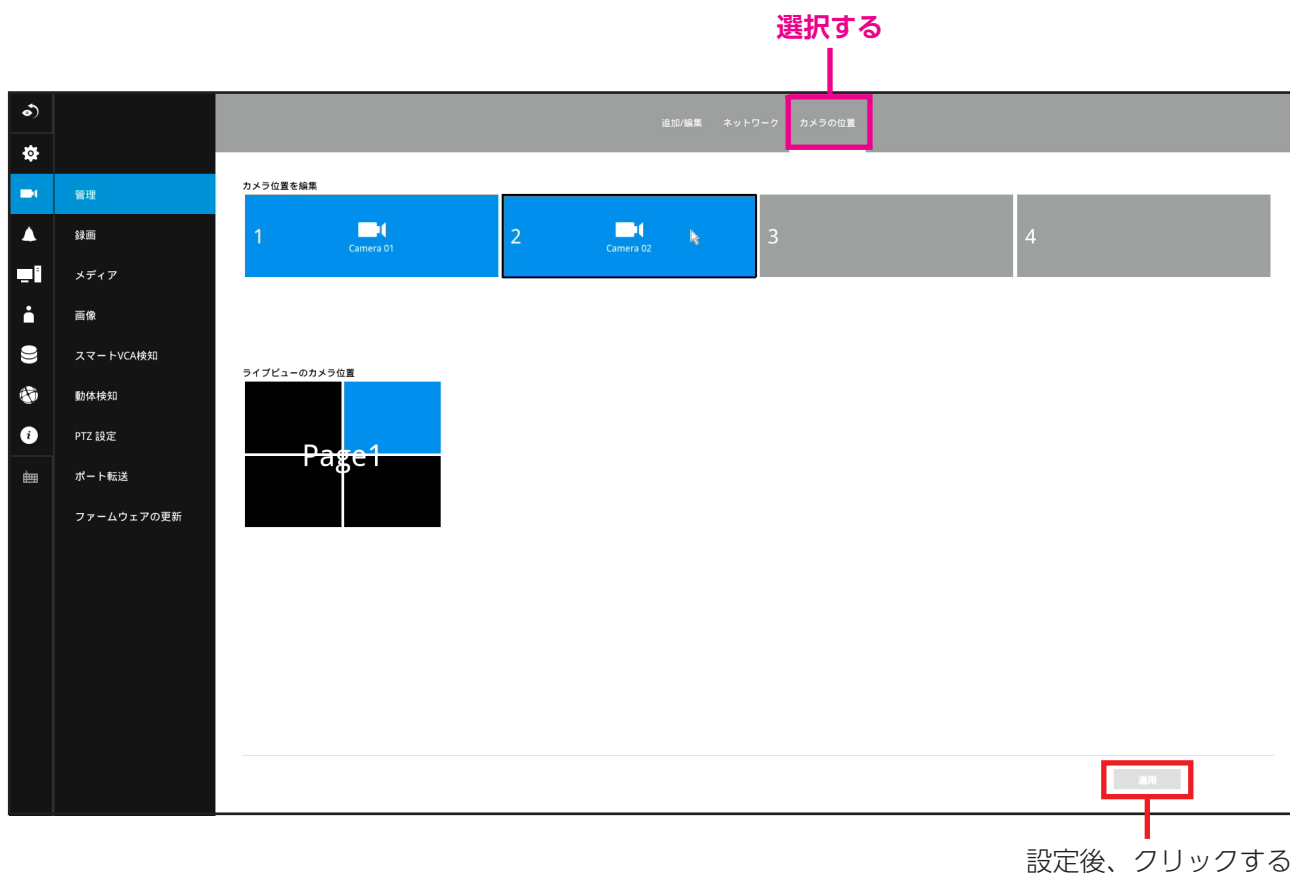
別のカメラにも適用する場合は、
チェックを入れる

設定後、クリックする

番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	設定	ネットワークレコーダーをインターネット回線に接続し (➡ 9 ページ)、「ネットワーク」→「IP」画面で「NET1」の「設定」を「DHCP」に変更 (➡ 110 ページ) すると、自動的に IP アドレスを取得します。
	IP	「手動設定」を選択したときに、設定します。
	サブネットマスク	
	ゲートウェイ	
	DNS サーバー 1	
	DNS サーバー 2	
	WINS サーバー 1	ポート番号を設定します。 ポート番号は 1 ～ 65535 の範囲で設定できますが、以下の番号は予約されているので、設定できません。 21、23、2000、3702、60000
	WINS サーバー 2	
	HTTP ポート	
	RTSP ポート	RTSP 認証の方法を選択します。 [無効／基本／ダイジェスト]
	RTSP 認証	

■ カメラの位置

ライブビューのカメラの表示位置を変更できます。

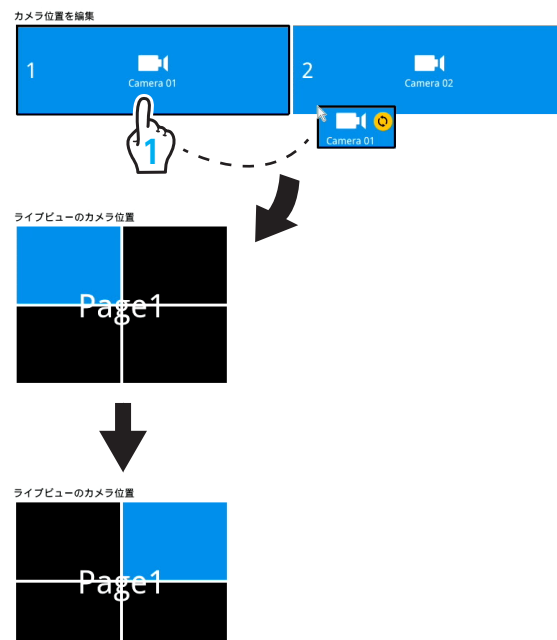


設定後、クリックする

カメラの表示位置の変更

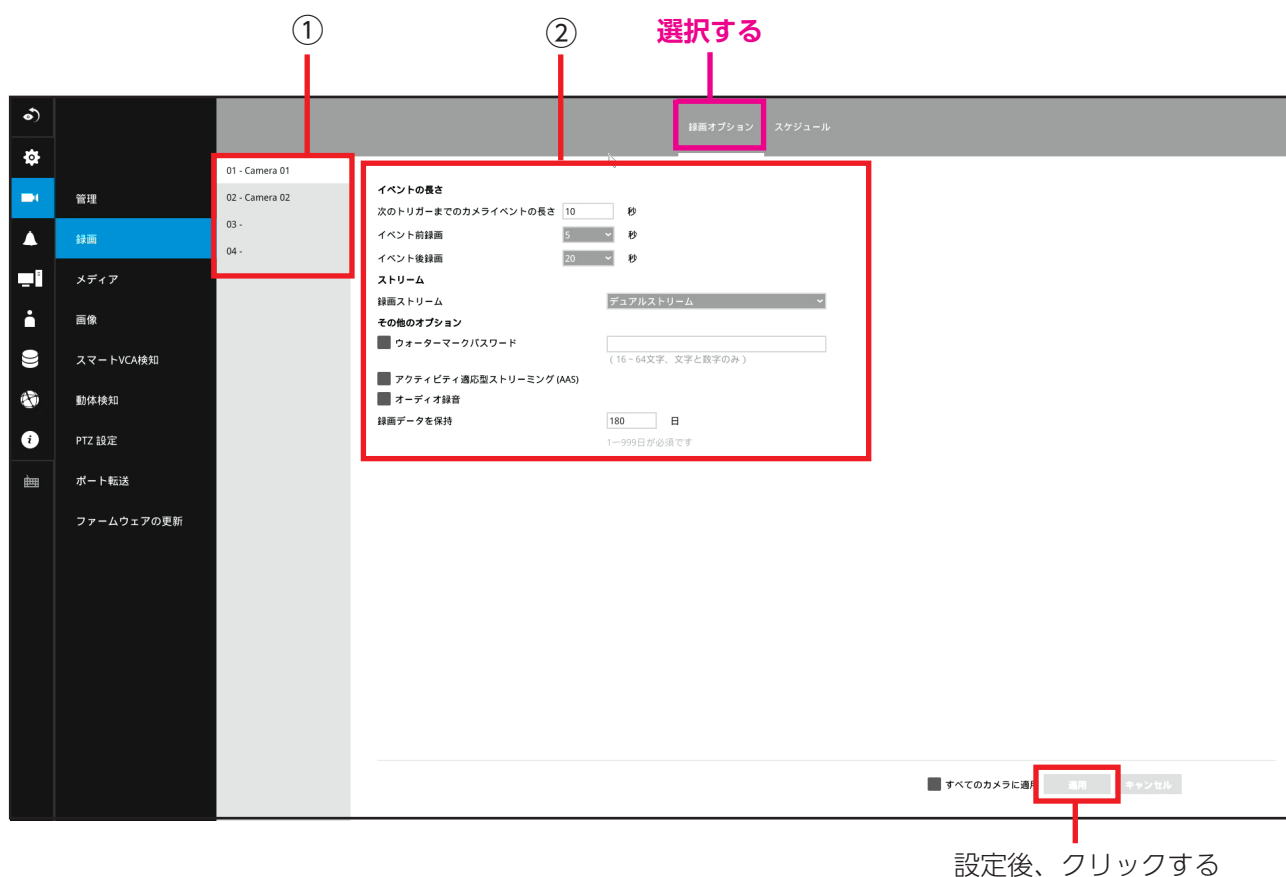
1 カメラのアイコンをドラッグ&ドロップしてカメラの位置を変更する

2 「適用」をクリックする



録画オプション

録画のオプション設定を行います。



番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	次のトリガーまでのカメライベントの長さ	一度カメラがイベントを検知してから、次のイベントを検知するまでのカメラの待機時間を設定します。
	イベント前録画	指定した時間だけイベント開始時間より前に録画を開始します。
	イベント後録画	指定した時間だけイベント終了時間後も録画します。
	録画ストリーム	メインストリーム録画またはデュアルストリーム録画ができます。デュアルストリーム録画にすると、1 台のネットワークカメラから異なる性質の映像を同時に受け取ることができます。
	ウォーターマークパスワード	チェックを入れると、エクスポートされたビデオの信頼性を検証するためのパスワードが使用できます。
	アクティビティ適応型ストリーミング (AAS)	チェックを入れると、動きがない映像でビットレートを削減できます。
	オーディオ録音	チェックを入れると、音声付きで録画ができます。
	録画データを保持	録画データの保持期間を設定します。

■スケジュール

録画のスケジュール設定を行います。

色が付いている区間に録画を行います。

① ② ③

録画オプション スケジュール

01 - Camera 01
02 - Camera 02
03 -
04 -

連続録画
すべてのイベント
クリア

デフォルトのスケジュール

すべて 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
日曜日

すべてのカメラに適用 適用 キャンセル

設定をすべてのカメラに適用します

設定後、クリックする

番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	録画方法	マウスで設定したい時間をクリックすると、下記の選択した録画方法で録画します。ドラッグすると、曜日または時間帯をまとめて設定できます。
		連続録画 連続録画します。
		すべてのイベント 録画するためにはトリガーとなるイベントの設定が必要です。
③	一括変更	録画スケジュールをプリセットの内容に一括で変更することができます。
		「全日」：すべての曜日と時間が連続録画に設定されます。 「営業時間」：月曜日から金曜日の 9:00 ～ 17:00 が連続録画に設定されます。 「営業時間外」：月曜日から金曜日の 9:00 ～ 17:00 を除いた日時が連続録画に設定されます。 「営業日」：月曜日から金曜日のすべての時間が連続録画に設定されます。 「週末」：土曜日と日曜日のすべての時間が連続録画に設定されます。

<スケジュール設定例>

月曜日から金曜日の 0:00 ～ 9:00 までを動体検知録画、9:00 ～ 18:00 までを連続録画、18:00 ～ 0:00 までを動体検知録画に設定します。

土曜日と日曜日を録画しないに設定します。

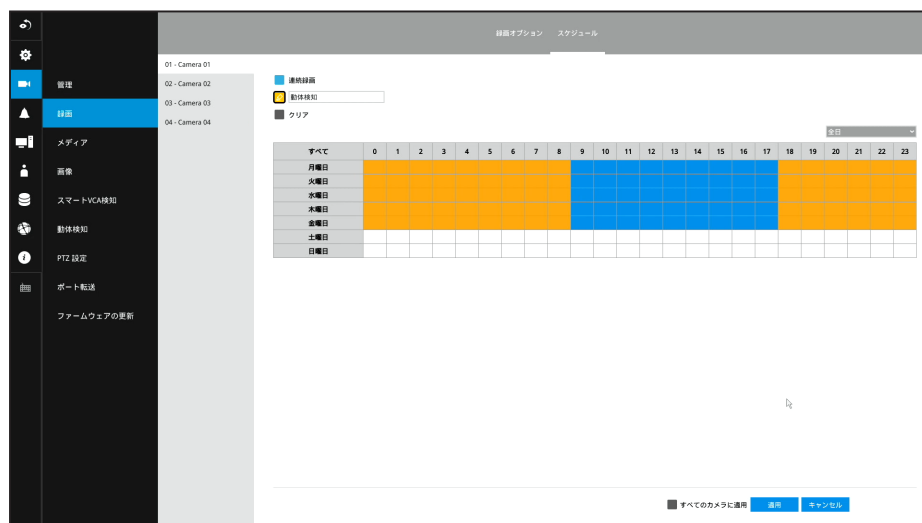
①プルダウンメニューから、 動体検知 を選択します。
月曜日から金曜日の 0 : 00 から 9:00 までをマウスでドラッグします。

②  連続録画 を選択します。
月曜日から金曜日の 9 : 00 から 18:00 までをマウスでドラッグします。

③  動体検知 を選択します。
月曜日から金曜日の 18 : 00 から 0:00 までをマウスでドラッグします。

④  クリア を選択します。
土曜日から日曜日の終日をマウスでドラッグします。

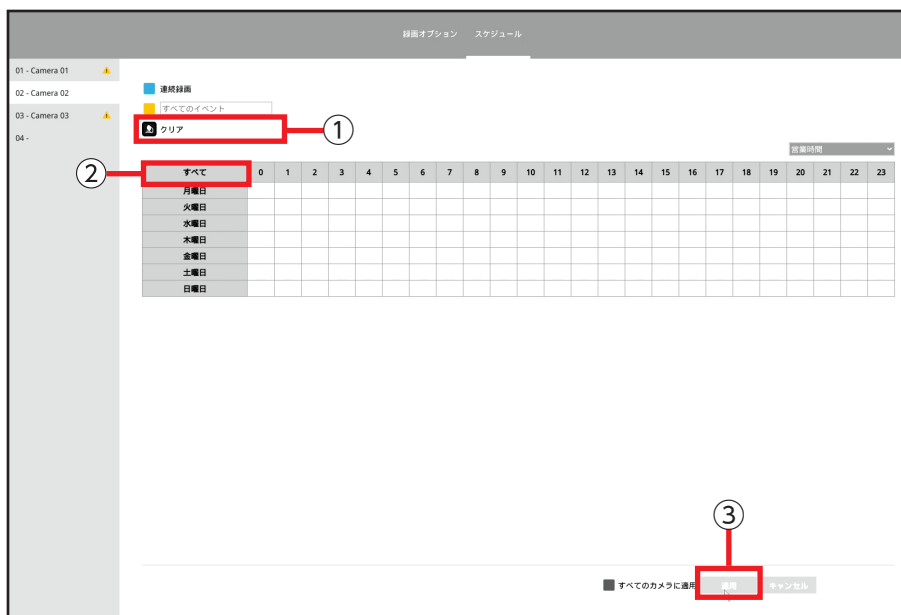
⑤設定後、「適用」をクリックします。



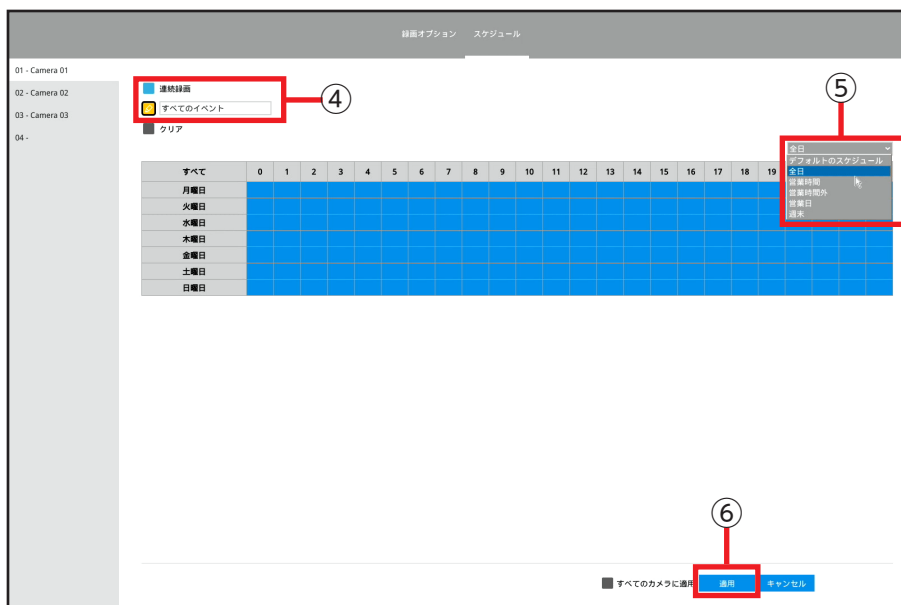
＜一括設定を使用するとき＞

設定したスケジュールをすべて削除してから、一括設定を行うことをおすすめします。

- ①「クリア」を選択します。
- ②「すべて」を選択し、設定済のスケジュールを削除します。
- ③「適用」をクリックします。

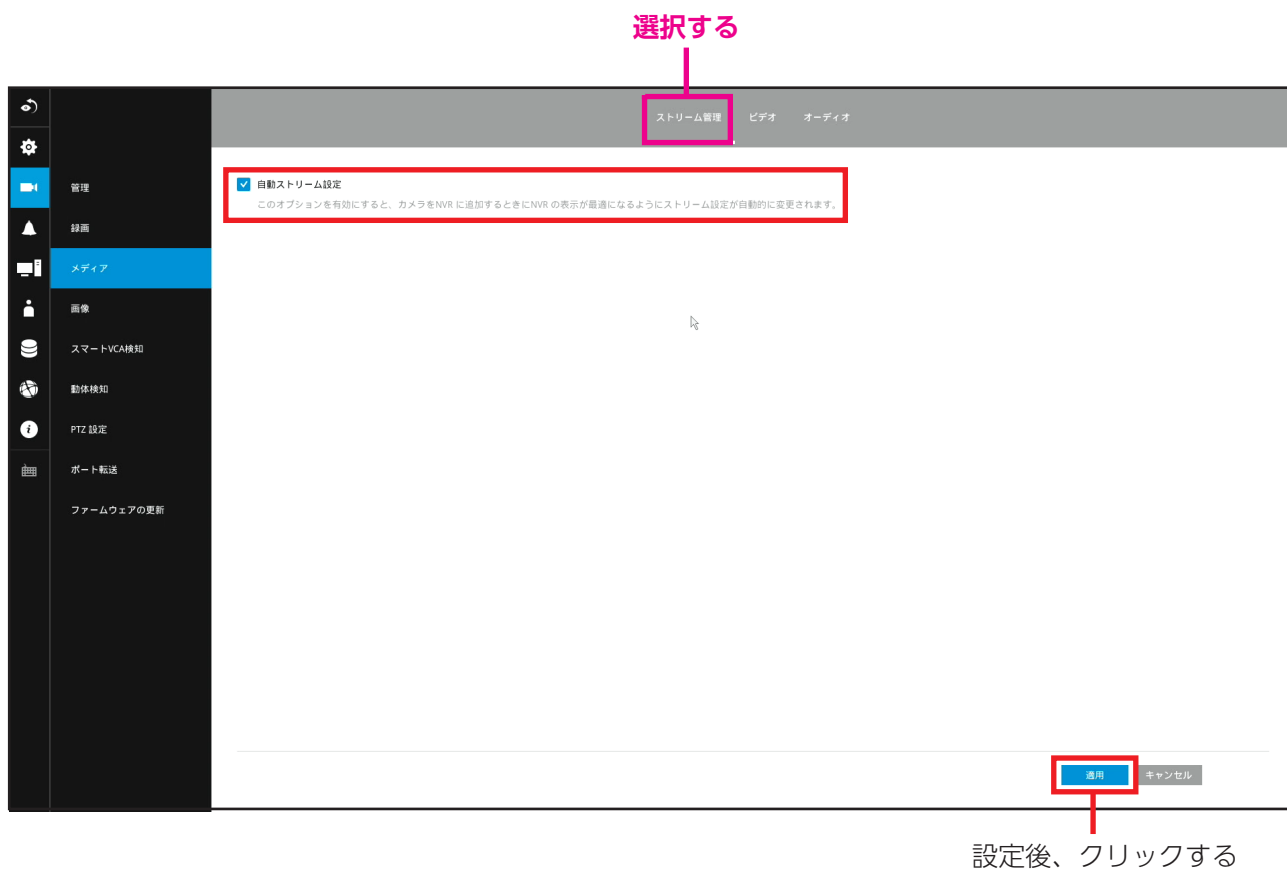


- ④録画方法を選択します。
- ⑤一括設定したいプリセットスケジュールをプルダウンメニューから選択します。
「デフォルトのスケジュール」は使用できません。
- ⑥設定後、[適用] をクリックします。



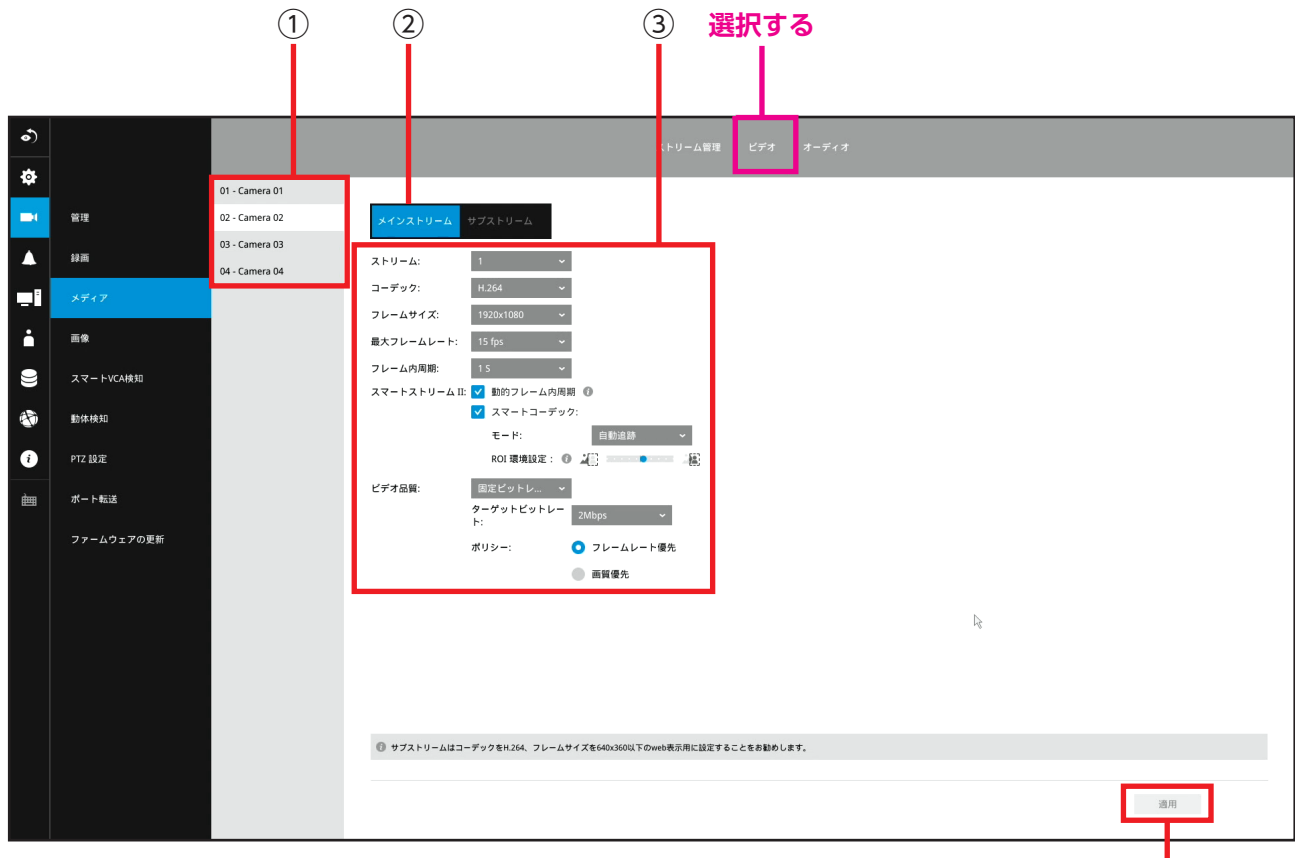
■ ストリーム管理

「自動ストリーム設定」にチェックを入れると、カメラを登録するとき自動的に最適なストリーム設定が適用されます。



■ビデオ

映像に関する設定を行います。



設定後、クリックする

番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	ストリーム選択	録画に使用するストリームの詳細設定の切り換えをします。
③	ストリーム	ストリーム番号を選択します。
	コーデック	ビデオの圧縮規格を選択します。
	フレームサイズ	ビデオの解像度を選択します。 ✎ ストリーム番号により選択できる最大解像度が異なります。
	最大フレームレート	1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。
	フレーム内周期	1 フレームの間隔を設定します。

番号	項目	内容	
③	スマートストリームⅡ	動的フレーム内周期	チェック（有効）を入れると、1フレーム間隔を1～10秒間で自動調整します。
		スマートコーデック	チェック（有効）を入れると、より高い圧縮を行います。
		モード	スマートコーデックにチェック（有効）をいれると、画面上のエリア全体または特定のエリアの画像品質を効果的に低下させることができます。 [自動追跡 / 手動 / ハイブリッド] の選択ができ、[手動 / ハイブリッド] は ROI の領域設定が可能になります。 <自動追跡> 画面全体が非 ROI 領域に設定されます。物体が移動すると、その物体を表示している画面の一部分のビデオ品質が高画質に戻ります。移動のない領域は、低画質になります。 <手動> 画面上に3つのROI領域を設定できます。ROI領域外は、非ROI領域となります。ROI領域内は、高画質になります。 <ハイブリッド> 非ROI領域に物体が侵入すると、動く物体とその周囲のエリアのビデオ品質が高画質に戻ります。関連する非ROI領域のビデオ品質はただちに高画質に戻り、動く物体を捉えます。
		ROI 環境設定	ROI と非 ROI 領域間を調整します。スライダーが右にあるほど、ROI 領域の画質を高めます。
	ビデオの品質	品質またはビットレートを指定します。[固定ビットレート / 固定品質]	
		品質	「固定品質」を選択しているときに、ビデオの品質を選択します。
		最大ビットレート	「固定品質」を選択しているときに、1秒あたりの最大転送ビット数値を選択します。
		ターゲットビットレート	「固定ビットレート」を選択しているときに、1秒あたりの転送ビット数値を選択します。
		ポリシー	「固定ビットレート」を選択しているときに、フレームレートまたは画質優先を選択します。



H.264 または H.265 では一定期間で1フレーム（イントラフレーム）として、完全な画像を送り、それ以外のときには、フレーム間の画像差分データのみを送ることで、圧縮率を上げています。ネットワーク上でパケットロスが発生した場合、映像の乱れが起きますが、1フレームを受信すると復旧されます。そのため1フレーム間隔を空けると（大きくすると）、映像の圧縮率が向上し全体のデータ量が少なくなりますが、映像の乱れが起きた場合に、復旧までの時間が長くなります。

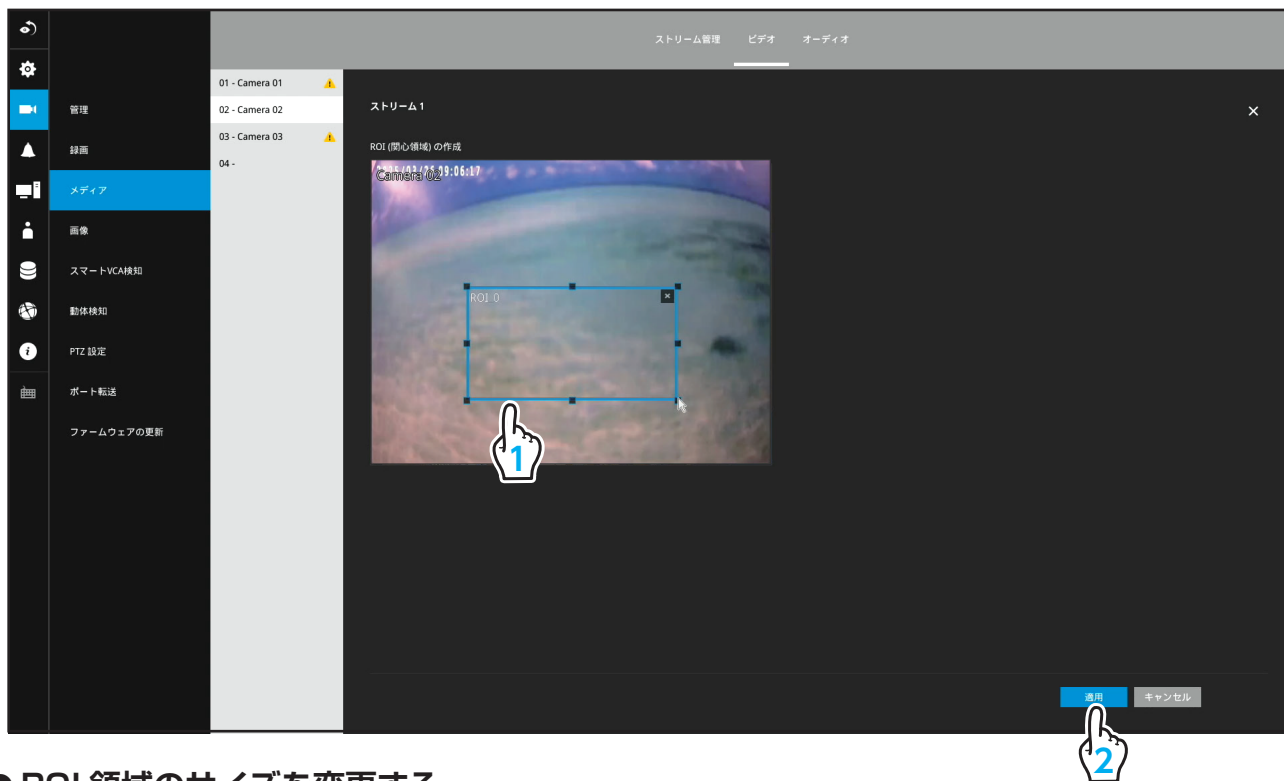
< ROI 領域の設定方法 >

「モード」を「手動」または「ハイブリッド」に設定したときは、ROI 領域を設定することができます。

1 ROI 領域を設定する

マウスをドラッグします。

2 「適用」をクリックする



● ROI 領域のサイズを変更する

- ・ 下記○部分（8 か所）にマウスポインタを移動してドラッグすると、ROI 領域のサイズを変更できます。
- ・ 設定後、「適用」をクリックします。

● ROI 領域を削除する

- ・  をクリックします。
- ・ 設定後、「適用」をクリックします。



< ROI 領域の映像 >

ROI を設定したときは、映像の画質は下図のようになります。ROI 領域が設定されている画面下部は高品質で表示され、非 ROI 領域部分の画面上部は低品質で表示されます。

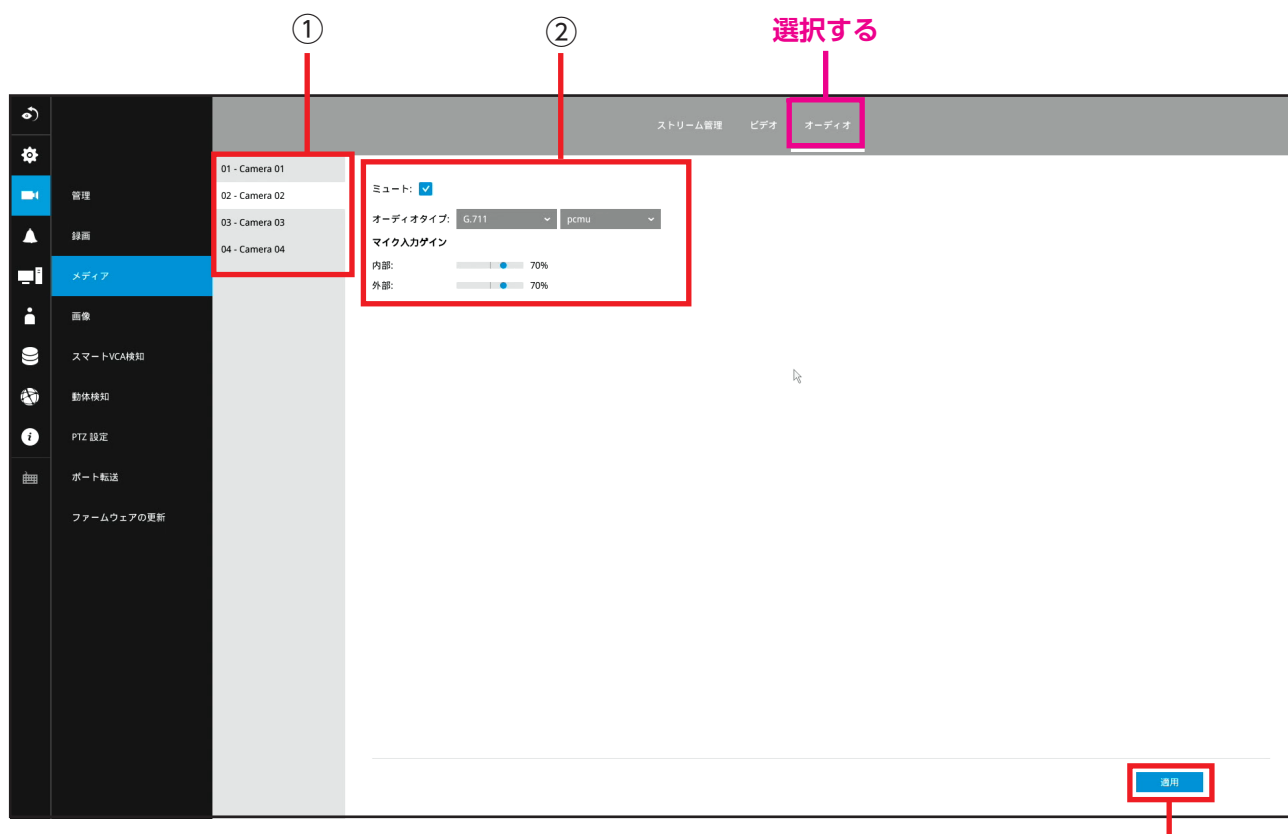
※下図は ROI 領域の設定内容によって異なります。

※画面表示は、実際の映像とは異なります。



■ オーディオ

音声に関する設定を行います。



設定後、クリックする

番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	ミュート	チェック（有効）を入れるとミュート（消音）になります。 録画データに音声は録音されません。
	オーディオタイプ	音声の圧縮形式を選択します。
	マイク入力ゲイン	マイクの入力ボリュームを設定します。 スライダーが右にあるほど、パーセントは高くなります。

画像

表示

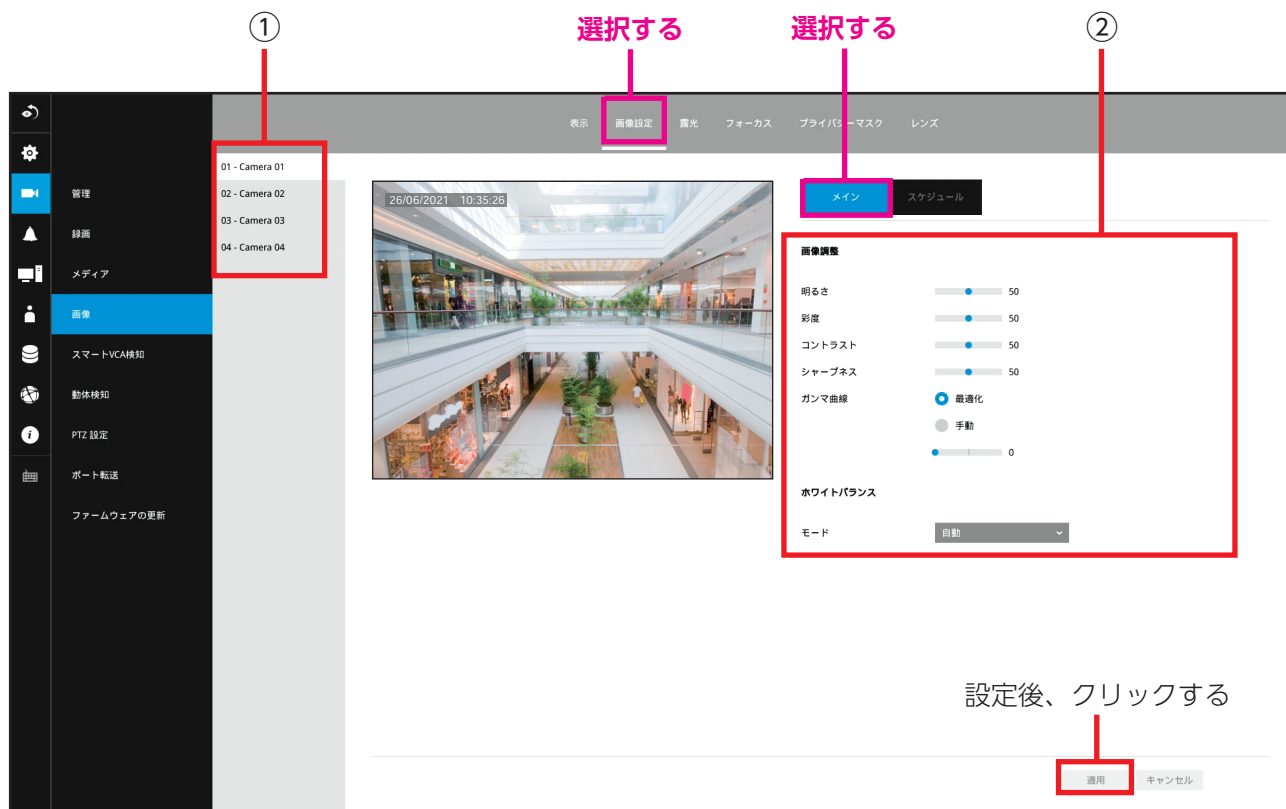
映像の表示設定を行います。



番号	項目	内容	
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。	
②	ビデオ名	ビデオの名称を設定します。	
	ビデオ名とタイムスタンプ	チェック（有効）を入れると、画像とスナップショット上にビデオ名とタイムスタンプを表示します。	
	カラー	画像の色設定を選択します。	
	電源周波数	電源周波数を選択します。	
	ビデオの向き	画像を上下または左右反転させます。	
	ナイトモード時に白黒画像へ切り替える	チェック（有効）を入れると、周囲の照明条件によりナイトモードに切り換えると、白黒画像に切り換えます。	
	IR カットフィルター	自動切替	周囲の照明条件に応じて、夜間モードと昼間モードを自動的に切り替えます。  「自動切替」に設定しているときに、IR カットフィルターの感度を設定することで、周囲の照明条件に対する感度を調整できます。
		デイモード	周囲の照明条件に応じて、高品質のカラー画像を出力します。
		ナイトモード	周囲の照明条件に応じて、高品質の白黒画像を出力します。
		タイマー制御	IR カットフィルターを有効にする時間を設定します。 開始時刻と終了時刻を入力します。

■ 画像設定

映像の画像設定を行います。



<メイン設定項目>

番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	明るさ	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像が明るくなります。 
	彩度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、彩度が高くなります。 
	コントラスト	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、コントラストが強くなります。 
	シャープネス	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、輪郭がはっきりします。 

番号	項目	内容		
②	ガンマ曲線	「最適化」：自動的に画像の明るさや色の再現性を調整します。 「手動」：スライダーを使って、調整します。		
	モード	ホワイトバランスのモード選択を行います。		
		自動	ホワイトバランスの補正を自動で行います。	
		現画像で固定	ホワイトバランスの補正を行いません。	
		手動	RGain	赤色のオフセット値を手動で調整します。
		BGain	青色のオフセット値を手動で調整します。	

※画像例は効果を説明するためのサンプルで、実際の画像画質とは異なります。

<スケジュール設定項目>

①

選択する

②

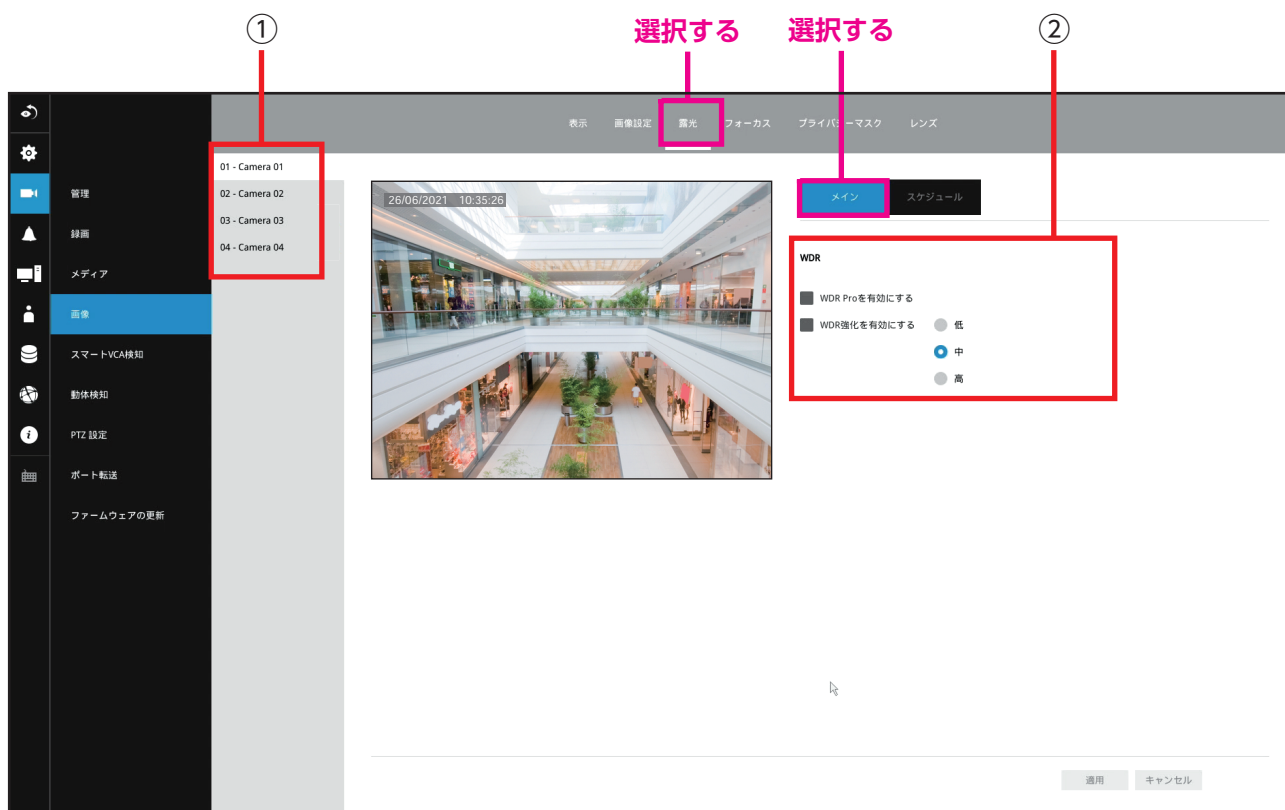
設定後、クリックする

番号	項目	内容		
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。		
②	スケジュールを有効にする	チェック(有効)を入れると、スケジュールに応じた画像設定ができます。		
	切替方式	切り換えるモードを選択します。		
		ナイトモード	ナイトモードになると画像設定を切り替えることができます。	
		タイマー制御	設定した時間で画像設定を切り替えることができます。 開始時刻と終了時刻を入力します。	

画質調整については、メイン設定と同じです。

■ 露光

カメラ映像の露光を設定します。



<メイン設定項目>

番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	WDR Pro を有効にする	WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。
	WDR 強化を有効にする	映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないように調整できます。 「有効」にすると、「低」、「中」、「高」で設定ができます。

<スケジュール設定項目>

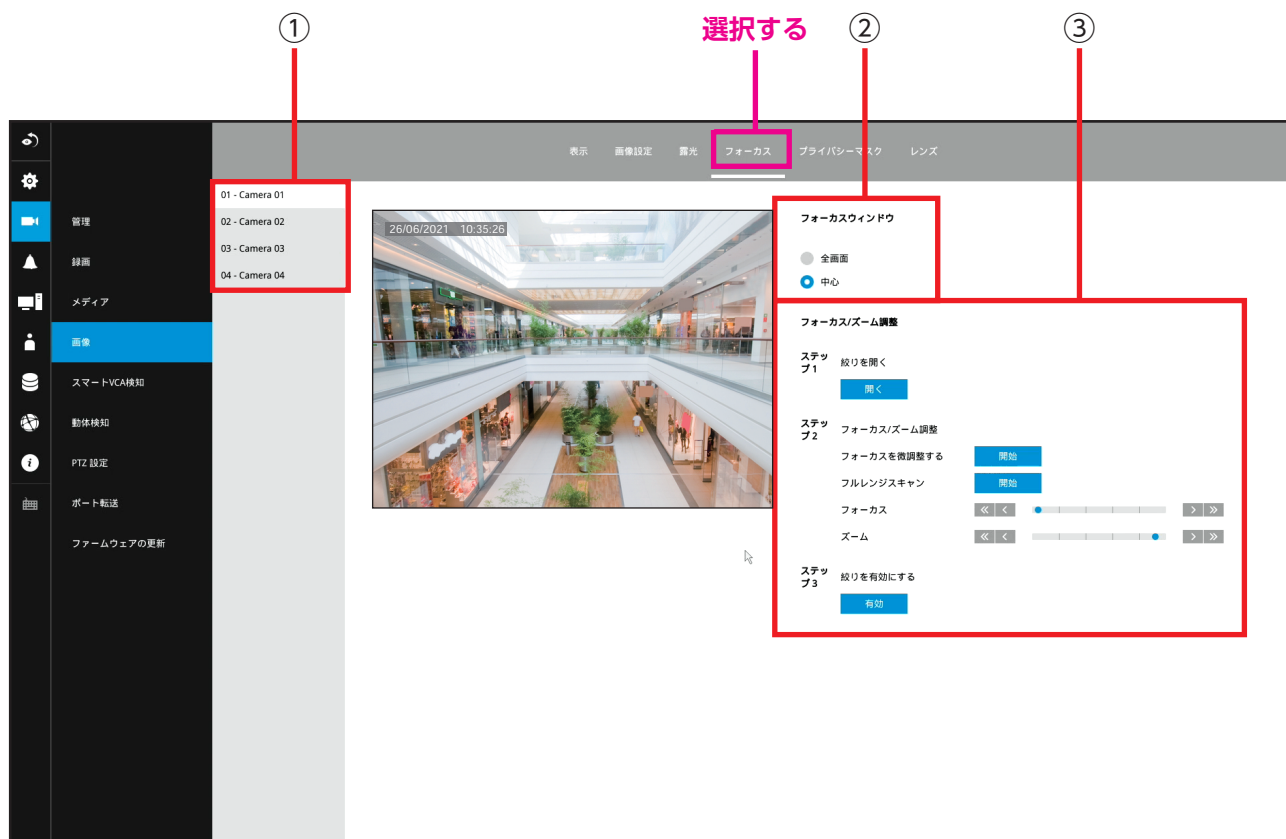
設定方法は画像設定（➡ 53 ページ）をご確認ください。

選択する

WDR 設定については、メイン設定と同じです。

■ フォーカス

ズーム・フォーカス設定をします（CNB4CDZW1/CNB4CBZW1 のみ）。



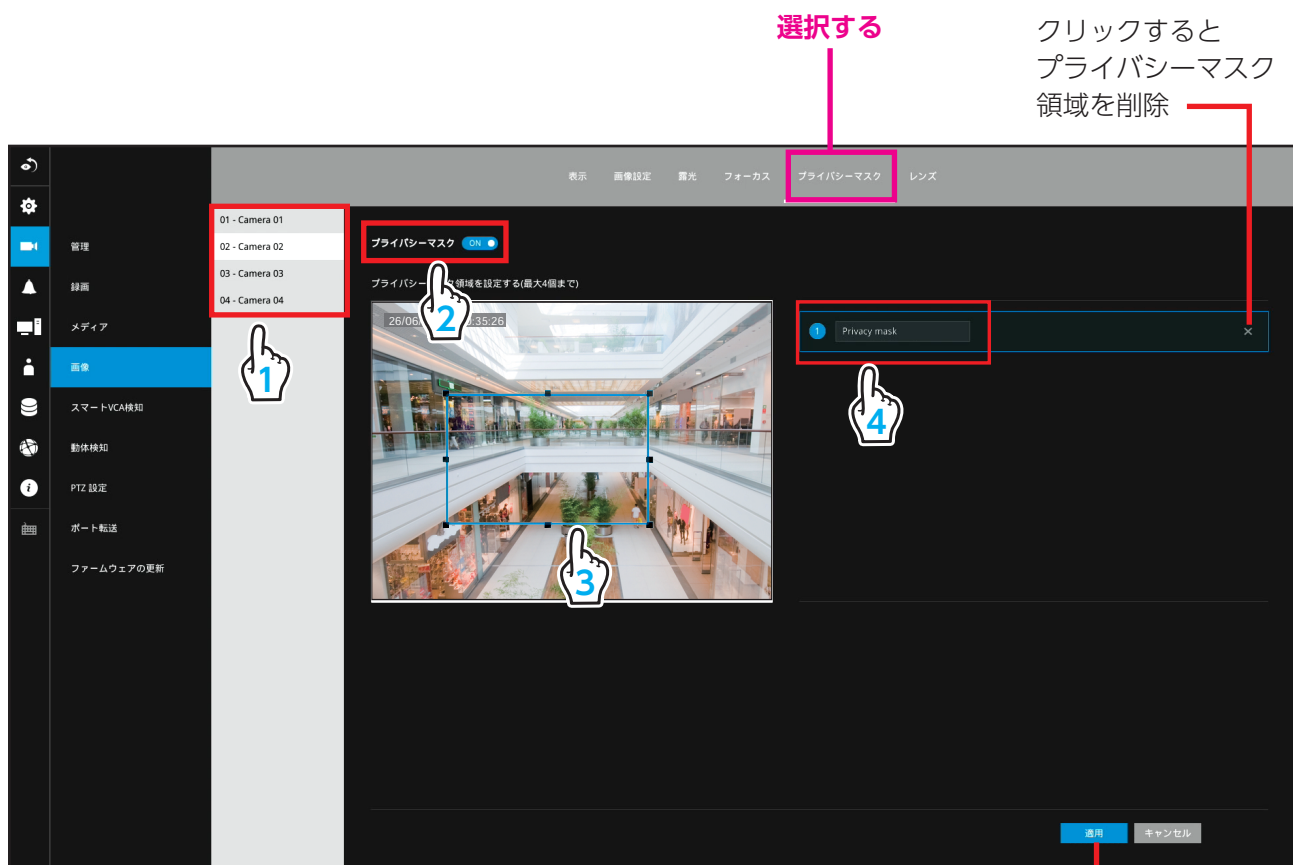
番号	項目	内容
①	カメラリスト	設定するカメラを選択します。
②	フォーカスウィンドウ	フォーカスウィンドウを設定します。
③	フォーカス / ズーム調整	ステップ1 絞りを開く 本製品では使用できません。 ステップ2 フォーカス / ズーム調整 フォーカス / ズームを微調整する： 「開始」をクリックすると、自動的にフォーカスを調整します。 フルレンジスキャン： 「開始」をクリックすると、自動的にフルレンジスキャンを実施し、最適な映像を表示します。 フォーカス： スライダーでフォーカスを調整します。 ズーム： スライダーでズームを調整します。 フォーカスとズームの調整は、「<<」、「<」または「>」、「>>」で調整します。 << < ● > >> ステップ3 絞りを有効にする 本製品では使用できません。

■ プライバシーマスク

映像の一部を覆いたいときに設定します。

プライバシーマスクを設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。

- 1 設定するカメラを選択します。
- 2 「プライバシーマスク」を ON に設定します。
- 3 マウスでプライバシーマスク領域をドラッグして設定します。
- 4 プライバシーマスクの名称を入力します。



■ レンズ

本製品では設定できません。

スマート VCA 検知について

VCA 検知をご使用になるときは以下の内容にご注意ください。

段差、坂、障害物の無いフラットな面を撮影してください。

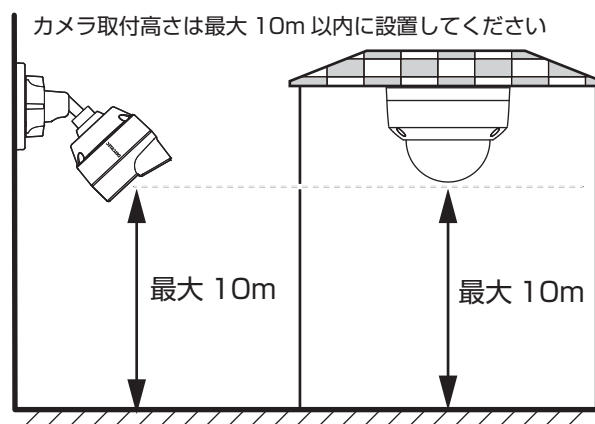
- ・カメラの設置高さは 10m までにしてください。
- ・人物は直立状態で、人物の体全体が映るようにカメラを設置してください。
- ・人物が座っている、しゃがんでいる、横たわっていると検知しない場合があります。
- ・対象物を正面から撮影したときは、人と自転車、バイクを誤認する場合があります。
- ・対象物が遠く、小さく映っていると検知しない場合があります。
- ・対象物が長時間静止している場合、背景と一体化（人物ボックス / 車両ボックスが表示されなくなる）することによって、検知しなくなることがあります。
- ・移動する人物の頭や肩が隠れると検知できない場合があります。
- ・混雑した場所では検知できない場合があります。
- ・カウンターや机などに体が隠れて人物の形状が変化すると、検知しない場合があります。
- ・長い車両は視野内に部分的にしか表示されずに検知しない場合があります。
- ・走っている人や速い車両を検知する場合は撮影時間を長くするために、視野を広くしてください。
- ・ガラスや反射面に映った対象物は、誤検知やイベントの重複の可能性があります。
- ・ドア、揺れるカーテン、エスカレーターなどの動く物体が視野内にあると誤検知の可能性があります。
- ・大雨や霧などの悪天候では視認性が低下し正しく検知しない場合があります。
- ・過度の振動は正しく検知しない場合があります。
 - ・物体と背景のコントラストが低すぎる（暗い場所に黒い車など）と検知できない場合があります。

スマート VCA 利用時の注意

カメラの取り付け時の設定を行うときは、下記を参考にして設定を行ってください。

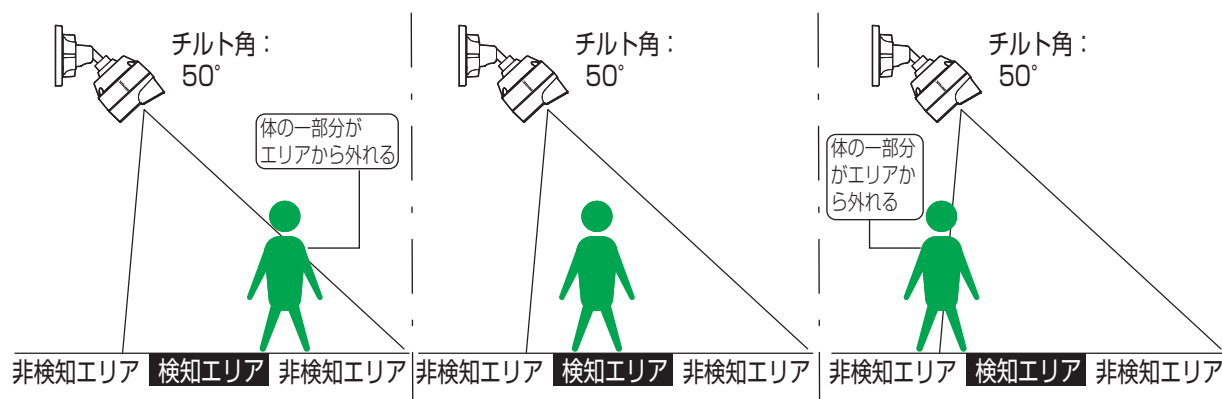
重要 カメラの取り付け設定を行うときは、必ずズームとフォーカスの設定を行ってください。VCA の設定を行ったあとで、ズームとフォーカスの設定を行うと検知エリアが変更されしまい、VCA の設定を初めからやり直す可能性があります。

●カメラ取付高さ



●人検知範囲とカメラのチルト角

- ・人の検知は画面内に立っている人（直立）の体全体が画面全体に入っていることを想定しています。
- ・段差や坂などのない平らな地面を想定しています。



イラストは参考イメージですので、実際の検知範囲とは異なります。

 スマート VCA をイベント録画やアラームのトリガーに設定する場合、録画スケジュール（➡ 30 ページ）やアラーム設定（➡ 78 ページ）も必要になります。

スマート VCA 検知

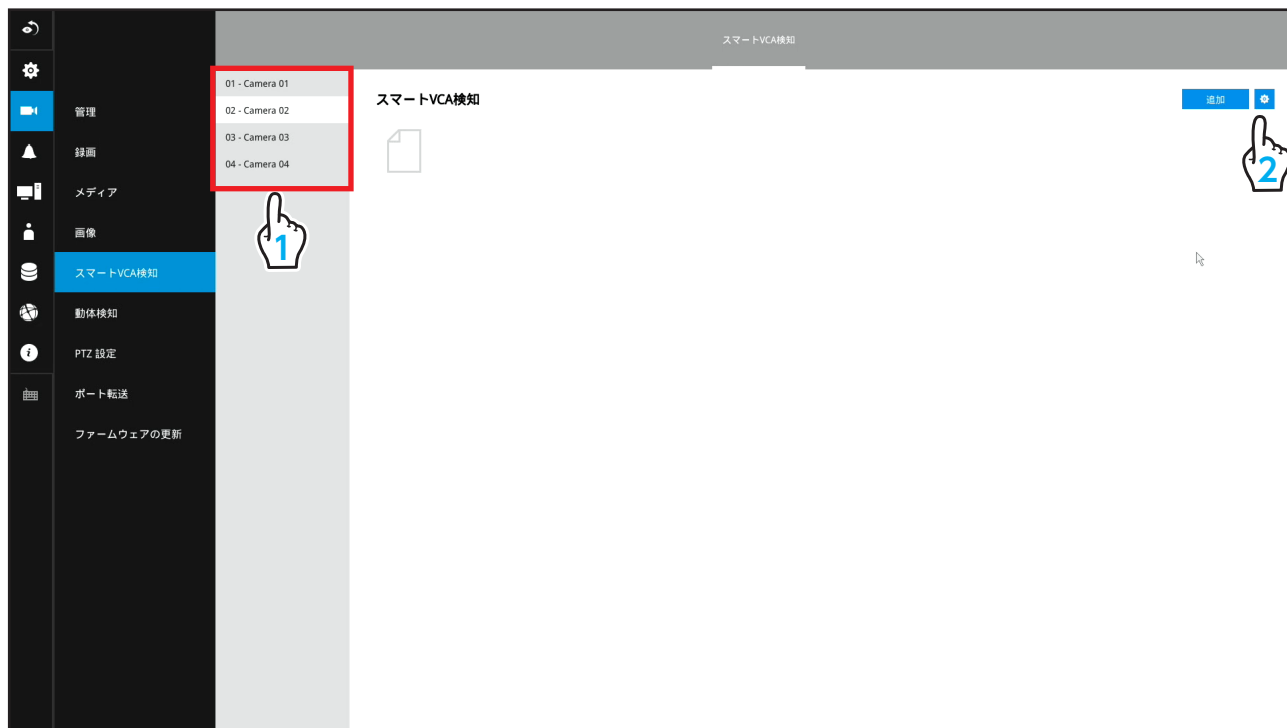
VCA 検知のルールを設定します。

VCA 検知のルールを設定する前に「検知構成」を設定する必要があります。

■ 検知構成

1 設定するカメラを選択する

2 [⚙️] をクリックする



3 カメラの高さ / 角度を設定する

「自動」(初期設定)：カメラの取り付け位置を自動的に検出したときは、カメラ検知に必要なカメラ高さの設定を行います。

📝 「自動」でを使用することを推奨しています。

「マニュアル」：「自動」で設定した後、微細な調整が必要なときにカメラの取り付け高さ、チルト角度、ロール角度を入力して調整します。

4 「モーションセル被覆率」を設定する

モーションセルが画面上の人物の姿とほぼ一致するように調整してください。

「スケジュール」

・「全日」(初期設定)：

1日を通して同じ感度設定ができます。

「対象範囲」(初期設定：70)のスライダーが右にあるほどモーションセルが多くなります。

 「全日」でを使用することを推奨しています。

・「タイマー制御」：

時間帯により異なる設定ができます。

制御時間の開始時間と終了時間を入力し、制御時間内 / 制御時間外の感度設定ができます。

「対象範囲」(制御時間内 / 制御時間外)のスライダーが右にあるほどモーションセルが多くなります。



スライダーが右にあるほど
範囲が広がります

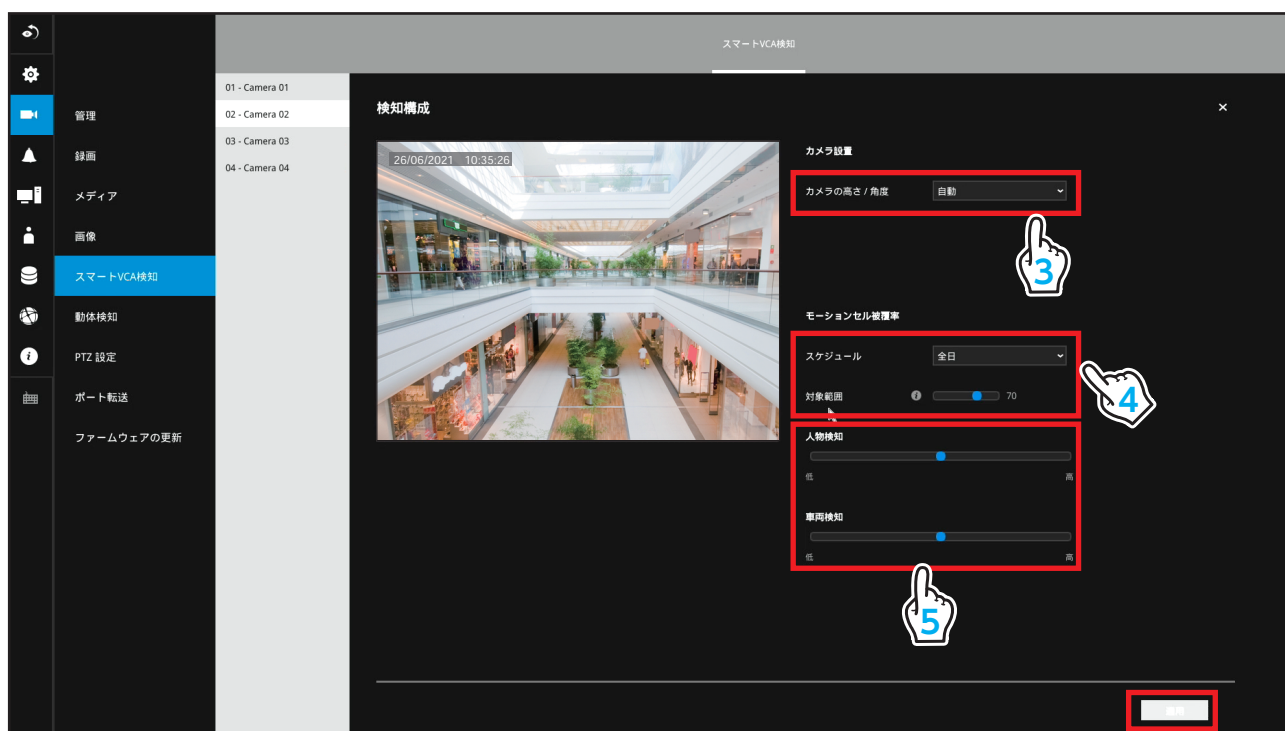
・「デイナイト制御」：

昼間モードと夜間モードで異なる設定ができます。

「対象範囲」(デイモード / ナイトモード)のスライダーが右にあるほどモーションセルが多くなります。

5 「人物検知」または「車両検知」を設定する

スライダーが右にあるほど感度が高くなります。



設定後、クリックする

■ ルールタイプを選択

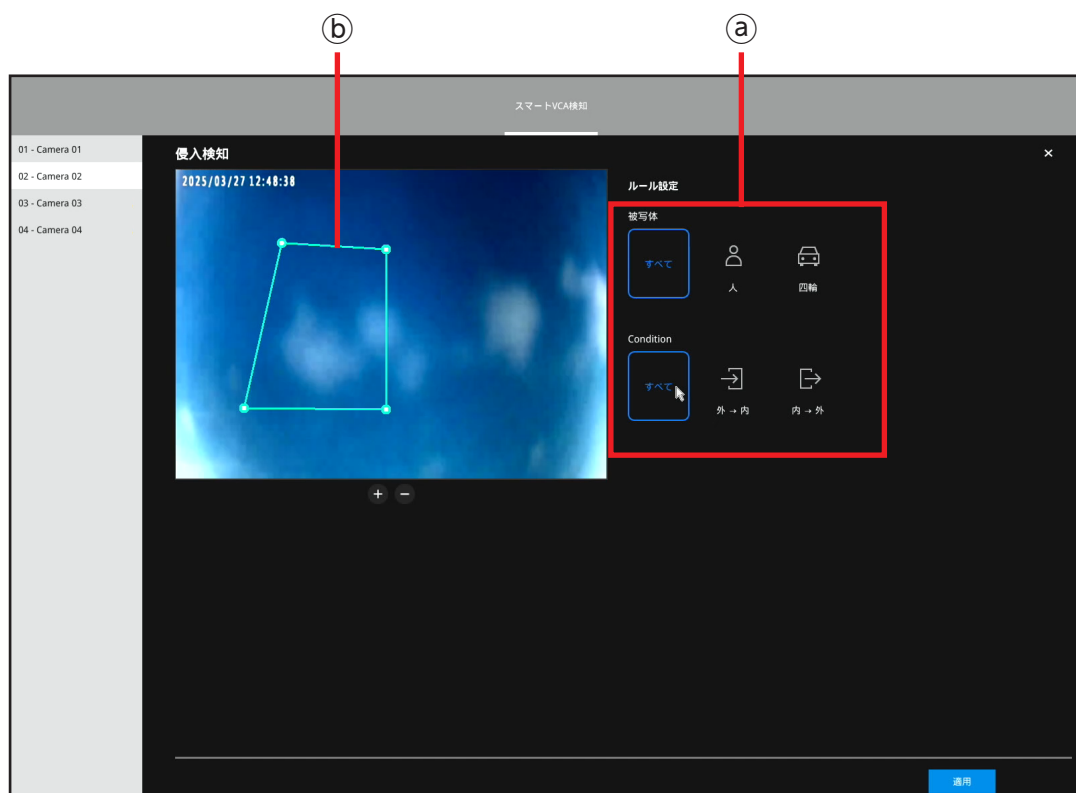
1 設定するルールタイプを選択する

項目	内容
侵入検知	設定したエリアに人や四輪が侵入したことを検知します。
ラインクロス検知	指定したラインを人や四輪が通過すると検知します。
徘徊検知	設定したエリアに人が設定した時間以上にとどまっていることを検知します。

2 「選択」をクリックする



<侵入検知>



設定後、クリックする

②ルールを設定する

「被写体」と「Condition」を設定します。

【被写体】

すべて	すべての対象物を検知します。
人	人のみ検知します。
四輪	自動車（四輪車）のみ検知します。

【Condition】

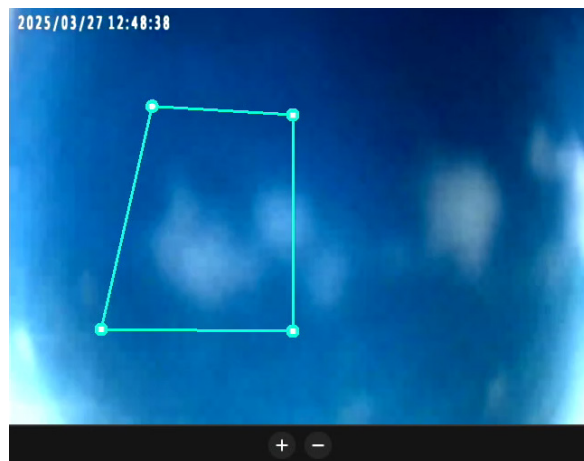
すべて	対象物が設定したエリアの内側から退出および外側から侵入したことを検知します。
外→内	対象物が設定したエリアの外側から侵入したことを検知します。
内→外	対象物が設定したエリアの内側から退出したことを検知します。

② 範囲を設定する

検知範囲のライン上をクリックすると、（アンカーポイント）が表示されます。

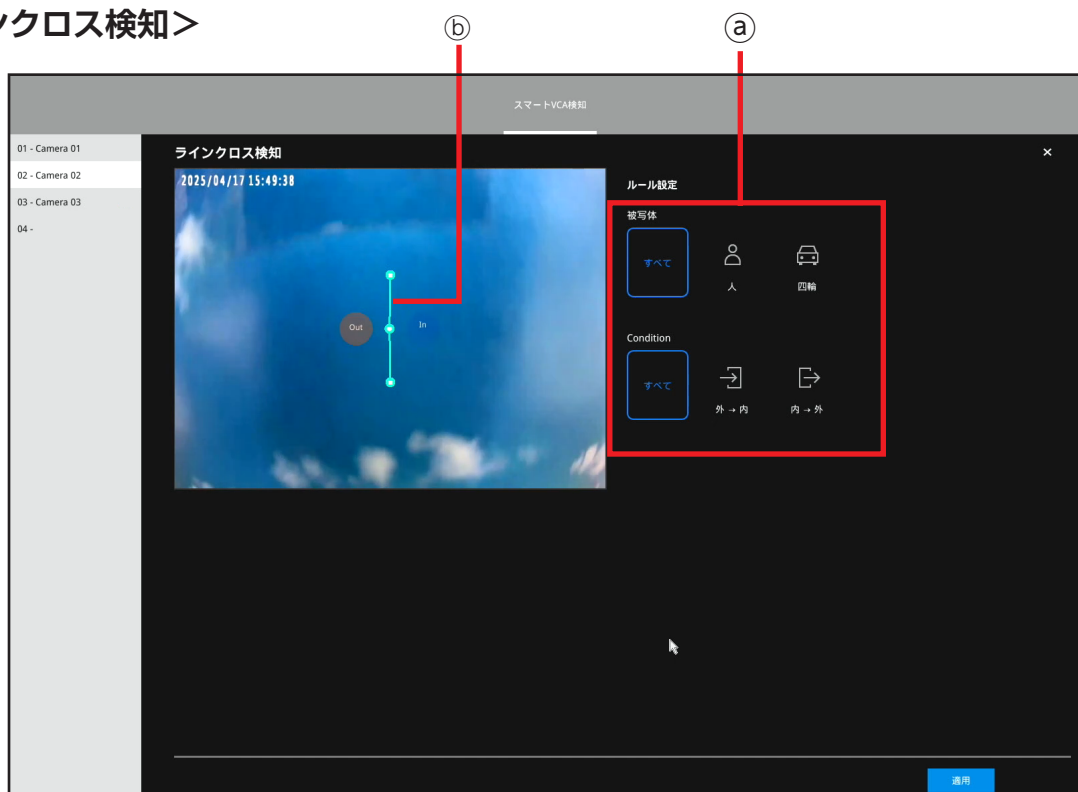
検知範囲の4隅にある （アンカーポイント）にカーソルを移動すると  に変わり、検知範囲のサイズまたは形状を変更できます。

検知範囲内にカーソルを移動すると  に変わります。
検知範囲を移動することができます。



- ・「+」をクリックして、検知範囲をクリックすると （アンカーポイント）が増えます。
もう一度「+」をクリックすると、終了します。
- ・「-」をクリックして、検知範囲をクリックすると （アンカーポイント）が減ります。
もう一度「-」をクリックすると、終了します。

<リンククロス検知>



③ ルールを設定する

「被写体」と「Condition」を設定します。

【被写体】

すべて	すべての対象物を検知します。
人	人のみ検知します。
四輪	自動車（四輪車）のみ検知します。

【Condition】

すべて	対象物が設定したラインを内側(IN) および外側(OUT) から通過したことを検知します。
外→内	対象物が設定したラインを外側(OUT) から通過したことを検知します。
内→外	対象物が設定したラインを内側(IN)から通過したことを検知します。

設定後、クリックする

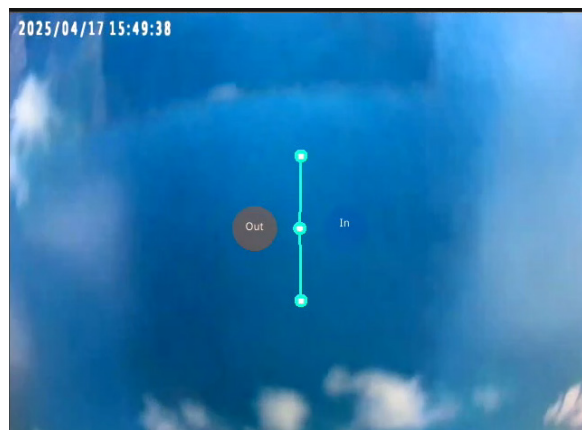
② 範囲を設定する

検知ライン上をクリックすると、（アンカーポイント）が表示されます。

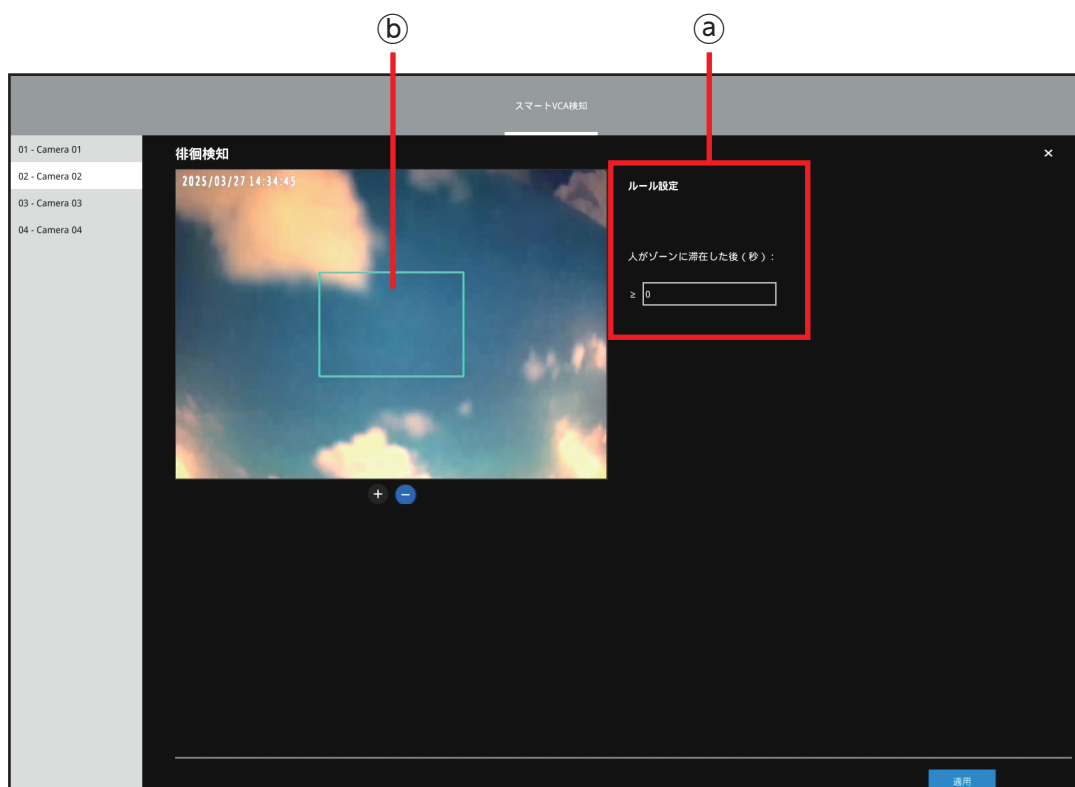
検知範囲の 4 隅にある （アンカーポイント）にカーソルを移動すると  に変わり、検知ラインのサイズまたは形状を変更できます。

検知ライン上にカーソルを移動すると  に変わります。

検知ラインを移動することができます。



< 徘徊検知 >

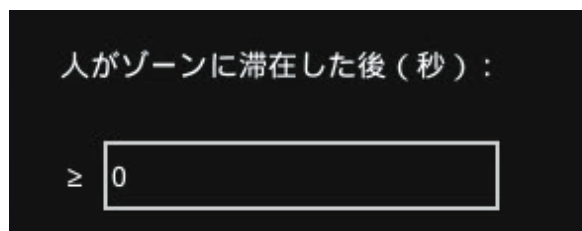


設定後、クリックする

③ ルールを設定する

人が侵入してから、検知を開始する時間を設定します。

例) 10 秒以下の場合、「10」を入力します。



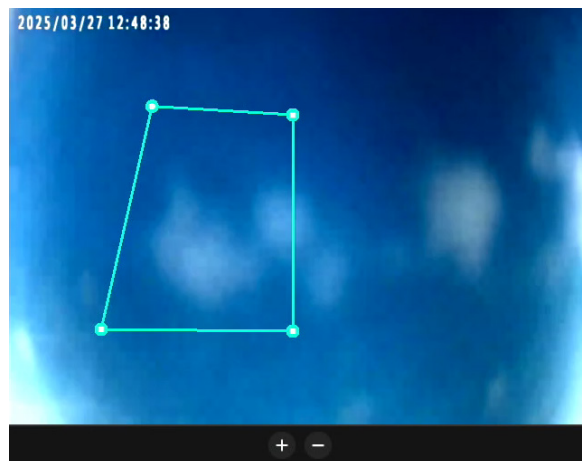
② 範囲を設定する

検知範囲のライン上をクリックすると、（アンカーポイント）が表示されます。

検知範囲の4隅にある （アンカーポイント）にカーソルを移動すると  に変わり、検知範囲のサイズまたは形状を変更できます。

検知範囲内にカーソルを移動すると  に変わります。

検知範囲を移動することができます。



「+」をクリックして、検知範囲をクリックすると （アンカーポイント）が増えます。

もう一度「+」をクリックすると、終了します。

「-」をクリックして、検知範囲をクリックすると （アンカーポイント）が減ります。

もう一度「-」をクリックすると、終了します。

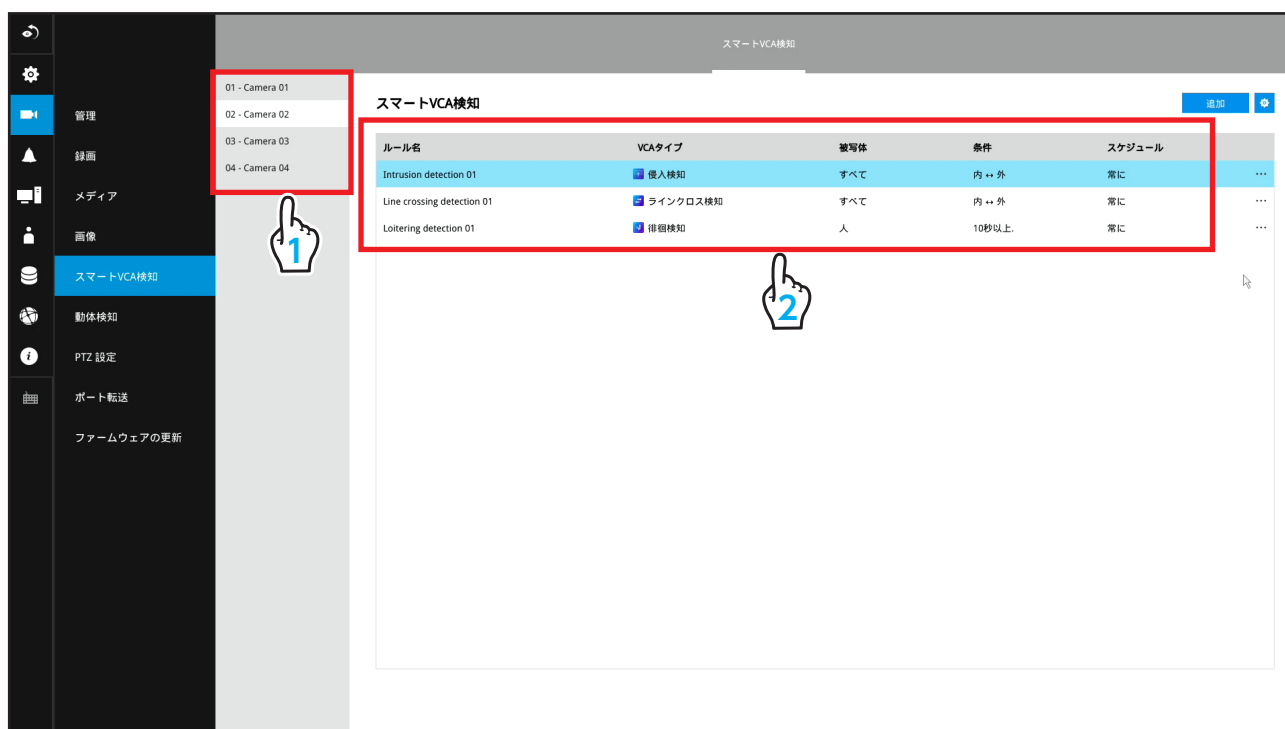
■ 設定内容の変更

<ルールの編集>

設定したルールを変更することができます。

1 設定するカメラを選択する

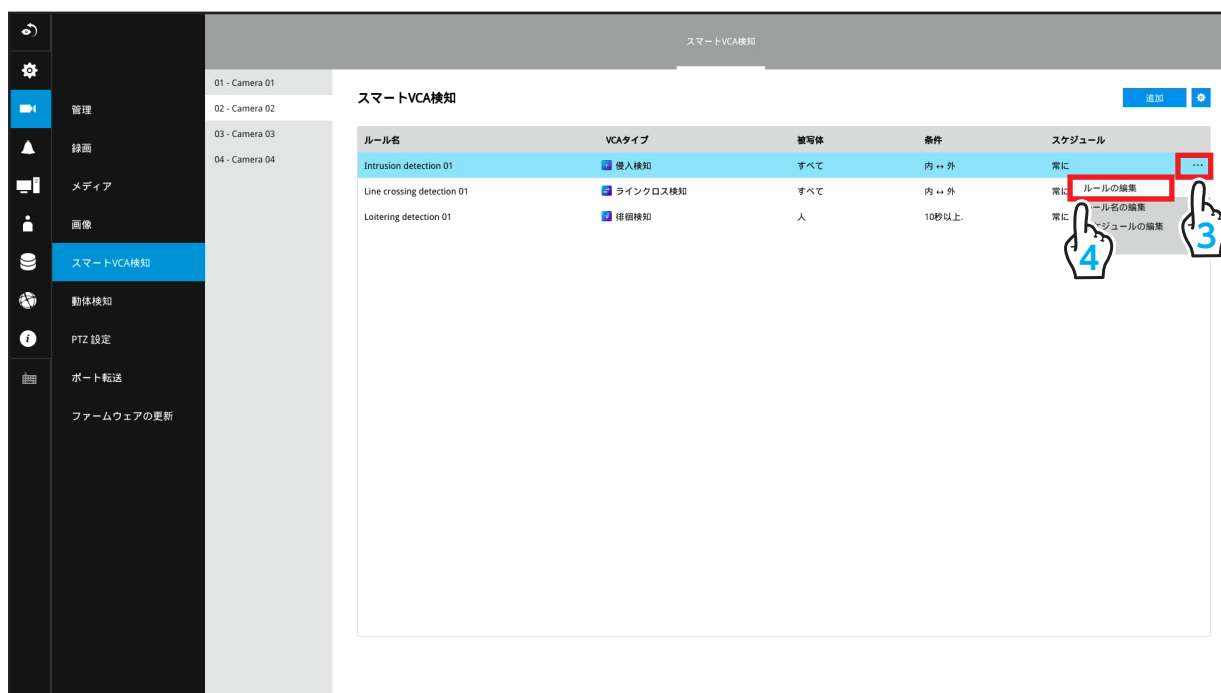
2 変更するルールを選択する



ルール名	VCAタイプ	被写体	条件	スケジュール
Intrusion detection 01	 侵入検知	すべて	内 ↔ 外	常に
Line crossing detection 01	 ラインクロス検知	すべて	内 ↔ 外	常に
Loitering detection 01	 徘徊検知	人	10秒以上	常に

3 ... をクリックする

4 「ルール名の編集」をクリックする



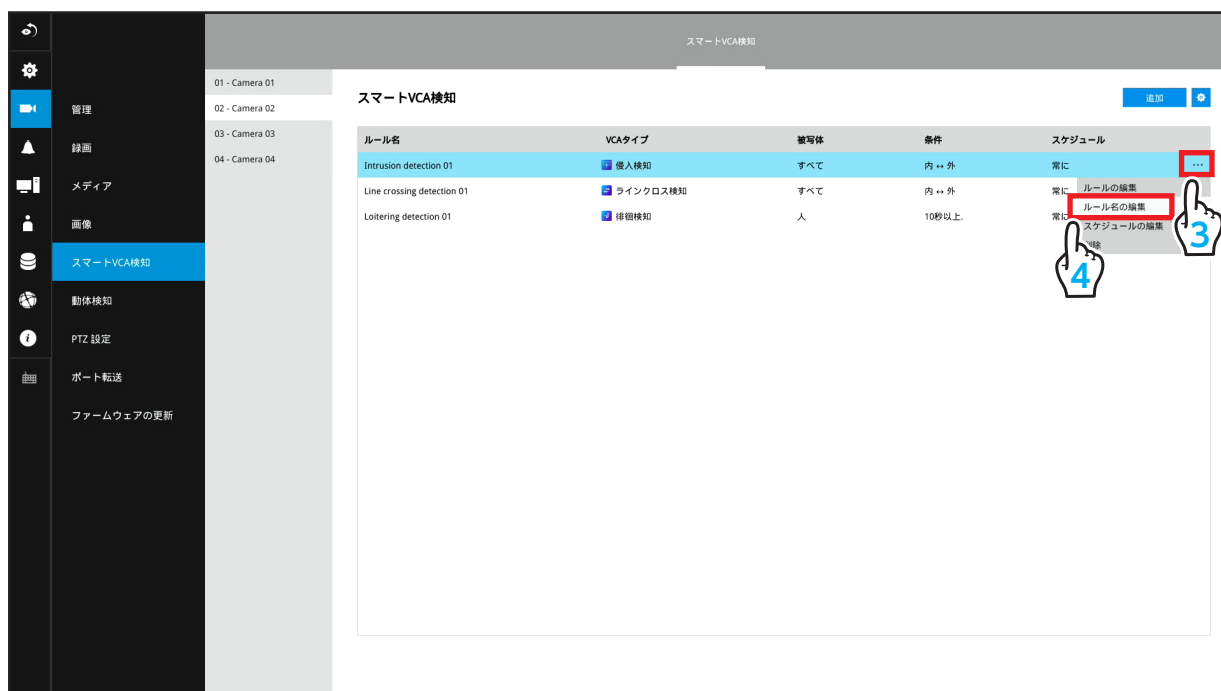
5 ルールを編集する (55 ページ～ 61 ページ)

<ルール名の編集>

手順 1 から 3 は、「ルール名の編集」(➡ 61 ページ) をご確認ください。

3 ... をクリックする

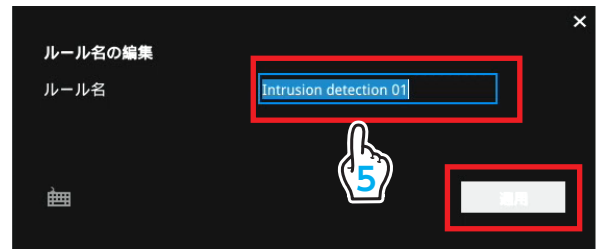
4 「ルール名の編集」をクリックする



5 ルール名を入力する

入力後、「適用」をクリックします。

 ルール名の文字数の上限は 64 文字です。

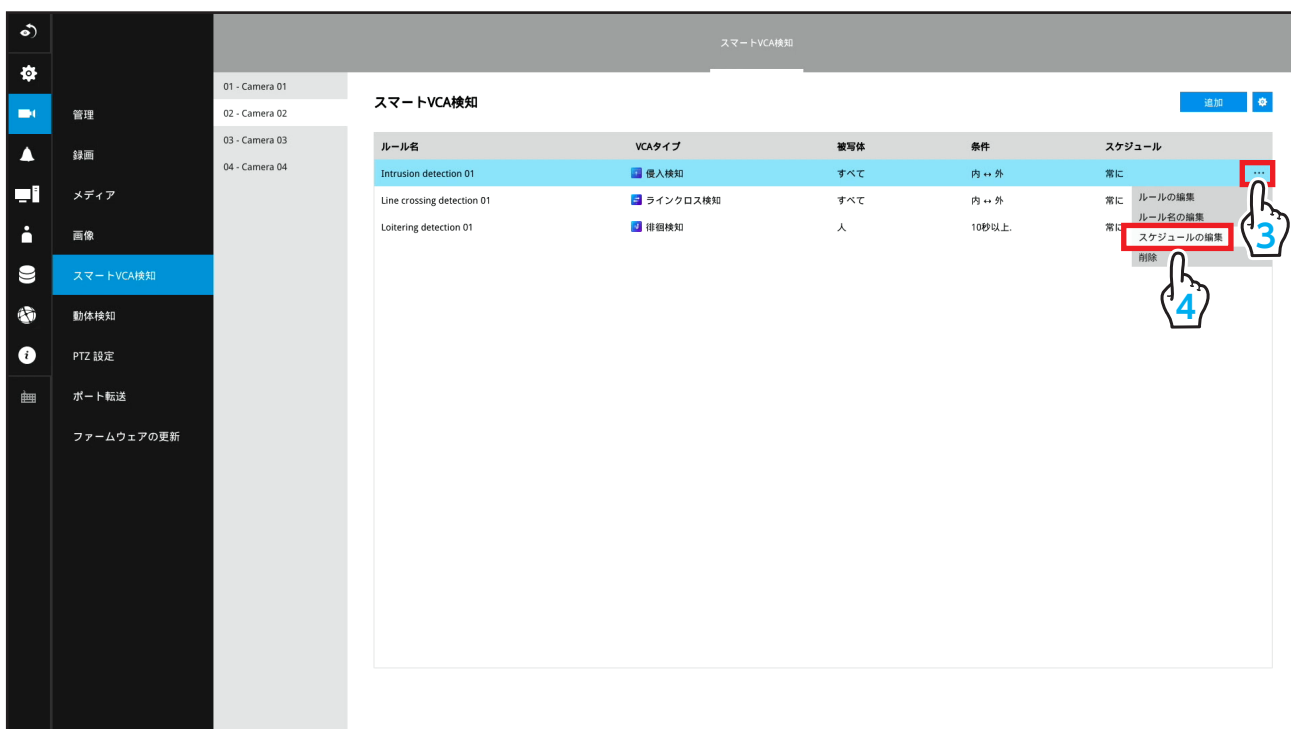


<スケジュールの編集>

手順 1 から 3 は、「ルール名の編集」(➡ 61 ページ) をご確認ください。

3 ... をクリックする

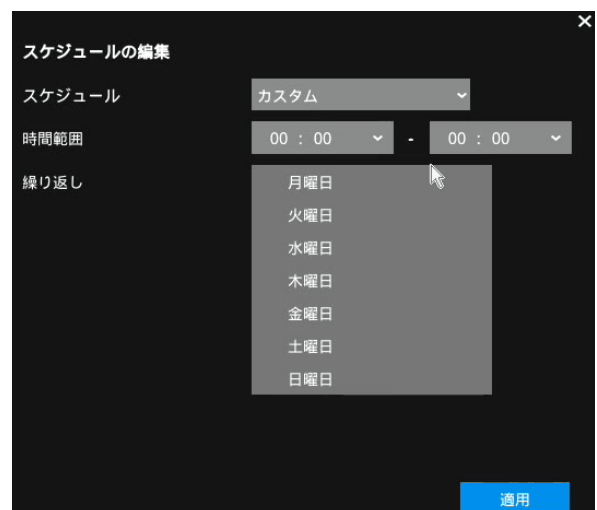
4 「スケジュールの編集」をクリックする



5 スケジュールを設定する

入力後、「適用」をクリックします。

項目	内容	
スケジュール	常に	検知設定は常時有効になります
	カスタム	検知設定は設定した時間と曜日で有効になります
時間範囲	プルダウンメニューから開始と終了時刻を入力します	
繰り返し	曜日を選択します	



<VCA ルールの削除>

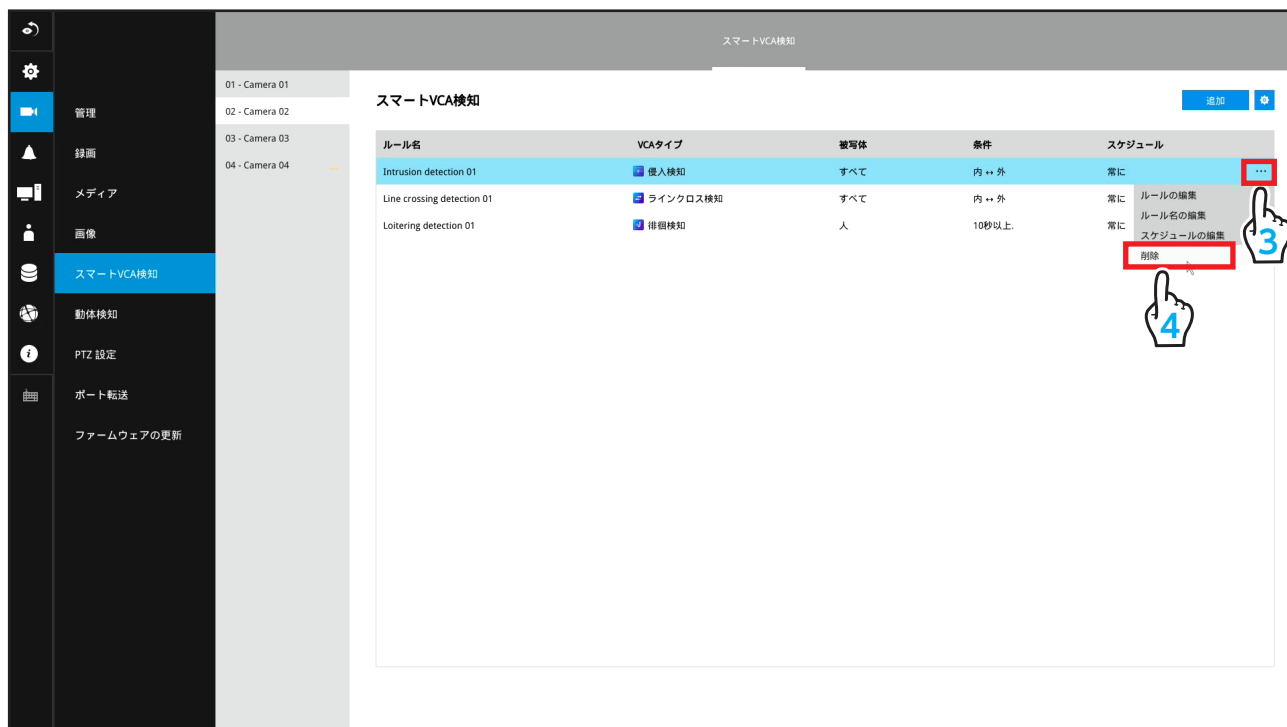
設定した VCA ルールを削除します。

手順 1 から 3 は、「ルールの編集」(➡ 61 ページ) をご確認ください。

3 ... をクリックする

4 「削除」をクリックする

確認画面で、「続行」をクリックします。



動体検知

動体検知の設定を行います。
初期設定では動体検知は無効になっています。



動体検知をイベント録画やアラームのトリガーに設定する場合、録画スケジュール（➡ 30 ページ）やアラーム設定（➡ 78 ページ）も必要になります。

1 設定するカメラを選択する

2 検知範囲を作成する

映像をクリックして、四角形を描き検知範囲を作成します。
検知範囲の設定方法や追加するときは、下記の「検知範囲」の設定をご確認ください。

3 「動体検知」にチェック（有効）を入れる

4 トリガーになるサイズのしきい値を変更する

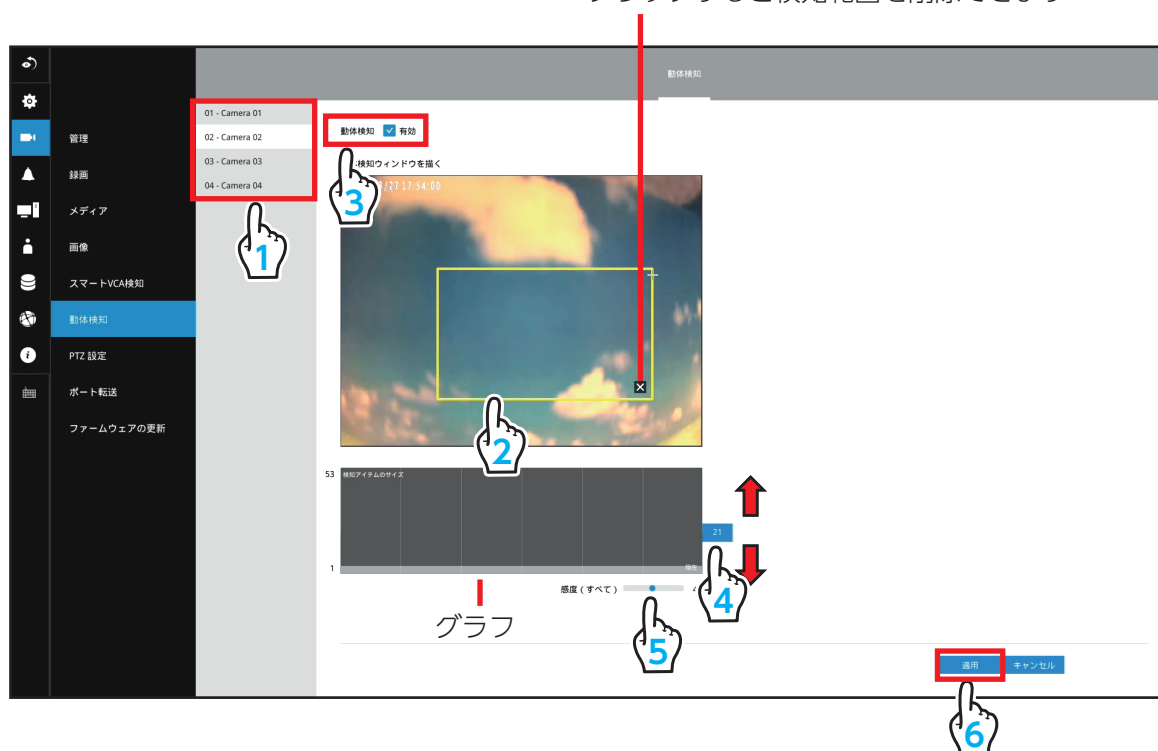
対象物のサイズがトリガーになるサイズのしきい値を超えたときにグラフが表示されます。

5 感度を設定する

スライダーが右にあるほど感度が高くなります。

6 設定後、「適用」をクリックする

クリックすると検知範囲を削除できます



＜検知範囲の変更＞

検知範囲が一度登録されると、検知範囲の移動、サイズや形を変更することはできません。
サイズや形を変更するときは、検知範囲を新しく追加してください。

＜検知範囲の追加方法＞

検知範囲を追加するときは、マウスで映像の上から四角を描きます。

検知範囲の 4 隅にある （アンカーポイント）をドラッグすることで、検知範囲のサイズまたは形状を変更することができます。

＜検知範囲の移動方法＞

検知範囲を移動するときは、マウスを検知範囲の中でドラッグします。

PTZ 設定

本製品では設定できません。

ポート転送

管理用 PC からネットワークカメラにアクセスができるようにするためには、ポート転送の設定が必要です。

設定後、クリックします。

番号	項目	内容
①	デバイス	ポート転送を行うカメラにチェック（有効）を入れます。
②	外部ポート	手動でポート番号を入力する場合は、クリックして入力します。



- 外部から PoE 接続したカメラへアクセスすることはできません。
同一ネットワークで接続された場合のみアクセスすることができます。

< Google chrome を使用する >

カメラまたは本製品と管理用 PC を同一ネットワークに接続します。

DHCP サーバーを経由して接続することをおすすめします。

※管理用 PC には、Google chrome をインストールする必要があります。

※同一ネットワーク上の無線アクセスポイントに管理用 PC が接続されている場合は無線 LAN 接続が可能です。

※カメラと管理用 PC を直接接続した場合は、リンクローカルアドレス（169.254.X.XXX）で自動的に接続されます。

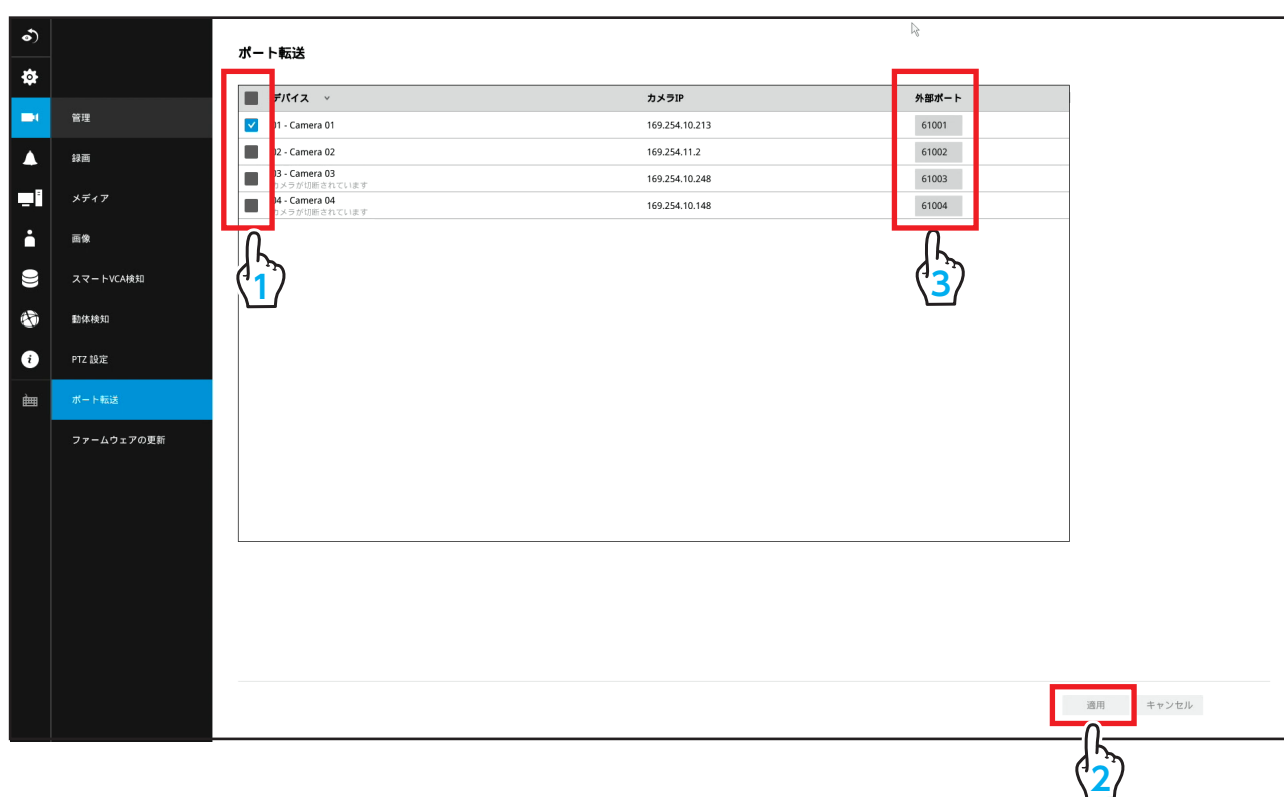
●カメラをネットワークレコーダーに登録している場合（IP 接続も含む）

1 「ポート転送」画面からカメラを選択する

チェックマーク（有効）をいれて、カメラを選択します。

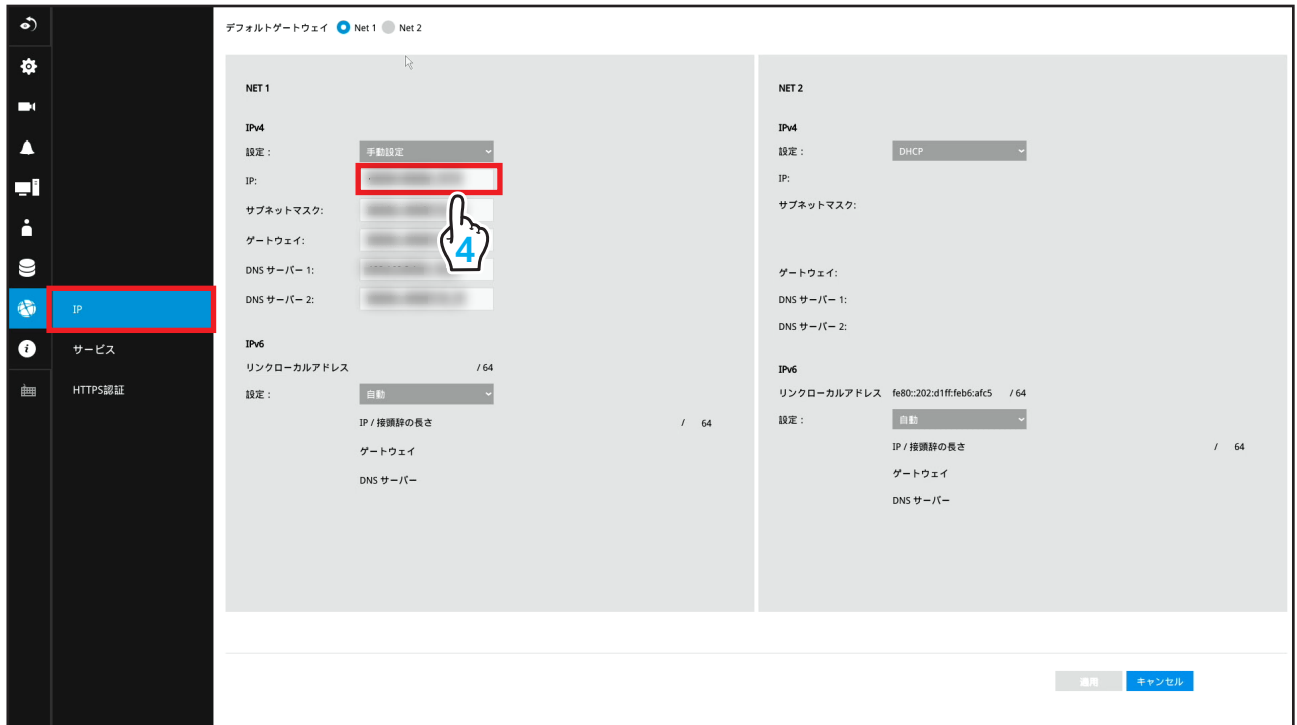
2 「適用」をクリックする

3 それぞれのカメラの外部ポート番号「61001」～「61004」（8ch モデル：61008）が表示されていること確認する



4 IP アドレスを確認する

「ネットワーク」 - 「IP」 をクリックし、「NET1」のIPアドレスを確認します。

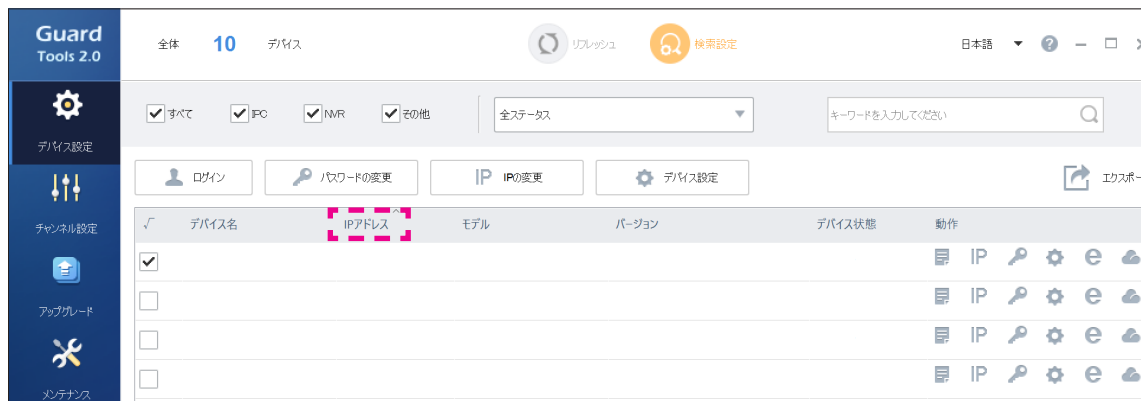


●カメラをネットワークレコーダーに登録していない場合（IP 接続のみ）

Guard Tools を使ってそれぞれのカメラの IP アドレスを確認する

Guard Tools は下記よりダウンロードをしてください。

<https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2691>

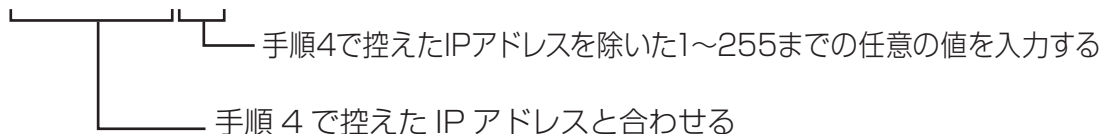


管理用 PC の設定

1 使用する PC の IP アドレスを変更する

管理用 PC の IP アドレスを前記の手順 1 の⑥で控えたネットワークに設定します。
(手順 4 で控えた IP アドレス以外の IP アドレスに設定してください)

例：169.254.x.xxx

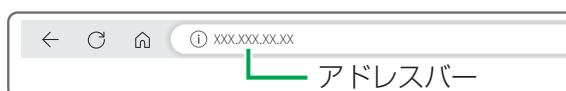


管理用 PC の IP アドレスの変更方法については、ご使用になる PC の取扱説明書を確認する、または下記の URL をご確認ください。

https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=2887

2 管理用 PC で Google chrome を開く

アドレスバーに手順 4 で控えた IP アドレスを入力します。



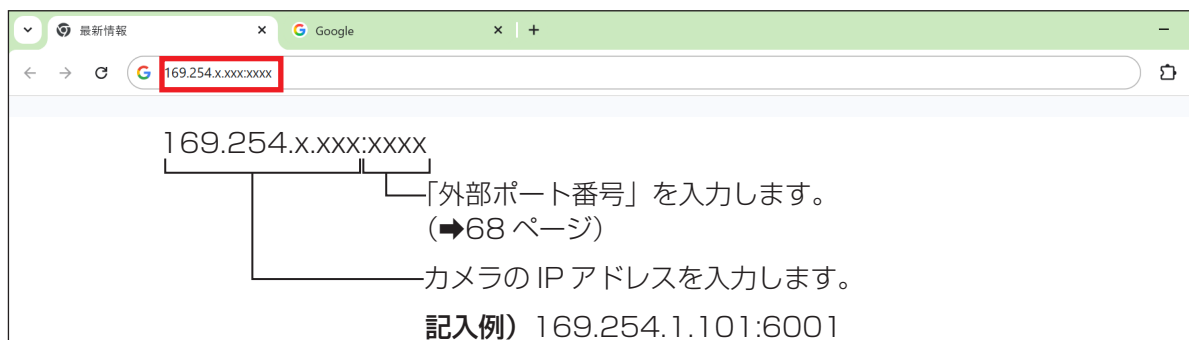
対応ブラウザ Google chrome

Google chrome の設定

1 Google Chrome を起動し、アドレスバーに IP アドレスを入力する

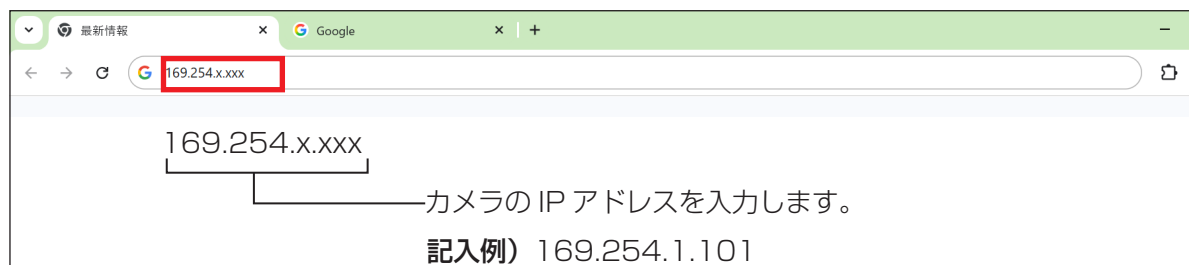
●カメラをネットワークレコーダーに登録している場合

アドレスバーに「169.254.x.xxx:xxxx」などのカメラの IP アドレスを入力します。



●カメラをネットワークレコーダーに登録していない場合 (IP 接続のみ)

アドレスバーに「169.254.x.xxx」などのカメラの IP アドレスを入力します。



2 「ログイン」をクリックする

ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名：root

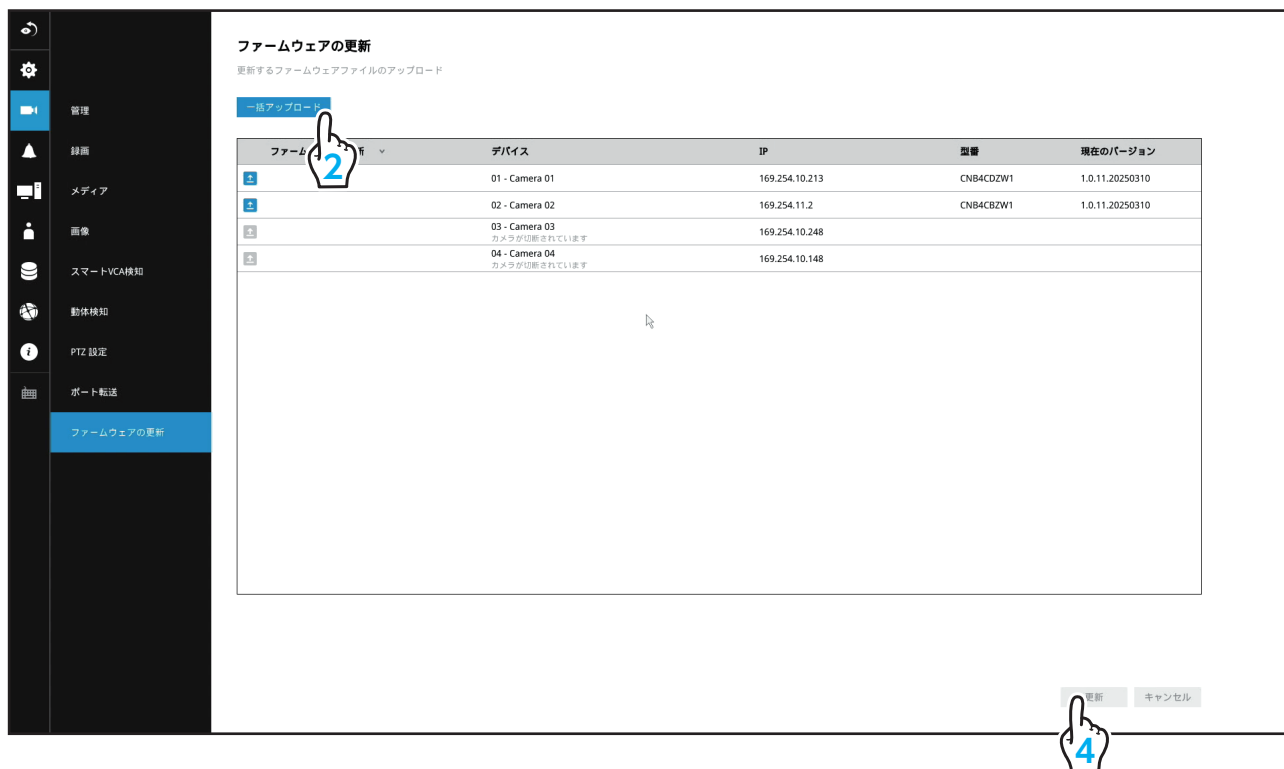
パスワード：dx_123456 (初期値)



ファームウェアの更新

DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定してカメラのファームウェアをアップデートします。

ファームウェアファイルが保存された USB メモリを本製品の USB ポートに接続します。



1 USB メモリを接続する

最新のファームウェアを保存している USB メモリを接続します。

2 ファイルをクリックしてアップロードする

↑ 個別でファイルを選択することができます。
フォルダをダブルクリックして、フォルダを開きます。

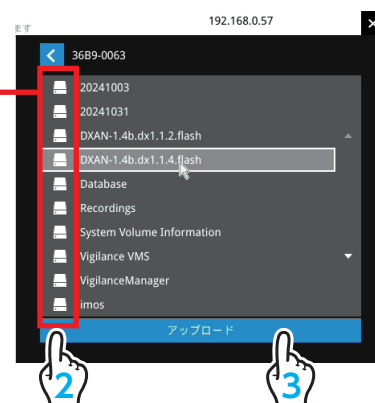
一括アップロード フォルダを選択することができます。

3 [アップロード] ボタンをクリックする

4 [更新] ボタンをクリックするとアップデートが開始されます

[ファームウェアの更新] 画面の [現在のバージョン] が更新されていることを確認します。

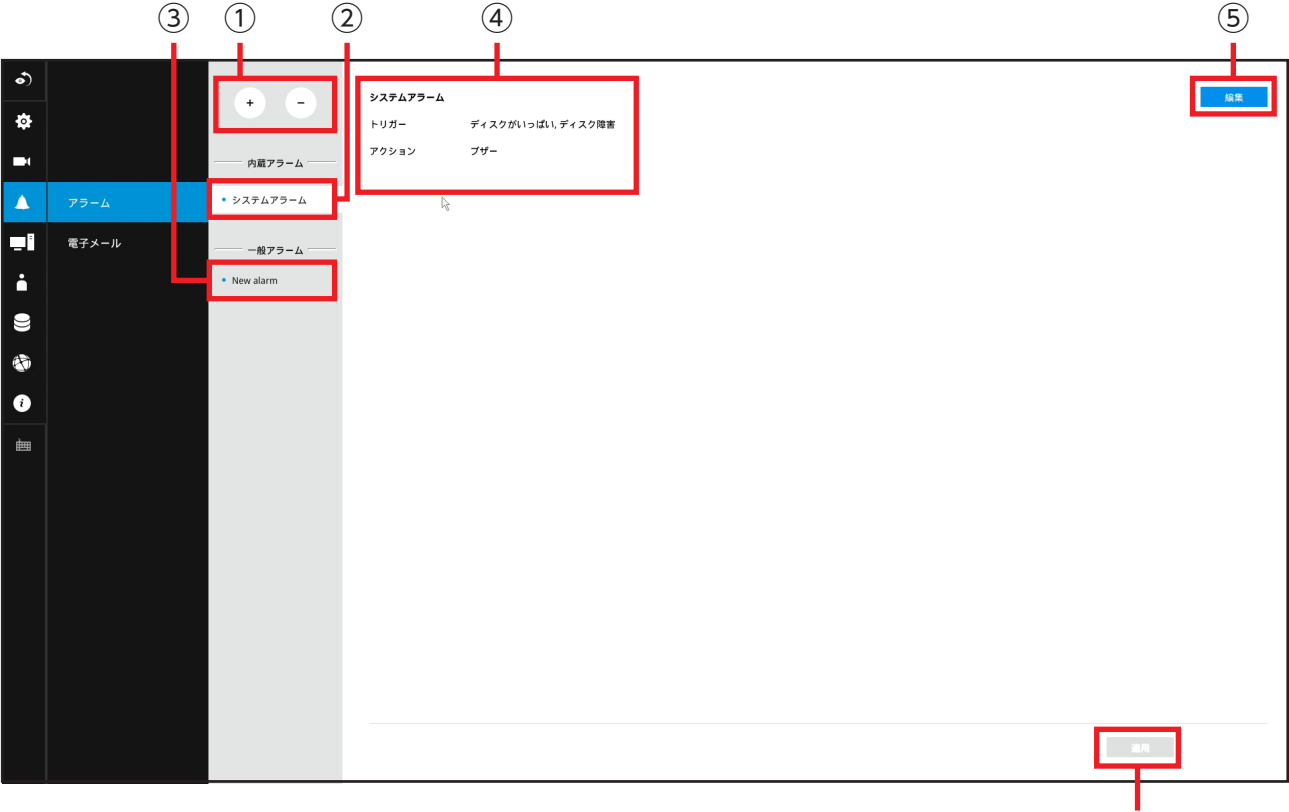
フォルダ



アラーム ()

アラーム

ハードディスクに異常があったときや、設定した検知方法でカメラが検知したときに、アラーム機能が動作します。



設定後、クリックします

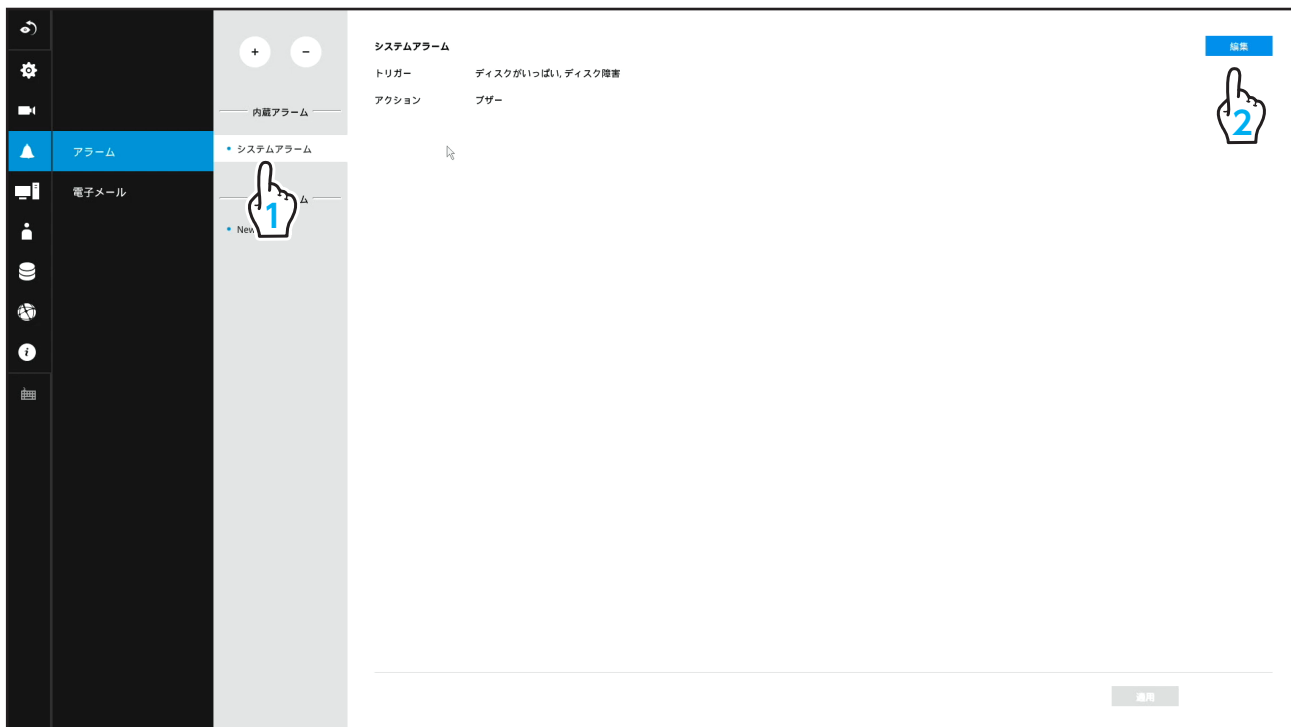
番号	項目	内容
①	アラーム追加 / 削除	一般アラームの追加・削除を行います。
②	内蔵アラーム	ハードディスク容量が一杯になったときや、ハードディスクに障害が起こったときにブザー音が出力されます。
③	一般アラーム	設定した検知内容でカメラが検知したときに、選択したアクションで出力されます。
④	アラーム内容	内蔵アラームまたは一般アラームで設定している内容を表示します。
⑤	編集	アラームの設定を変更できます。

アラームの設定方法

<システムアラームの設定>

1 「システムアラーム」をクリックする

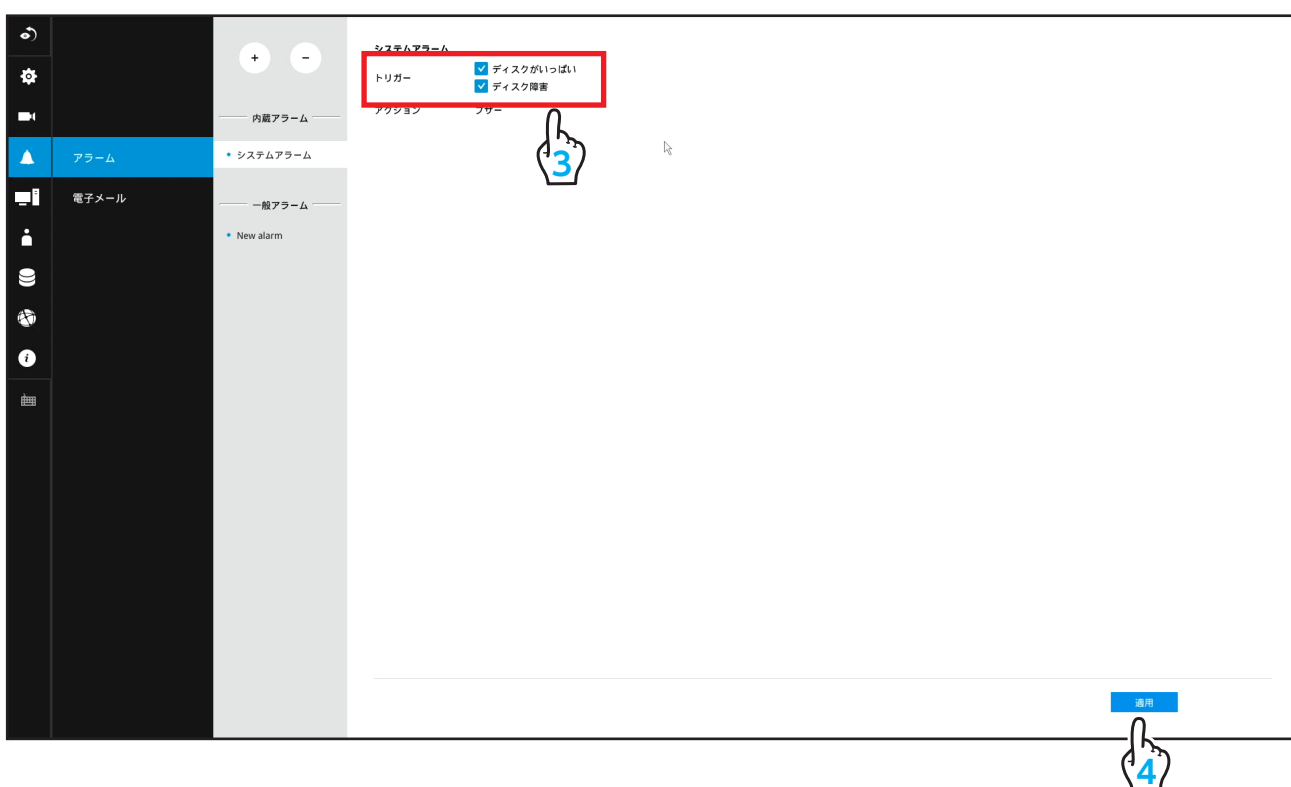
2 「編集」をクリックする



3 トリガーを選択する

選択したトリガーでアラームが出力されます。

4 設定後、「適用」をクリックする



<一般アラームの設定>

1. ステータス

●新規作成時

1 「+」をクリックする

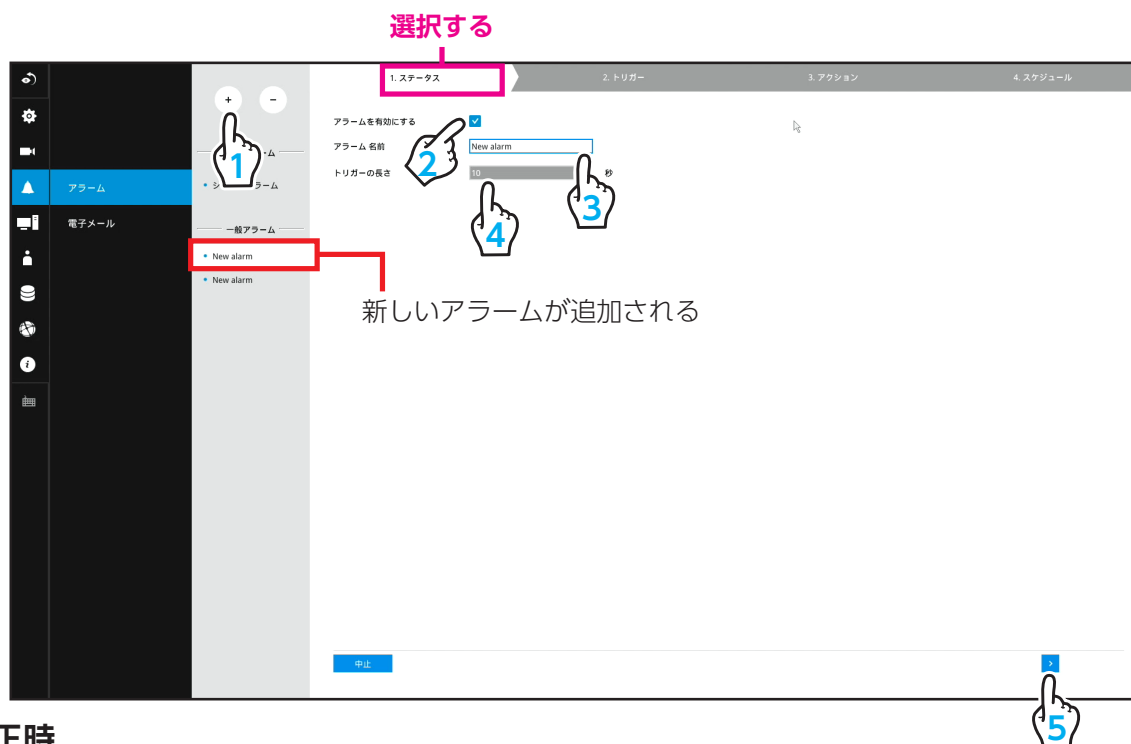
新しいアラームが追加されます (アラームの追加削除については、36 ページを参考にしてください)。

2 「アラームを有効にする」にチェックを入れる

3 アラーム名を入力する

4 次のアラームを検知するまでの間隔 (トリガーの長さ) を設定する

5 「>」をクリックして、次のステップに進む

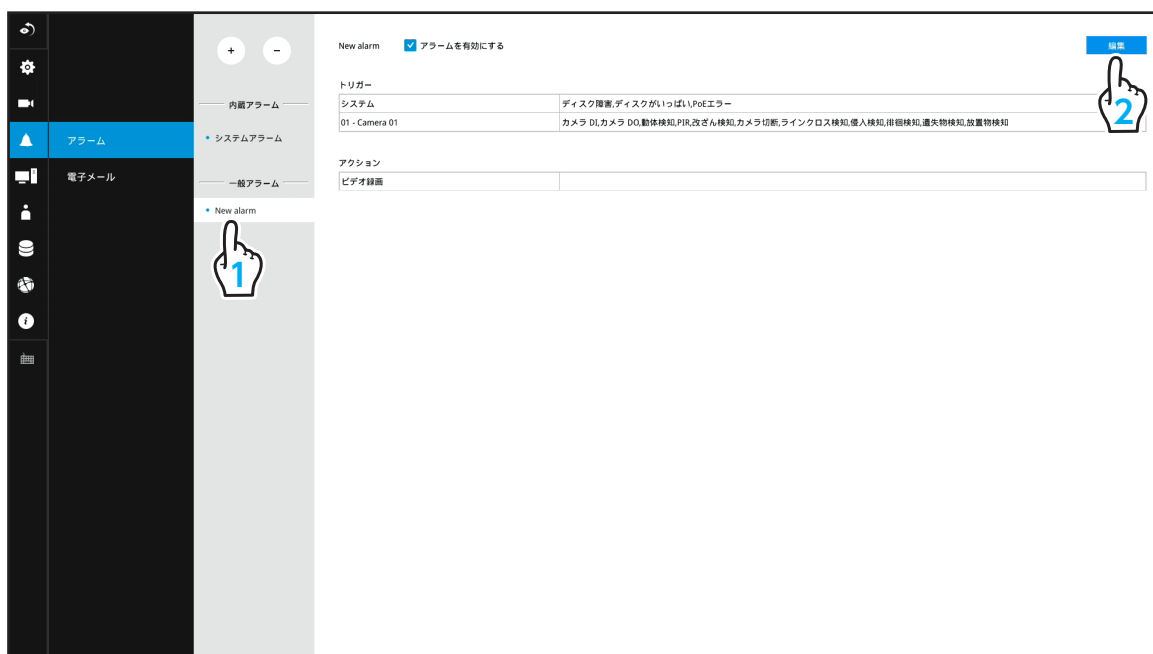


●修正時

手順2以降は「●新規作成時」を参照してください。

1 設定するアラームを選択する

2 「編集」をクリックする



2. トリガー

6 「システム」 およびカメラを選択する

「システム」 およびカメラ番号をクリックすると、検知内容を選択することができます。
チェックマーク（有効）を入れた「システム」 およびカメラのアラームが有効になります。
チェックマーク（有効）の入力できない検知内容は、本製品では選択できません。
動体検知、ラインクロス検知、侵入検知、徘徊検知以外は、カメラの管理画面で設定する必要があります。

7 「>」をクリックして、次のステップに進む

トリガーとなるイベントの検知機能の設定も必要になります。また、検知機能のスケジュールが設定されている場合、機能が無効となる時間帯はアラームも動作しません。（検知機能の設定方法については以下の検知方法の設定をご確認ください。また、カメラの設定ガイドも併せてご確認ください）

- ・ 動体検知：70 ページ
- ・ 侵入検知、ラインクロス検知、徘徊検知：60 ページ



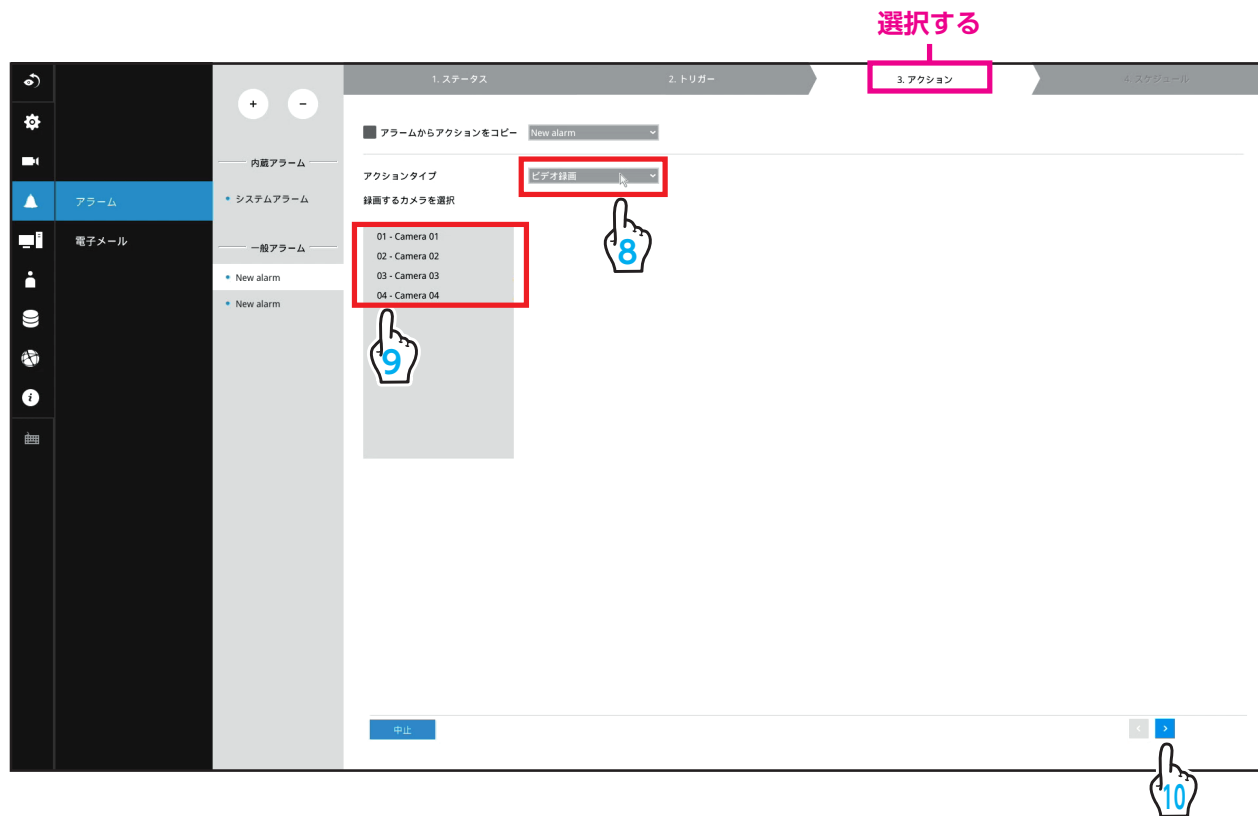
3. アクション

8 「アクションタイプ」を選択する

9 カメラを選択する

[2. トリガー] で選択したカメラを選択します（ビデオ録画 / メール送信のみ）。

10 「>」をクリックして、次のステップに進む



アクションタイプ	内容
ビデオ録画	カメラの録画スケジュールの設定が必要になります（30 ページ）。 連続録画またはトリガーとなる検知機能が有効なイベント録画の設定がされた時間帯のみ録画されます
メール送信	検知内容をメールで通知します。 送信者 送信者を設定 送信者の設定をします 受信者 すべての受信者 受信者の設定をします (受信メールの設定は、「電子メール (➡75 ページ)」で設定します。) タイトル New alarm アラームのタイトルを入力します テスト 設定内容をテストできます 「テスト」ボタンをクリックすると、メールの送信テストを行えます。受信者アドレステストで、すべての受信者の状態が有効となっていることをご確認ください。複数の受信者を設定したときに 1 つでも受信者の設定に失敗がある場合は、正常な受信者を含めすべての受信者宛メールが送信されません。 - 一部の Web メールサービスではご利用いただけない場合があります。
ブザー	検知したときにブザーが出力されます。 ブザー重大度 メジャー：1 秒間に 2 回出力されます。 標準：2 秒間に 3 回出力されます。 マイナー：2 秒間に 2 回出力されます。 繰り返し回数 繰り返し回数を設定します。
FTP	検知内容を FTP サーバーに送信します。
カメラ DO	この機能は、システム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。
パン・チルト・ズーム	本製品では使用できません。
HTTP	HTTP の設定を行います。
ビデオを全画面に送信	検知したときに、映像が全画面表示になります。 アクションタイプ ビデオを全画面に送信 全画面の長さ (秒) 10 表示時間を設定します カメラ Camera 01 対象カメラを選択します
クラウドアプリ通知	弊社ではサポートしていません。
VMS に送信	弊社ではサポートしていません。

4. スケジュールの設定

11 スケジュールの設定方法は、「■スケジュール」(⇒ 42 ページ) をご確認ください。

12 「終了」をクリックして、設定を終了する

選択する

1. ステータス 2. トリガー 3. アクション 4. スケジュール

アラームからスケジュールをコピー New alarm

アラームを適用

クリア

デフォルトのスケジュール

すべて	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
月曜日																								
火曜日																								
水曜日																								
木曜日																								
金曜日																								
土曜日																								
日曜日																								

連続録画

中止 < 終了

12

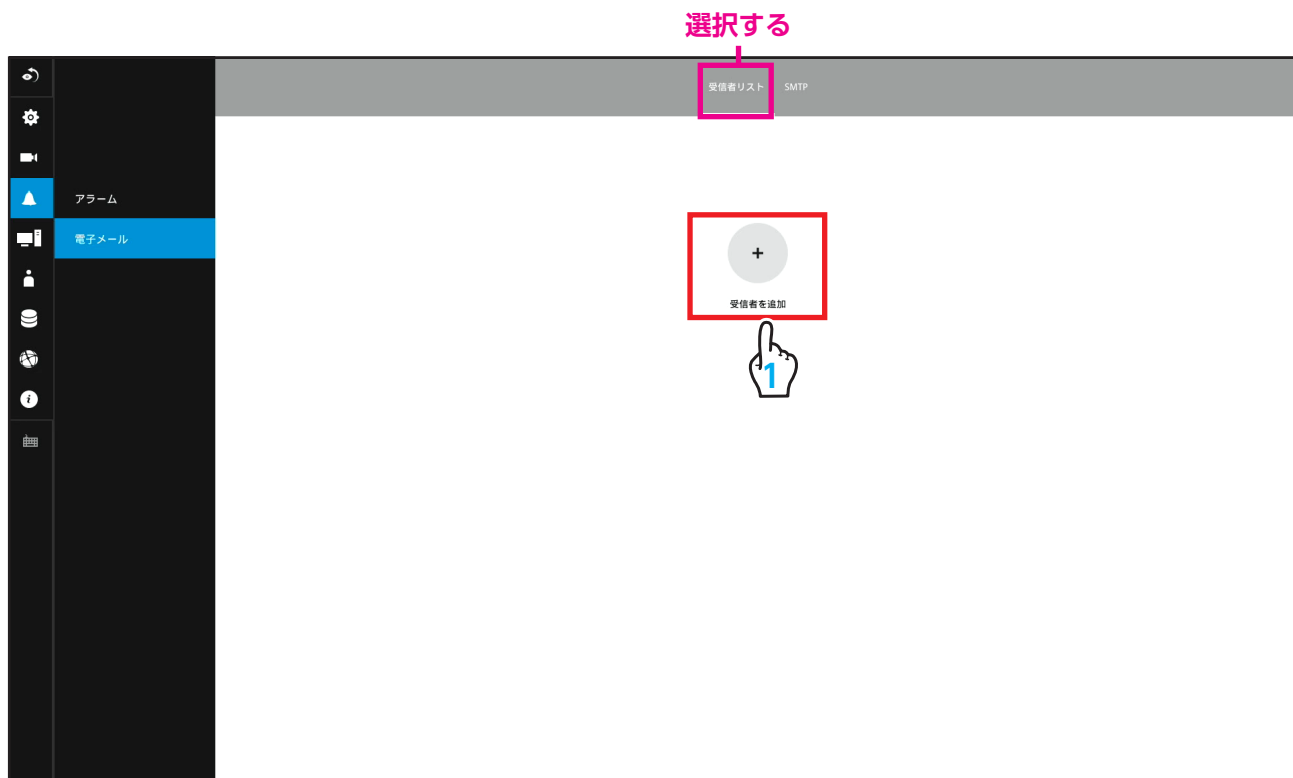
電子メール

アラーム発生時に受信する電子メールの設定をします。

(アラーム発生時に電子メールを送付する設定は、「アラームの設定方法 (➡ 69 ページ)」で行います。)

■ 受信者リスト

1 [+] ボタンをクリックする



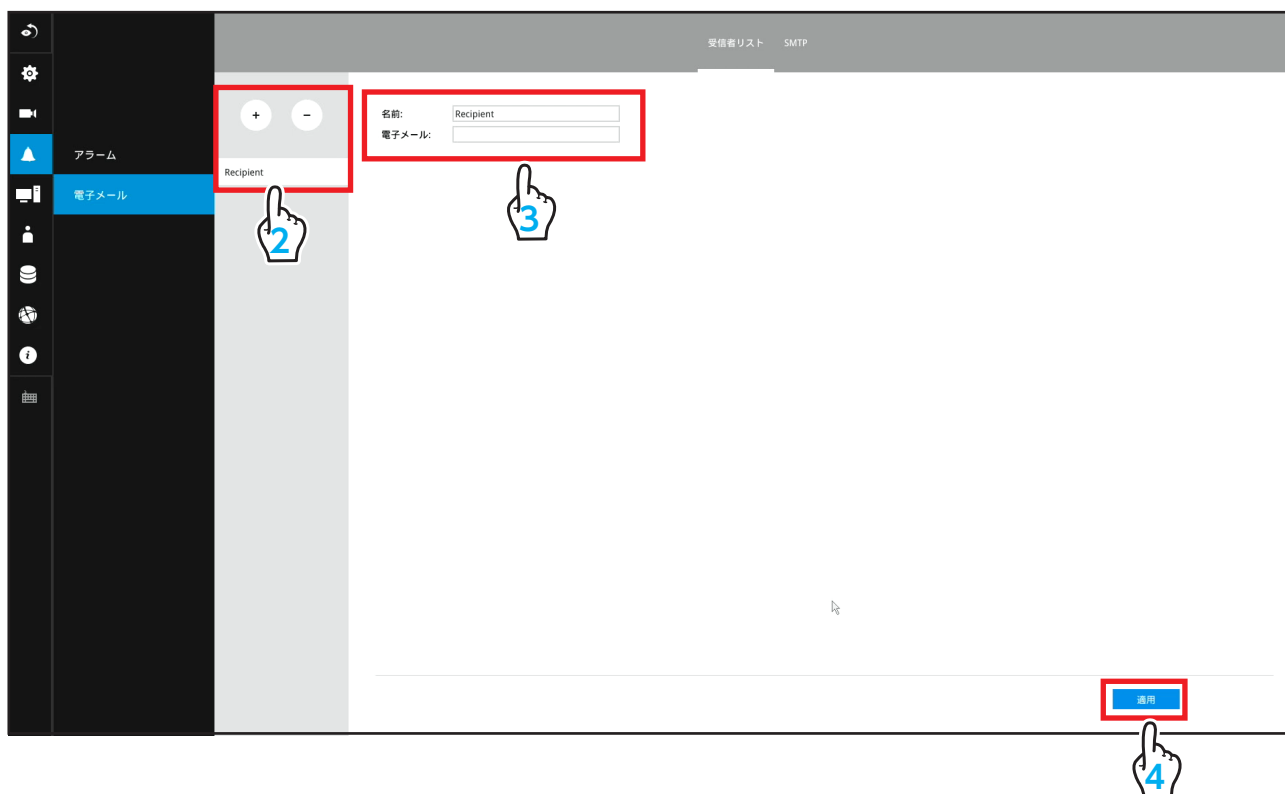
2 受信者を設定する

- ・「+」をクリックすると、新しい受信者を追加できます。
- ・「-」をクリックすると、受信者を削除できます。再度「-」をクリックすると、解除します。

3 メールアドレスを設定する

項目	内容
名前	受信者の名前を入力します。
電子メール	電子メールアドレスを入力します。

4 [適用] ボタンをクリックして設定を完了する



SMTP

SMTP 設定を行います。

※ SMTP 設定はプロバイダーなどから提供される情報を元に入力してください。

① ② 選択する

送信メールサーバー

サーバー

サーバーポート 25

☒ 安全な接続 ☒ TLS ☐ SSL

☒ 認証

ユーザー名

パスワード

送信者

電子メール

適用

番号	項目	内容
①	送信メールサーバー	サーバー
		サーバーポート
		安全な接続
		認証
②	送信者	SMTP サーバー情報を入力します。
		チェック（有効）を入れると、TLS/SSL を選択できます。
		チェック（有効）を入れると、認証用のユーザー名とパスワードを入力できます。
		メールの送信者となるアドレスを設定します。

一部の Web メールサービスではご利用いただけない場合があります。

<メールの設定方法>

1 「受信者リスト」を設定する

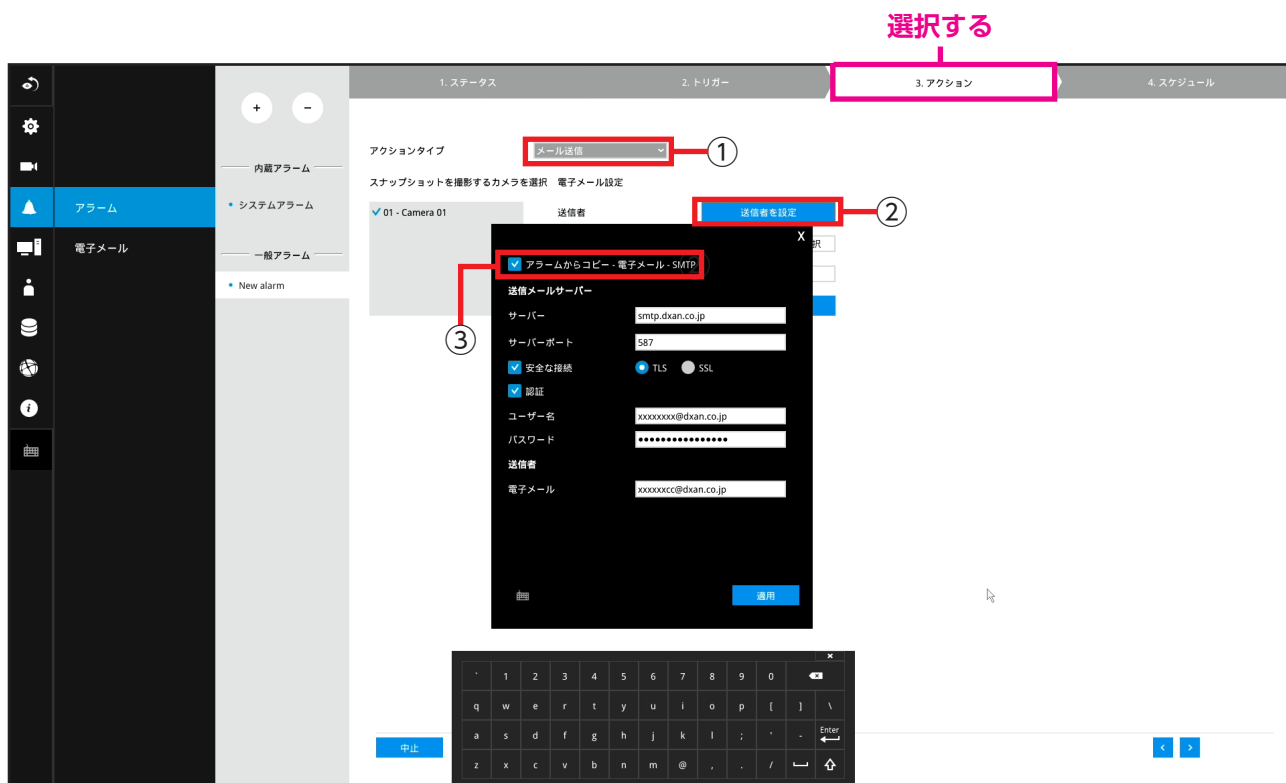
「受信者リスト」には 1 人以上のメールアドレスを登録します（84 ページ）。

2 「SMTP」を設定する

SMTP 設定はプロバイダーなどから提供される情報を元に入力してください（86 ページ）。

3 「アクション」から送信者を設定する

- ①「アクションタイプ」から「メール送信」を選択します。
 - ②「送信者を設定」をクリックします。
 - ③「アラームからコピー・電子メール・SMTP」にチェック（有効）を入れます。
- 手順2「「SMTP」を設定する」で設定した内容が入力されます。
- 手動で入力することも可能です。



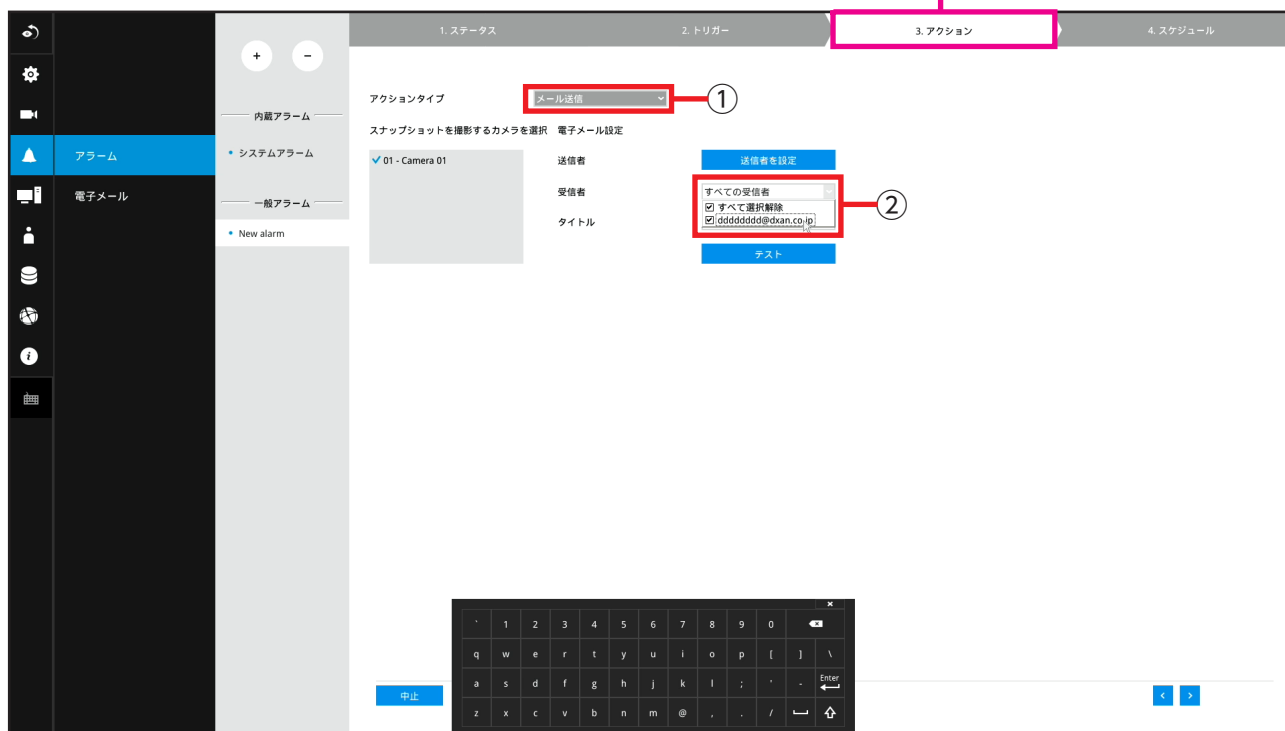
4 「アクション」から受信者を設定する

①「メール送信」を選択します。

②「受信者」を選択します。

手順1「受信者リスト」を設定する」で設定した受信者リストから、選択します（チェック（有効）を入れます）。

選択する

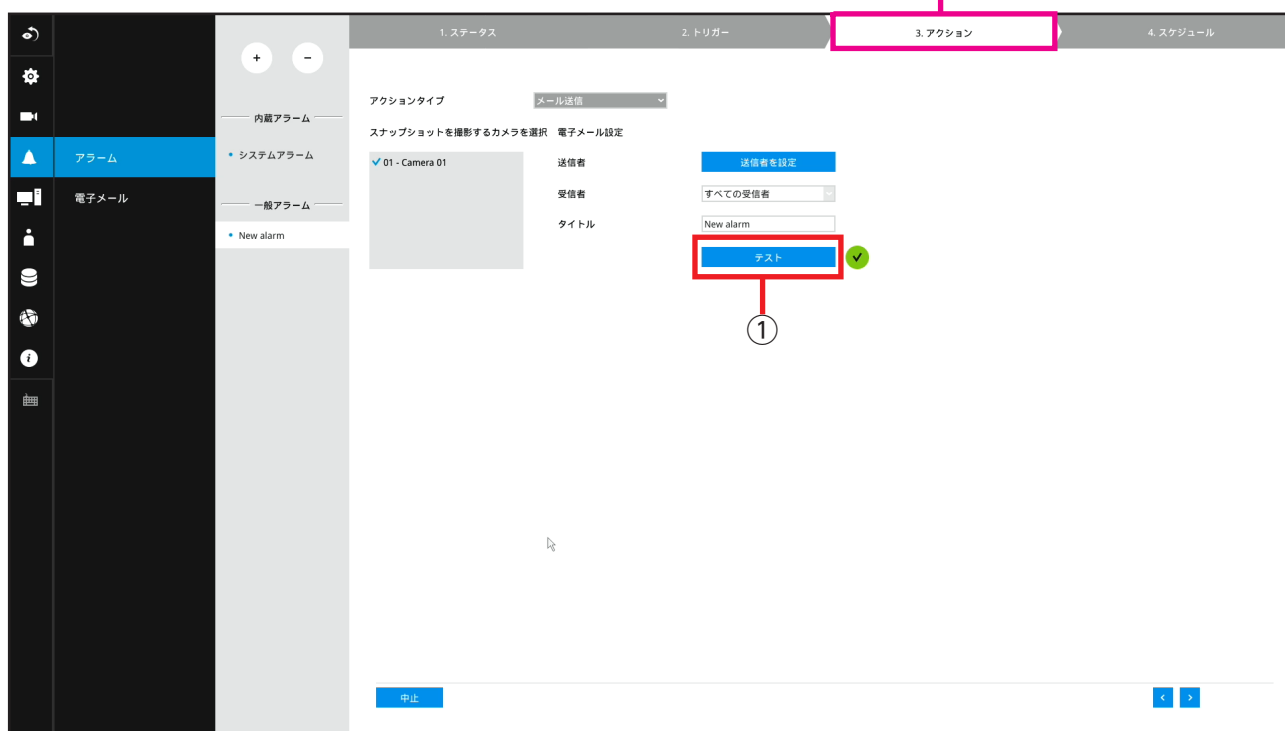


5 送信テストをする

①「テスト」をクリックします。

送信テストに成功すると✔が表示されます。
カメラを選択すると、スケジュールが選択できます。

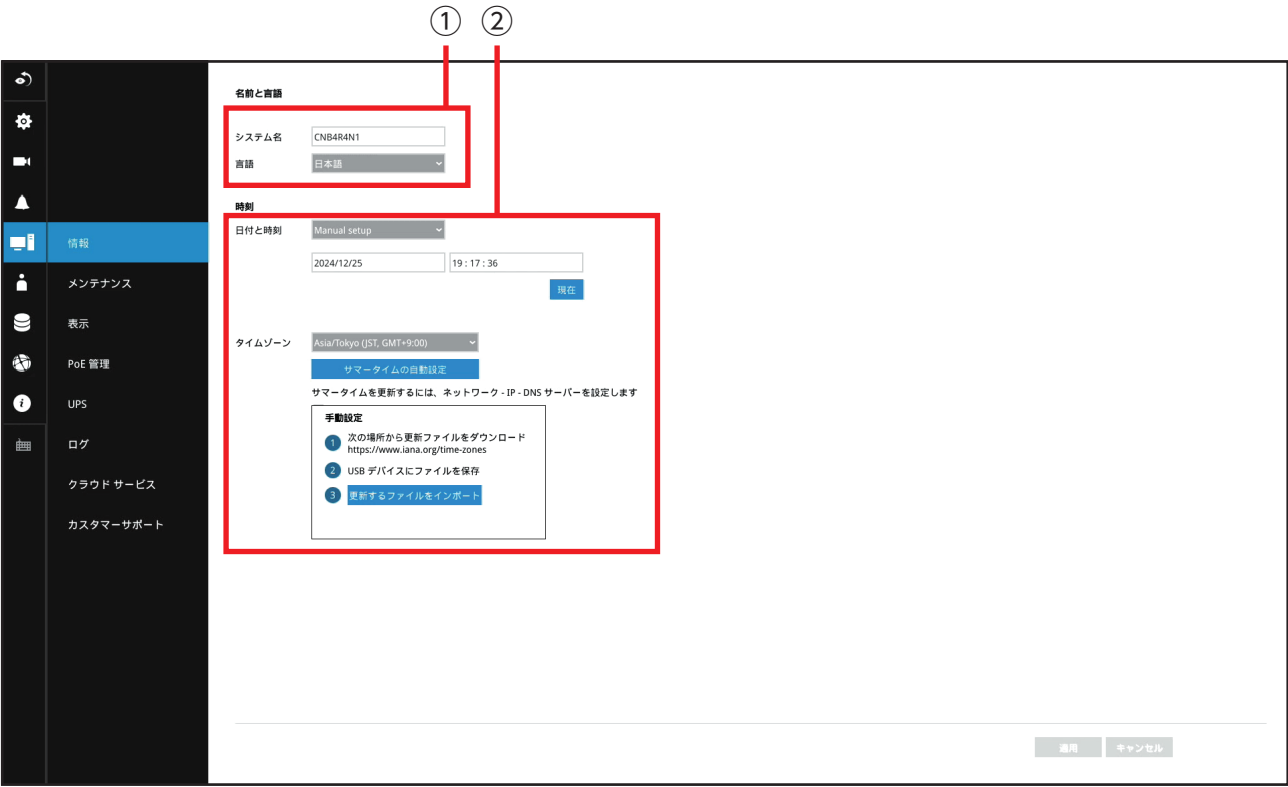
選択する



システム（）

情報

システムの基本的な設定をします。

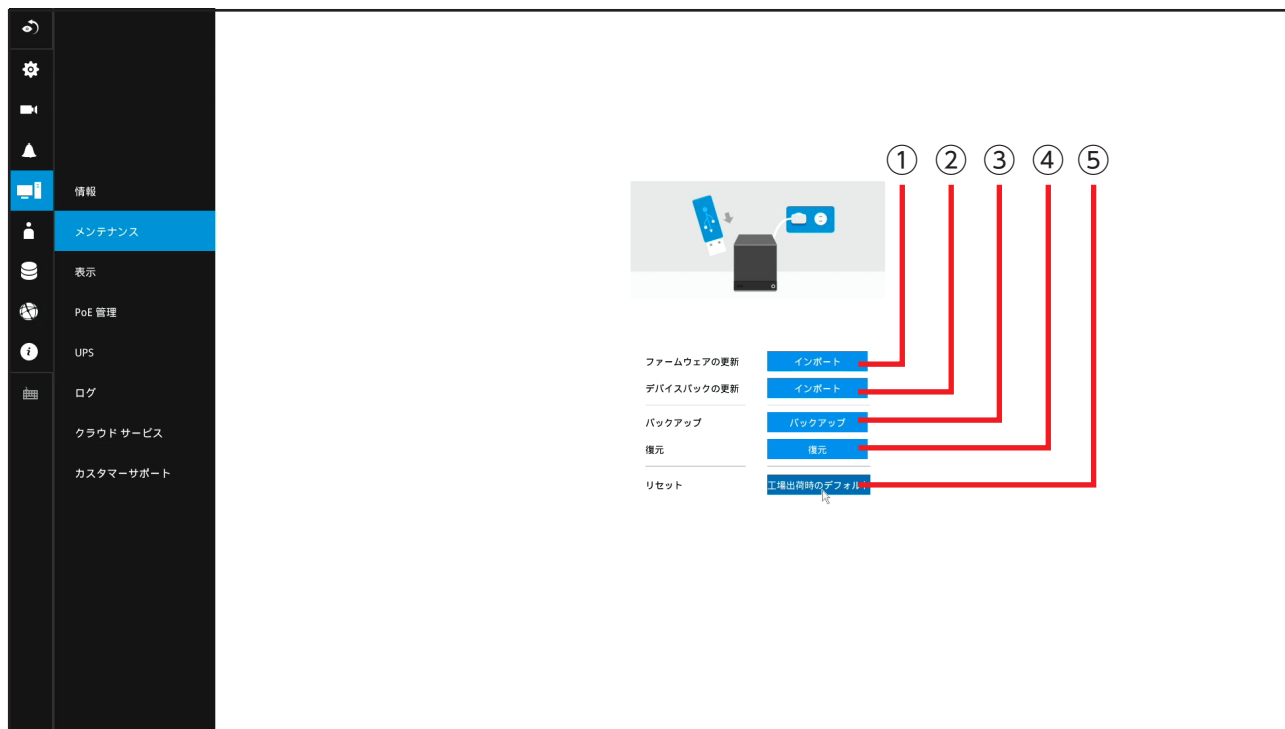


The screenshot shows the '情報' (Information) settings page. A sidebar on the left contains icons for various functions: eye, gear, monitor, bell, computer, server, PoE management, UPS, log, cloud service, and customer support. The main content area is divided into two sections: '名前と言語' (Name and Language) and '時刻' (Time). The '名前と言語' section includes a 'システム名' (System Name) field with the value 'CNB4R4N1' and a '言語' (Language) dropdown menu set to '日本語'. The '時刻' section includes a '日付と時刻' (Date and Time) dropdown set to 'Manual setup', a date field '2024/12/25', a time field '19:17:36', and a '現在' (Now) button. Below this is a 'タイムゾーン' (Time Zone) dropdown set to 'Asia/Tokyo (JST, GMT+9:00)' and a 'サマータイムの自動設定' (Automatic Summer Time Setting) button. A note states: 'サマータイムを更新するには、ネットワーク・IP・DNS サーバーを設定します' (To update Summer Time, set network, IP, and DNS server). A '手動設定' (Manual Setting) box contains three steps: 1. Download the update file from 'https://www.iana.org/time-zones', 2. Save the file to a USB device, and 3. Import the file. At the bottom right are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

番号	項目	内容			
①	名前と言語	システム名	本製品のデバイス名が表示されます。		
		言語	管理画面の表示言語を選択します。		
②	時刻	日付と時刻	「Auto」または「manual setup」を選択します。		
			NTP サーバー	NTP（ネットワークタイムプロトコル）を使用する場合に設定します。	
			カスタム NTP サーバー IP	手動で NTP IP を入力します。	
		タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。		
			サマータイムの自動設定	自動的にサマータイムの設定を取得します。	
			手動設定	手動で設定する場合に、更新する方法を選択します。	

メンテナンス

設定を工場出荷設定（デフォルト）に戻したり、システムのバックアップをすることができます。
USB メモリーを使用します。



番号	項目	内容
①	ファームウェアの更新	DX アンテナ Web サイトからあらかじめ USB メモリーにダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップグレードします。
②	デバイスパックの更新	本製品では使用できません。
③	バックアップ	設定情報を USB メモリーに保存することができます。
④	復元	USB メモリーに保存した設定情報などを本製品に復元することができます。
⑤	リセット	工場出荷時設定（デフォルト）に戻します。

重要

<リセットについて>

リセットで設定ファイルと HDD に録画されたデータをすべて消去してフォーマット（工場出荷時）の状態に戻します。HDD をフォーマットすると録画されたデータはすべて消去されます。

<リセット方法>

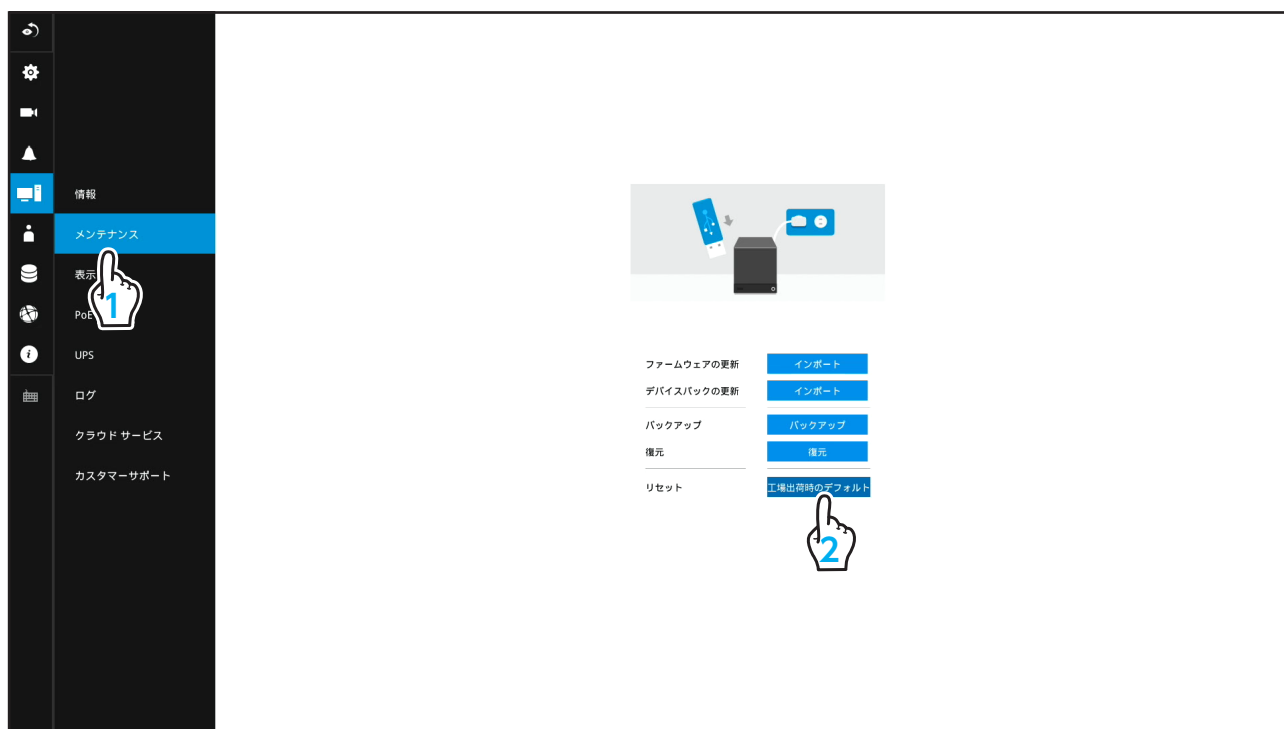
リセットすると設定ファイルが消去されて、工場出荷時の状態に戻り、HDD に録画されたデータが再生できなくなります。リセット後に HDD をフォーマットすると録画されたデータはすべて消去されます。



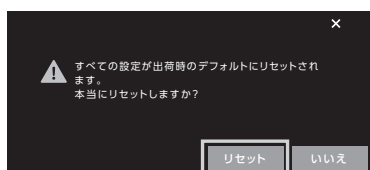
- リセット動作をする前に、「録画のエクスポート」を行い、USB デバイスに録画データをバックアップしてください (⇒ 28 ページ)。

1 「システム」から「メンテナンス」を選択する

2 「工場出荷時のデフォルト」をクリックする



3 確認画面で「リセット」をクリックする



4 メッセージが表示されたあと、本製品が再起動する

出荷時のデフォルトにリセットしています...
しばらく時間がかかり、このNVRが再起動されます。

5 本製品が起動し、「DELCA TEC」が表示される



- 初期設定を行ってください (⇒ 13 ページ)

表示

モニター管理画面の表示に関する設定を行います。



設定後、クリックします

番号	項目	内容	
①	解像度	出力解像度	管理画面の解像度を選択します。
②	シーケンス	シーケンシャルの長さ	ライブビュー映像を設定した時間で自動的に画面表示が切り換わります。
		次のページをあらかじめロードする	チェックを入れると、ライブビュー映像の表示時間を短縮することができます。

PoE 管理

PoE ポートの状態を表示します。

The screenshot shows the PoE management interface. A sidebar on the left contains navigation links: 情報, メンテナンス, 表示, PoE 管理 (highlighted), UPS, ログ, クラウドサービス, and カスタマーサポート. The main area displays a table of PoE ports. Callout 1 points to the '9 / 60 W' status bar at the top left. Callout 2 points to the table columns '使用済み電力 (ワット)' and 'PD クラス'. Callout 3 points to the '適用' (Apply) button at the bottom right. A legend in the top right corner shows '電力使用中' (Power in use) as a green square and '電源オフ' (Power off) as a grey square.

① 使用中の合計電力 / 最大電源の表示

②

③

ポート	名前	使用済み電力 (ワット)	PD クラス	
ON	1	Camera 03	3.6	3
ON	2	Camera 01	2.6	3
ON	3	Camera 02	2.7	3
ON	4	-	0.0	5

適用 キャンセル

設定後、クリックします

番号	項目	内容
①	ON / OFF 切り換え	ON にすると PoE ポートが有効になります。
②	使用済み電力 (ワット) / PD クラス	(使用済み電力 (ワット)) 各ポートの使用電力が表示されます。 (PD クラス) PD クラスを表示します。
③	ポート表示	現在使用中のポートは色付きで表示されます。

UPS

弊社ではサポートしていません。

ログ

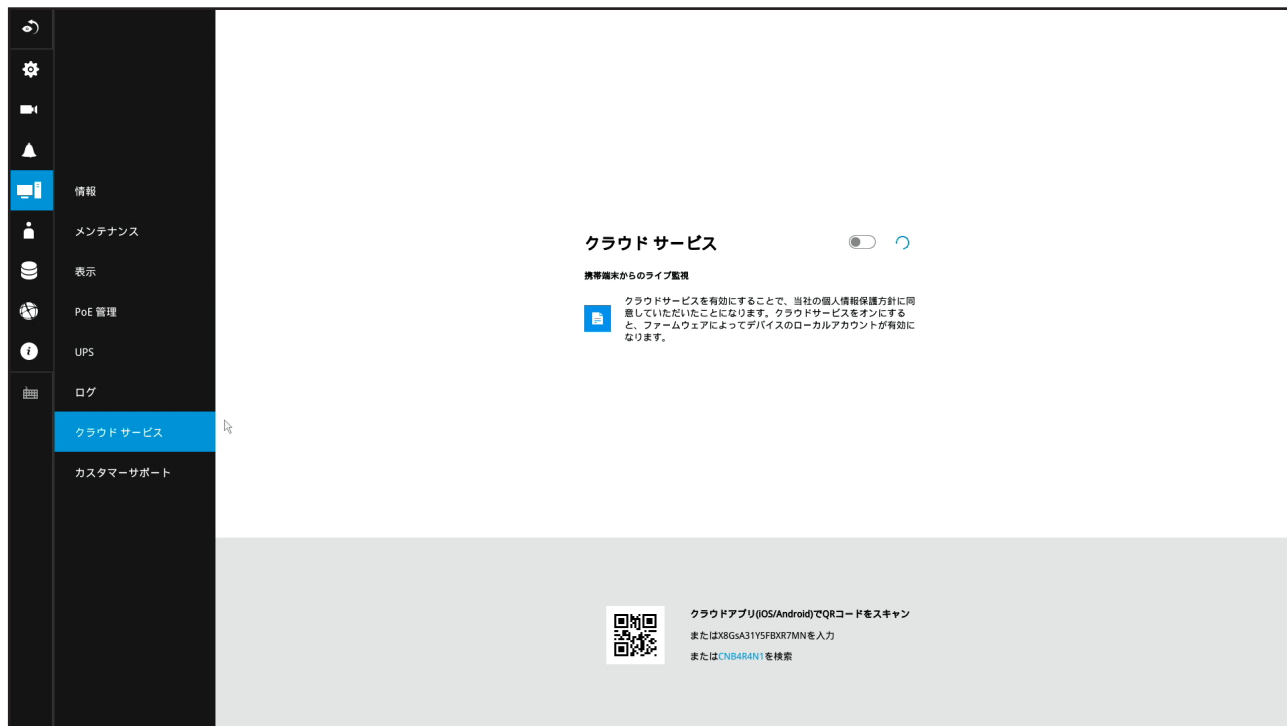
ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。

The screenshot shows a web interface for log management. On the left is a dark sidebar with navigation icons and labels: 情報 (Information), メンテナンス (Maintenance), 表示 (Display), PoE 管理 (PoE Management), UPS, ログ (Log), クラウド サービス (Cloud Service), and カスタマーサポート (Customer Support). The 'ログ' (Log) option is highlighted in blue. The main content area has a top navigation bar with tabs: システム (System), 録画 (Recording), ユーザー (User), and エラー (Error). Tab ① points to this bar. Below the tabs is a search filter section. ② points to the '開始' (Start) date input field, which contains '2024/12/26'. ③ points to the '終了' (End) date input field, which also contains '2024/12/26'. A blue '検索' (Search) button is to the right of the end date field. Below the search fields is a table of log results. The table has columns: Date, Level, Source, and Message. It shows two log entries from 'system service' on '2024.12.26'. The first entry is a DHCP renew message, and the second is a 'System startup' message.

番号	項目	内容	
①	ログ種別	取得するログの種類を選択します。	
		システム	本製品の設定に関する履歴を表示します。
		録画	録画に関する履歴を表示します。
		ユーザー	ログイン / ログアウト履歴を表示します。
		エラー	エラーの履歴を表示します。
②	開始	ログを取得する開始時間と終了時間を設定します。 日付をクリックするとカレンダーが表示されます。	
	終了		
③	検索	クリックして検索を開始します。	

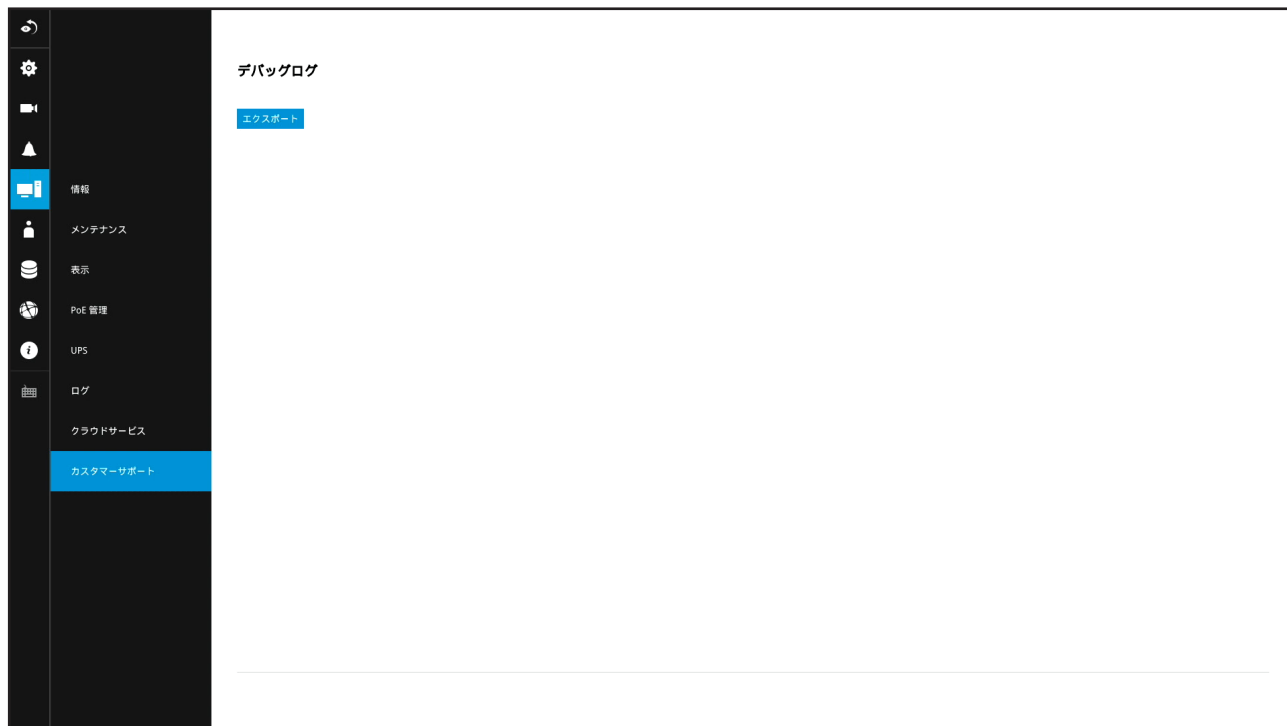
クラウドサービス

クラウドサービスを有効にすると、VigilanceCloud を使って携帯端末からライブ監視ができます。
※ VigilanceCloud は弊社からのサポート対象外です。



カスタマーサポート

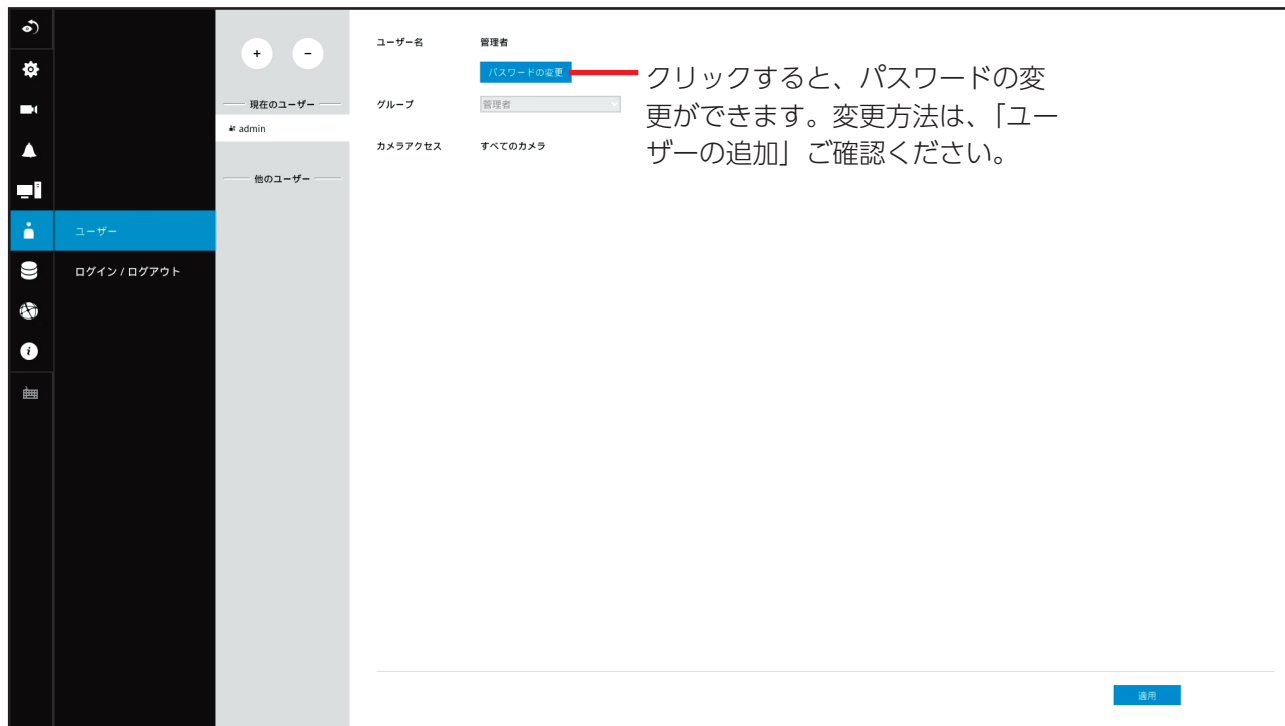
デバッグログを USB メモリにエクスポートできます。



ユーザー ()

ユーザー

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。
ログインパスワードは、一般ユーザーも変更することができます。



ユーザー名	グループ	カメラアクセス
admin	管理者	すべてのカメラ

パスワードの変更

クリックすると、パスワードの変更ができます。変更方法は、「ユーザーの追加」ご確認ください。

適用

ユーザーの追加

1 [+] ボタンをクリックする

「New user」が追加されます。

- ・「+」をクリックすると、新しいユーザーを追加できます。
- ・「-」をクリックすると、ユーザーを削除できます。再度「-」をクリックすると、解除します。

2 ユーザー情報を入力する

設定後、クリックする

項目	内容
ユーザー名	ユーザー名を入力します。 新しいパスワード：新しいパスワードを入力します。 パスワードの確認：再度パスワードを入力します。
グループ	ユーザーグループを選択する。 管理者：すべてのカメラのアクセス権を持ちます。 一般ユーザー：アクセス権を設定したカメラのみアクセスできます。
カメラアクセス	カメラのアクセス権を設定する。 ここからコピー：設定内容を別のカメラにコピーできます。

ユーザーの削除

1 [-] ボタンをクリックする ボタンの色が変わります

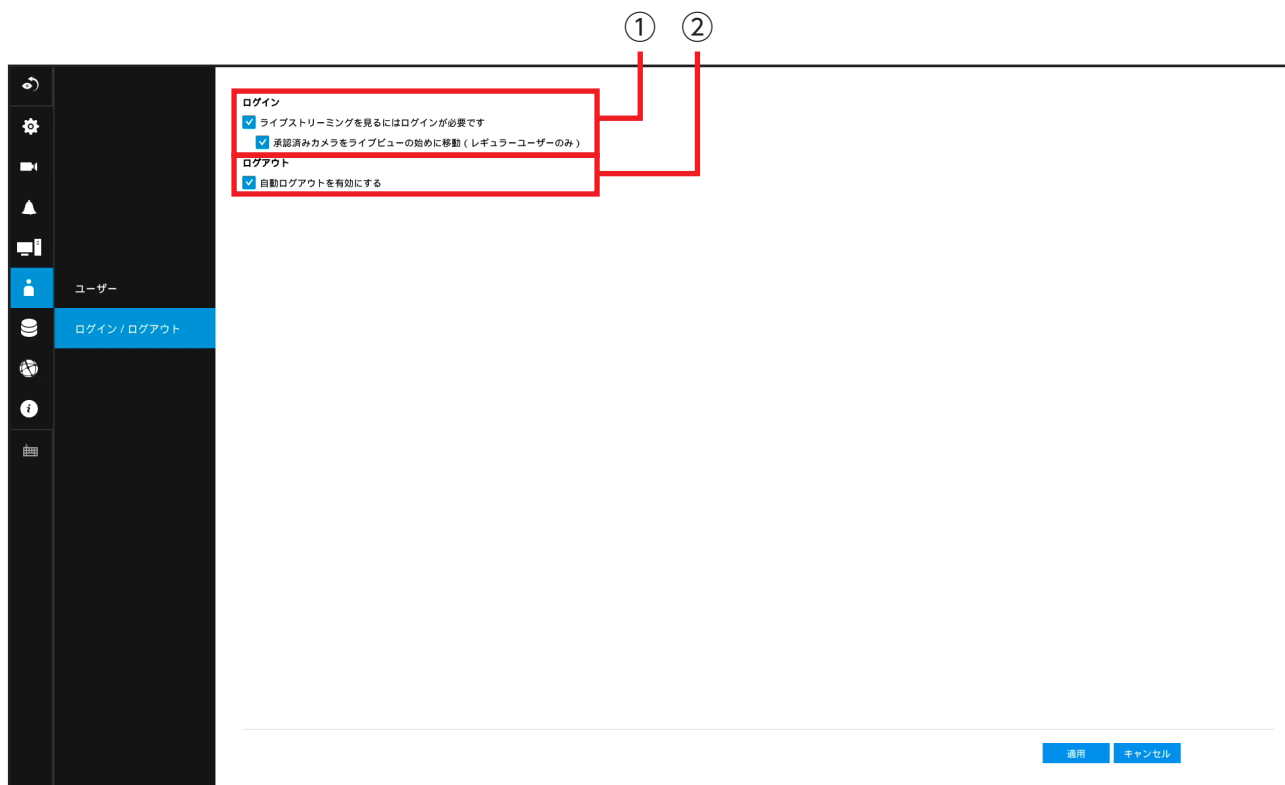
2 削除するユーザーをクリックする

3 [適用] ボタンをクリックして設定を完了する



ログイン／ログアウト

ログイン、ログアウトに関する設定を行います。



番号	項目	内容
①	ログイン	ライブストリーミングを見るにはログインが必要です チェックマーク（有効）をいれると、ライブストリーミングを見るときにパスワードの入力が必要になります。 チェックマーク（有効）を外すと、設定画面に入るときなどにパスワードの入力が必要になります。 承認済みカメラをライブビューの始めに移動 「ライブストリーミングを見るにはログインが必要です」にチェックマーク（有効）を入れたときのみ設定が可能です。 チェックマーク（有効）にすると、特定のカメラにだけアクセスできるユーザーには、ライブビューの前に認証情報を入力する必要があります。
②	ログアウト	チェックマーク（有効）にすると、無操作時間が 10 分以上続くと自動的にログアウトします。

ストレージ ()

ストレージ

ハードディスクの削除、フォーマットなどを行います。



番号	項目	内容
①	削除	本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。
②	フォーマット	選択したハードディスクをフォーマットします。
③	検証	選択したハードディスクの検証を行います。
		不良ブロック ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。
		高速 S.M.A.R.T 簡易的なハードディスクの検証を行います。
		S.M.A.R.T ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。

定期バックアップ

本製品に保存されている映像を毎日決まった時刻に FTP サーバーにバックアップするための設定を行います。

番号	項目	内容
①	定期バックアップ	チェックマーク（有効）を入れると、定期バックアップ設定ができます。
②	バックアップ場所	FTP の設定を行います。
③	毎日のバックアップ時刻	バックアップを開始する時刻を指定します。
④	録画をバックアップ	バックアップするカメラにチェックを入れます。

設定後、クリックします。

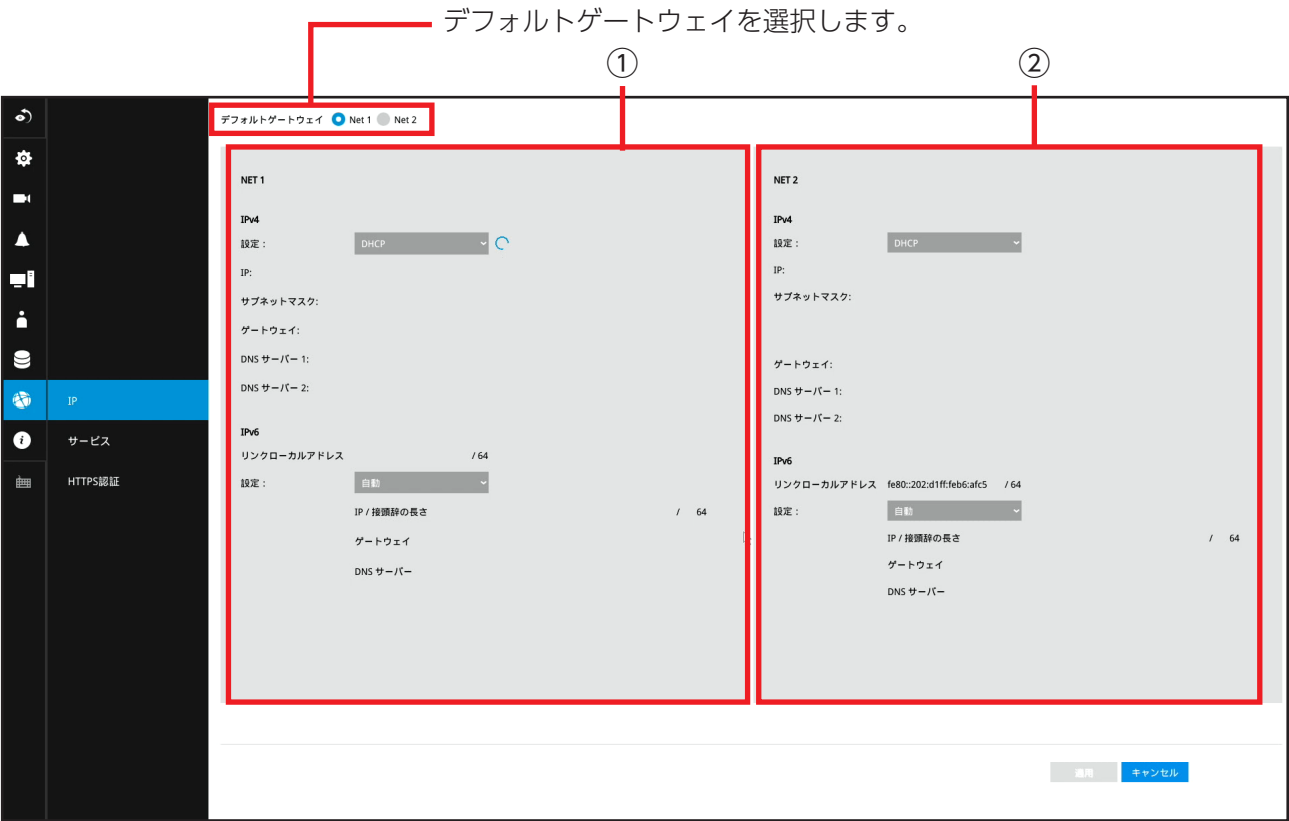
番号	項目	内容
⑤	録画する時間範囲	録画のスケジュール設定を行います。 色が付いている区間に録画を行います。 設定方法は「 ■スケジュール 」(→ 42 ページ) をご確認ください。
⑥	接続	[有効] にチェックを入れると、アップロード速度の上限を指定できます。

ネットワーク ()

IP

本製品の IP アドレスの設定と確認ができます。

- 本製品をインターネット回線を使って接続しているときに設定が可能です (➡ 9 ページ)。



番号	項目		内容
① / ②	NET1 / NET2	IPv4	ネットワーク端子の設定をします。
			設定 「DHCP」 または 「手動設定」 を選択します。
			IP
			サブネットマスク
			ゲートウェイ
			DNS サーバー
		IPv6	PoE 端子の設定をします。
			リンクローカルアドレス リンクローカルアドレスが表示されます。設定はできません。
			設定 「自動」 または 「手動設定」 を選択します。
			IP/ 接頭辞の長さ
			ゲートウェイ [設定] で [手動設定] を選択した場合に設定します。
			DNS サーバー

サービス

通常、ポート番号は初期設定から変更する必要はありません。

サービスポート

①

②

サービス

HTTPS認証

適用 キャンセル

番号	項目	内容				
①	サービスポート	<table><tr><td>HTTP</td><td rowspan="3">ポート番号を設定します。 ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、 以下の番号は予約されているので設定できません。 21、23、2000、3702、60000</td></tr><tr><td>HTTPS</td></tr><tr><td>RTSP</td></tr></table>	HTTP	ポート番号を設定します。 ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、 以下の番号は予約されているので設定できません。 21、23、2000、3702、60000	HTTPS	RTSP
HTTP	ポート番号を設定します。 ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、 以下の番号は予約されているので設定できません。 21、23、2000、3702、60000					
HTTPS						
RTSP						
②	VMS& アプリ	サポート対象外です。				

HTTPS 認証

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。

🔍

⚙️

📺

🔔

🖥️

👤

🗄️

🌐

📄

📊

IP

サービス

HTTPS認証

HTTPS認証

証明書情報

国コード	TW
都道府県	Asia
市区町村	Asia
所属組織	embeddedsoftware
所属部署	embeddedsoftware
一般名	Video Surveillance Solution
有効期限	19331 日
有効期限	03 05, 2078

現在の証明書をエクスポート

現在の証明書をエクスポート

新規証明書を作成

自署証明書の作成

証明書要請の作成

新規証明書をインストール

エクスポート

作成

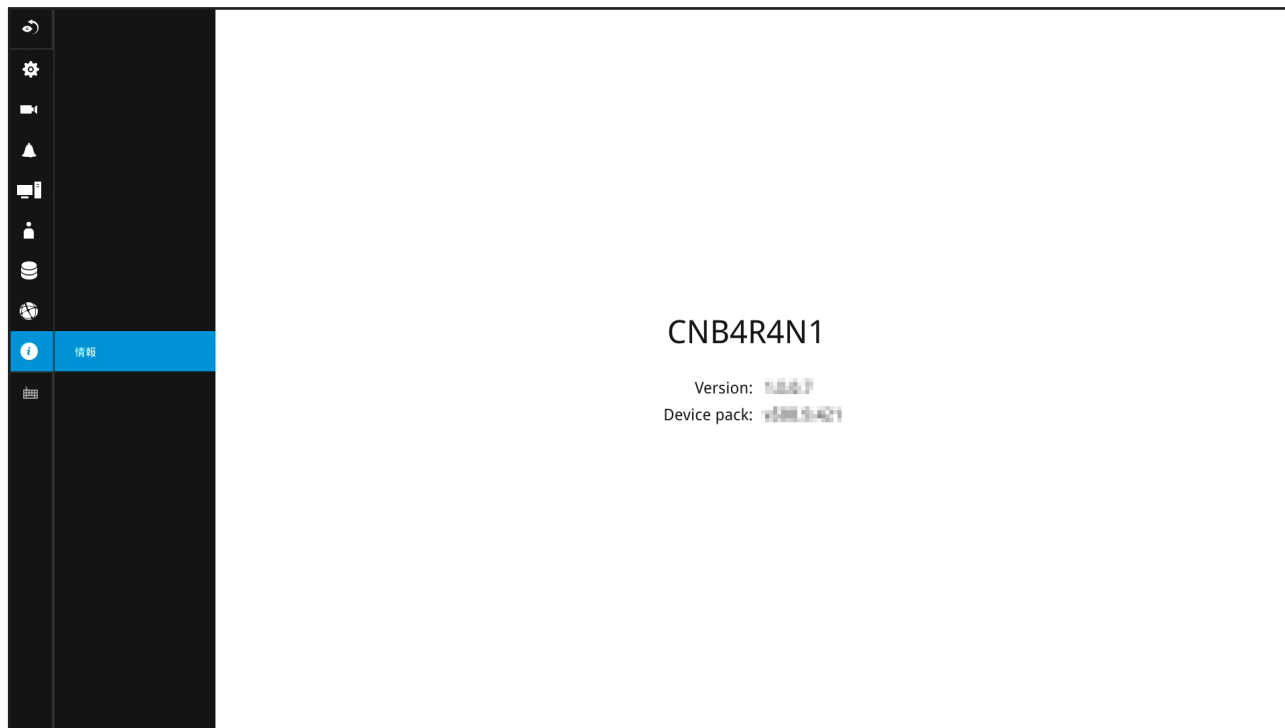
作成

インストール

情報 ()

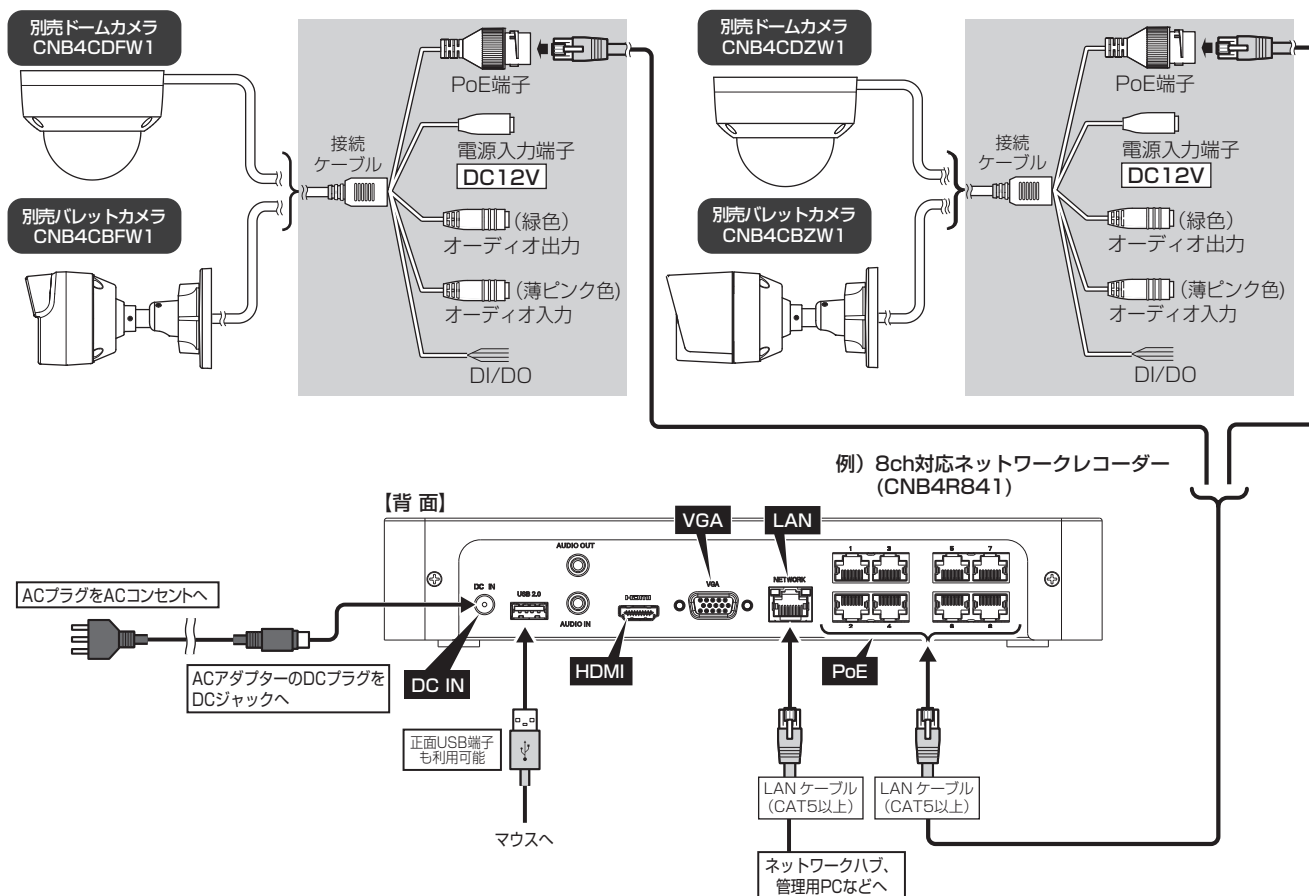
情報

本製品のバージョンが表示されます。



Web 管理画面について

本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザからアクセスすることもできます。



1 インターネット環境に接続しているルーターなどに管理用 PC と本製品のレコーダーを LAN ケーブルで接続します。

- 本製品に割り振られている IP アドレスをブラウザに入力してアクセスしてください。IP アドレスは、設定の [ネットワーク] - [IP] メニューから確認できます。IPv4 アドレスに記載されている値が、本製品の IP アドレスとなります。管理用 PC の IP アドレスを本製品に割り振られている同じネットワークセグメント内に設定してください。

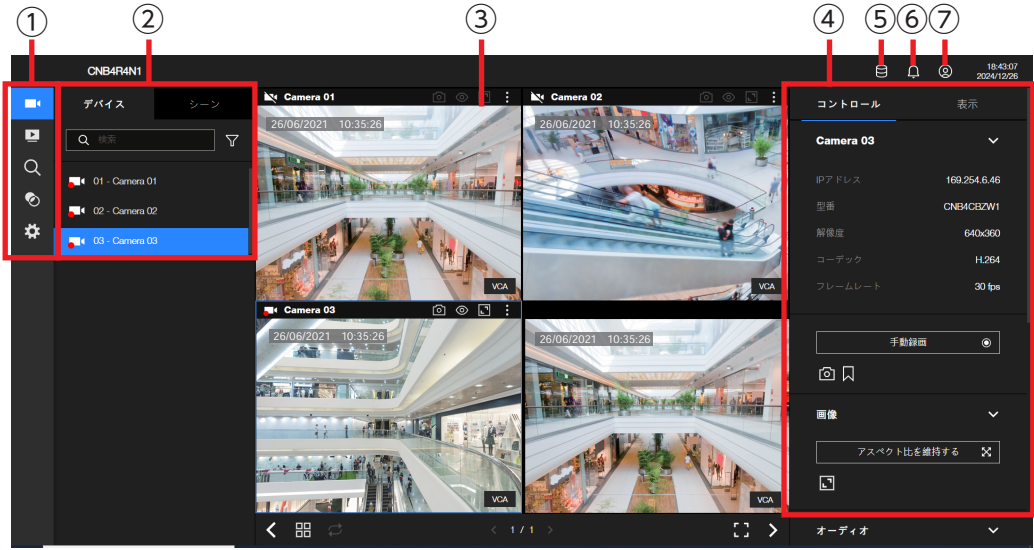
例) 本製品 IP アドレス : 192.168.2.199

管理用 PC : 192.168.2.100 などに設定してください

2 ログイン画面が表示されたら、任意のパスワードを入力してログインします。

- admin ユーザーで複数の PC からでもログインすることができます。この場合、設定変更などを保存する場合には、最後に保存した人の設定が有効になります。
- Web 管理画面にログインするためのパスワードは、モニター管理画面と共通です。すでに変更済みの場合は、変更されたパスワードを入力してください。

ホーム画面



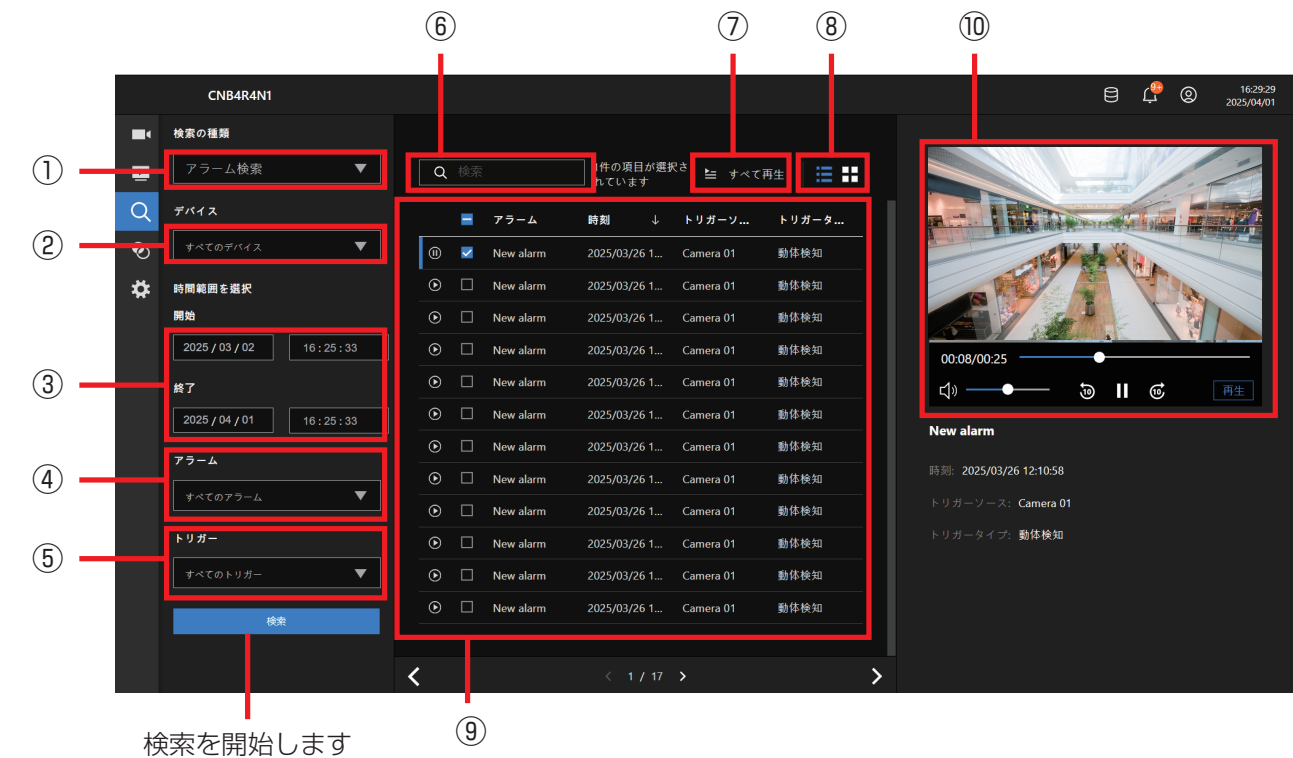
番号	項目	内容	
①	メインメニュー	ライブ	ライブビュー画面を表示します。
		再生	再生画面を表示します。➡ 18 ページ
		検索	検索画面を表示します。➡ 18 ページ
		AI	スマート検索画面を表示します。➡ 24 ページ
		設定	管理画面を表示します。➡ 18 ページ
②	カメラリスト	ライブビューに表示するカメラをクリックして選択します。	
③	ライブビュー	本製品に接続しているネットワークカメラのライブビューが表示されます。	
④	コントロール / 表示パネル	手動録画をしたり、簡易なカメラの設定を変更したり、カメラの表示設定を変更したりできます。	
⑤	ストレージ	ストレージの設定を行います。(➡ 87 ページ)	
⑥	アラーム	アラームの確認ができます。  は新しいアラームの件数を表示しています。	
⑦	言語設定 / 再起動 / ログアウト	言語の変更や、本製品の再起動したり、ログアウトしたりできます。	

再生画面



番号	項目	内容	
①	動画選択	再生したいカメラと日付を選択します。	
②	コントロールパネル		再生／一時停止
			10 秒戻る／ 10 秒進む
			次のフレームへ移動
			ストリーム選択
			再生速度設定
③	タイムライン	映像のタイムラインが表示されます。	
④	音量	カメラから入る音声の音量を調整します。	
⑤	スナップショット	スナップショットを保存します。	
⑥	ブックマーク	ブックマークを設定します。	
⑦	エクスポート	再生画面をエクスポートします。	

検索画面



番号	項目	内容
①	検索の種類	検索条件を選択します。
②	デバイス	本製品またはカメラを選択します。
③	タイムライン	映像のタイムラインが表示されます。
④	アラーム	「検索の種類」で「アラーム検索」を設定しているとき、検索するアラームを選択します。
⑤	トリガー	「検索の種類」で「アラーム検索」を設定しているとき、検索する検知内容を選択します。
	スマートVCA イベント種類	「検索の種類」で「イベントの検索」を設定しているとき、スマートVCA のイベント内容を選択します。
⑥	検索	検索条件を入力して、検索結果内を検索します。
⑦	すべて再生	チェックを入れた検索結果ファイルを再生します。
⑧	表示形式	表示形式を変更します。
⑨	検索結果	検索結果を表示します。 検索を再生するときは  をクリックします。
⑩	再生画面	検査結果ファイルの再生画面を表示します。(⇒ 20 ページ)

設定画面

Web ブラウザー上で本製品の設定を行います。Web ブラウザー上で設定できる内容とモニター管理画面で設定できる内容は異なっている場合があります。

● 概要

➡ 35 ページ「概要」

● カメラ

メニュー項目		内容	ページ
管理	追加／編集	新しくカメラを追加したり、接続しているカメラの設定を行います。	36 ページ
	ネットワーク	カメラのネットワーク設定を行います。	89 ページ
録画	録画オプション	録画のオプション設定を行います。	41 ページ
	スケジュール	録画のスケジュール設定を行います。	42 ページ
メディア	ストリーム管理	ストリーム設定の自動変更を行います。	44 ページ
	ビデオ	映像に関する設定を行います。	45 ページ
	オーディオ	音声に関する設定を行います。	47 ページ
画像	表示	映像の表示設定を行います。	48 ページ
	画像調整	画像設定を行います。	49 ページ
動体検知		動体検知機能を設定します。	65 ページ
ポート転送		ポート転送機能を使用する場合に設定します。	66 ページ
ファームウェアの更新		本製品のシステムをアップデートします。	79 ページ

● アラーム

メニュー項目		内容	ページ
アラーム		アラームを追加・設定します。	68 ページ
電子メール	受信者リスト	電子メールの受信者設定を行います。	75 ページ
	SMTP	電子メール送信に関する設定を行います。	77 ページ

● システム

メニュー項目	内容	ページ
情報	システムの基本的な設定をします。	78 ページ
メンテナンス	設定を工場出荷設定（デフォルト）に戻したり、システムのバックアップをすることができます。 USB メモリーを使用します。	79 ページ
表示	モニター管理画面の表示に関する設定を行います。	80 ページ
PoE 管理	PoE ポートの状態を表示します。	81 ページ
ログ	ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します（この機能はサポートしていません）。	82 ページ
クラウドサービス	クラウドサービスを有効にすると、VigilanceCloud を使って携帯端末からライブ監視ができます。	83 ページ
カスタマーサポート	デバッグログを USB メモリにエクスポートできます。	83 ページ

● ユーザー

メニュー項目	内容	ページ
ユーザー	ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。	84 ページ
ログイン／ログアウト	ログイン、ログアウトに関する設定を行います。	86 ページ

● ストレージ

メニュー項目	内容	ページ
ストレージ	ハードディスクの削除、フォーマットなどを行います。	87 ページ
定期バックアップ	本製品に保存されている映像を毎日決まった時刻にバックアップするための設定を行います。	88 ページ

● ネットワーク

メニュー項目	内容	ページ
IP	IP の設定をします。	89 ページ
サービス	サービスポートの設定をします。	90 ページ
HTTPS 認証	本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。	91 ページ

● 情報

メニュー項目	内容	ページ
情報	本製品のバージョンが表示されます。	92 ページ

故障と判断する前に

ログインパスワードを変更する

管理画面にログインするパスワードを変更します。パスワードとユーザー名は、モニター管理画面と Web 管理画面で共通のものを使用します。



- 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
- パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。

Web 管理画面でも同様の操作になります。

1 ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックします。

認証画面が表示されます。

2 パスワードを入力して【ログイン】をクリックします。

管理画面が表示されます。

3 【ユーザー】－【ユーザー】を選択します。

ユーザー設定画面が表示されます。

4 パスワードを変更したいユーザー名の【パスワードの変更】ボタンをクリックします。

パスワード変更画面が表示されます。

アルファベット 1 文字（大文字または小文字）と数字 1 文字を含む 8 文字以上でパスワードを設定します。

ライブビューに映像が表示されない

 ライブビューへの表示切替時にカメラ映像の表示が遅くなる場合がありますが故障ではありません。

- 映像の解像度を下げてください。
[システム] - [表示]
➔ 92 ページ「表示」
- ライブビューの表示にサブストリームを使用します。
[カメラ] - [メディア] - [ビデオ]
➔ 46 ページ「ビデオ」

ライブビューは表示されているが録画が見つからない

- 録画スケジュールが正しく設定されているか確認してください。
[カメラ] - [録画]
➔ 41 ページ「録画」
- 本製品に設定されている時間とタイムゾーンが正しいか確認してください。
[システム] - [情報]
➔ 89 ページ「情報」
- ハードディスクが正常に動作しているか確認してください。
[ストレージ] - [ストレージ]
➔ 99 ページ「ストレージ」

動体検知がうまく働かない

- 動体検知の設定を確認してください。
[カメラ] - [動体検知]
➔ 70 ページ「動体検知」

 動体検知をトリガーにして録画する場合はカメラの管理設定で動体検知の設定も確認してください（使用するカメラの設定ガイドをご確認ください）。

動体検知の頻度が多すぎる

- 検知範囲を狭くする、感度を下げるまたは動体検知のトリガーになるサイズ（しきい値）を高くしてください。
[カメラ] - [動体検知]
➔ 70 ページ「動体検知」

動体検知の頻度が少なすぎる

- 検知範囲を広くする、感度を上げるまたは動体検知のトリガーになるサイズ（しきい値）を低くする。
- [カメラ] - [動体検知]
➔ 70 ページ「動体検知」

ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）が出る

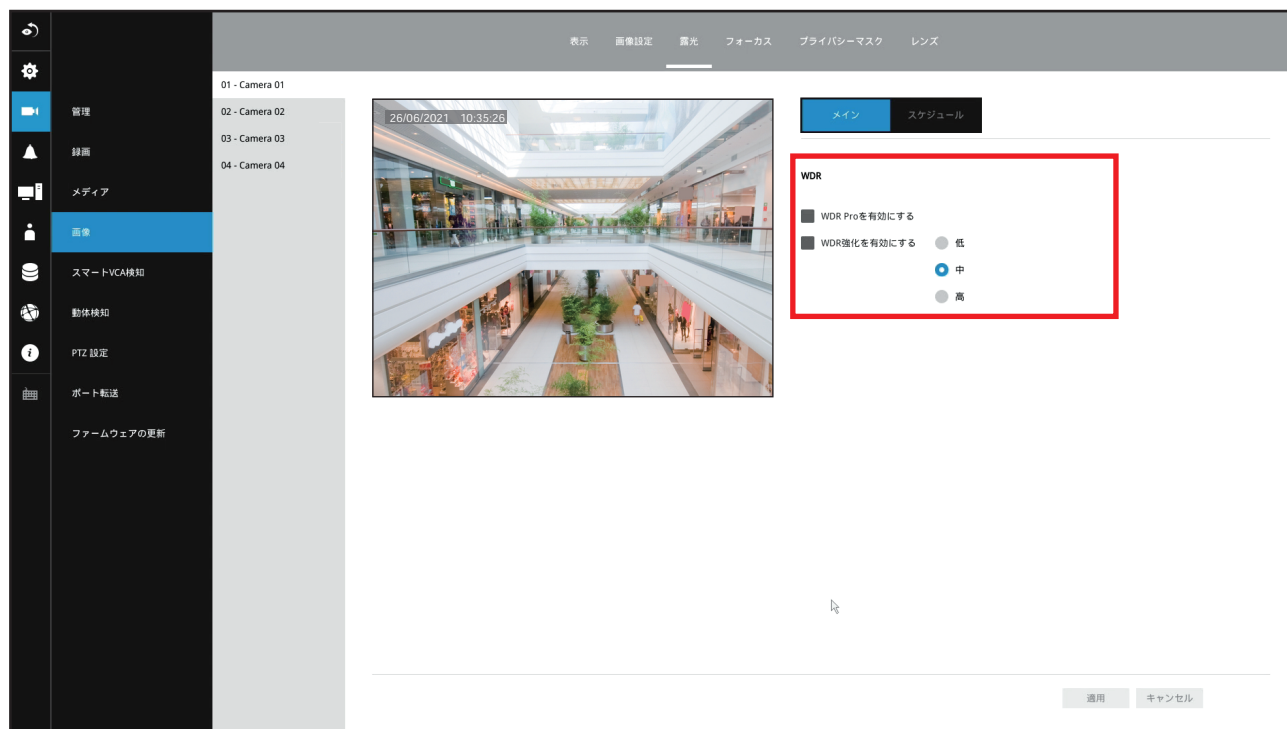
蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。（図はイメージです）



多くの場合、横縞が上または、
下方向に動きます。

フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なります。状態によっては 100%抑制することができない場合があります。また、カメラを設置する際、まず照明の位置、種類を確認し、フリッカーの出やすい設置場所を避けることが一番の有効な回避手段となります。

設置場所や照明の種類を変えられない場合は、WDR の設定が必須でない場合は、設定を下図のように無効にしてください（有効にすると、フリッカーがより目立ちます）。



マウスが動かない

- 付属のマウスを使用してください。
- USB 延長ケーブルを使用している場合は、直接本製品に接続してください。
- マウスが故障している可能性もあります。他の USB タイプのマウスに交換してお試しください。

キーボードから文字入力ができない

- USB 接続等の外部キーボードは、本製品に接続しても利用できません。
文字の入力を行う際は、画面に表示されるソフトキーボードをマウスでクリックして入力してください。

カメラの Web 管理画面で設定した設定値とは異なる設定値がレコーダーの設定画面に表示されている

- 本製品で設定画面を表示中にカメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合、本製品の設定画面の表示には変更内容が反映されません。
- カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合は、本製品の設定画面からライブ画面に戻り、もう一度設定画面に入り直してください。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できない

- 本製品からバックアップした映像データは、カメラの「エンコード - ビデオ圧縮」で選択した圧縮形式 (H.264 または H.265) で出力されます。
下記アプリで H.265 形式の動画を再生する場合には、Microsoft 社のホームページから「HEVC ビデオ拡張機能」をインストールしてください。
 - ・ Windows Media Player.
 - ・ Windows 10 映画&テレビアプリ

＜マイクロソフト社：デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能＞

<https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/hevc-videoextension/9n4wgh0z6vhq>

USB デバイスで、ファイルフォルダが認識できない

- USB デバイスのファイルフォルダは、日本語など 2 バイトコードを使用することができません。

モニターに画面が映らない

- ネットワークレコーダーの初期出力解像度は 1920 x 1080/60Hz です。

 「1920 x 1080/60Hz」の出力解像度に対応したモニターに接続してください。

Web 管理画面から画面表示解像度を変更すると、設定変更後にネットワークレコーダーが再起動しますので、ご注意ください。

画面がはみ出して切れた状態で表示される

- TV 側の映像設定によっては、レコーダーからの映像が一部表示されない状態になります。
TV のオーバースキャン機能（従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能）によるものです。
ジャストスキャンまたはアンダースキャン等へ設定変更してください。（設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください）
また、レコーダー側の出力（画面表示解像度）は、お使いのテレビの画素数（水平×垂直）に近い解像度を選択してください。（➡ 80 ページ「表示」）

本製品の PoE 端子にネットワークカメラを接続すると、ネットワークカメラの IP アドレスが変更される

- 事前にカメラに対して IP アドレスを設定しても、本製品につなぐと「プラグ&プレイ」機能により、IP アドレスの設定（上書き）がされて変更されてしまいます。
IP アドレスを手動で設定する場合は、本製品にネットワークカメラ接続した後、「ネットワーク」画面で変更します。（➡ 36 ページ「管理」）

本製品の PoE 端子につながれたネットワークカメラにネットワーク端子側のパソコンからアクセスできない

- LAN ポートにつないでいるパソコンから、ネットワークカメラの IP アドレスへ直接アクセスすることはできません。ネットワークカメラの管理画面にアクセスするときは、ポート転送の設定が必要になります。
(➡ 72 ページ「ポート転送」)

ソフトキーボードで入力ができない

- ソフトキーボードで文字入力するためには入力枠を入力が有効な状態 (アクティブ) にする必要があります。入力枠をクリックするとアクティブ (青枠や青帯表示) になります。

使用上のご注意

〈対応ネットワークカメラ〉

本製品は、DXアンテナ製のCNB4Cシリーズのネットワークカメラに対応しています。

〈本製品について〉

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 電源は常時100Vが確保できるコンセントを使用してください。
- 本製品設置時、他機器と重ね置きせず十分なスペースに設置してください。(熱による不具合などの防止の為)
- HDD交換によるデータ消失、不具合などに対する保障はできません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤作動する場合があります。
- 通気口をふさいで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離して使用してください。
- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながる場合があります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられており、ご使用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- 潮風や温泉成分による不具合は保証の対象外となります。
- 防爆機能はありません。
- 本製品の取扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 本体に強い衝撃や振動を与えると、破損や故障の原因になります。
- ご利用のネットワーク環境、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなることがあります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を4対3の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。

〈データの取り扱いについて〉

- 外的要因により、まれに録画できなくなる場合があります。随時、録画状態の確認をしてください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がございます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡す場合には、その取り扱いに十分ご注意ください。
- 万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

設置上のご注意

〈設置場所について〉

- 本製品は、屋内専用です。屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない場所で使用してください。
- 照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
直射日光の当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／厨房などの湿気、蒸気、油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線や X 線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所

〈設置作業前の注意〉

- 当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーをご使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務用など）で使用するネットワーク回線に接続してご利用になる場合は、動作の保証はいたしません。

〈雷に対しての保護に関する注意〉

- LAN ケーブルを使って本製品をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈時刻設定に関する注意〉

- 時刻の設定については、本書の 78 ページ「情報」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

- 本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略させていただきました。

動作環境

Web ベースの管理画面、次の環境のみサポートしています。

対応 OS	Windows 10
対応ブラウザ	Google chrome